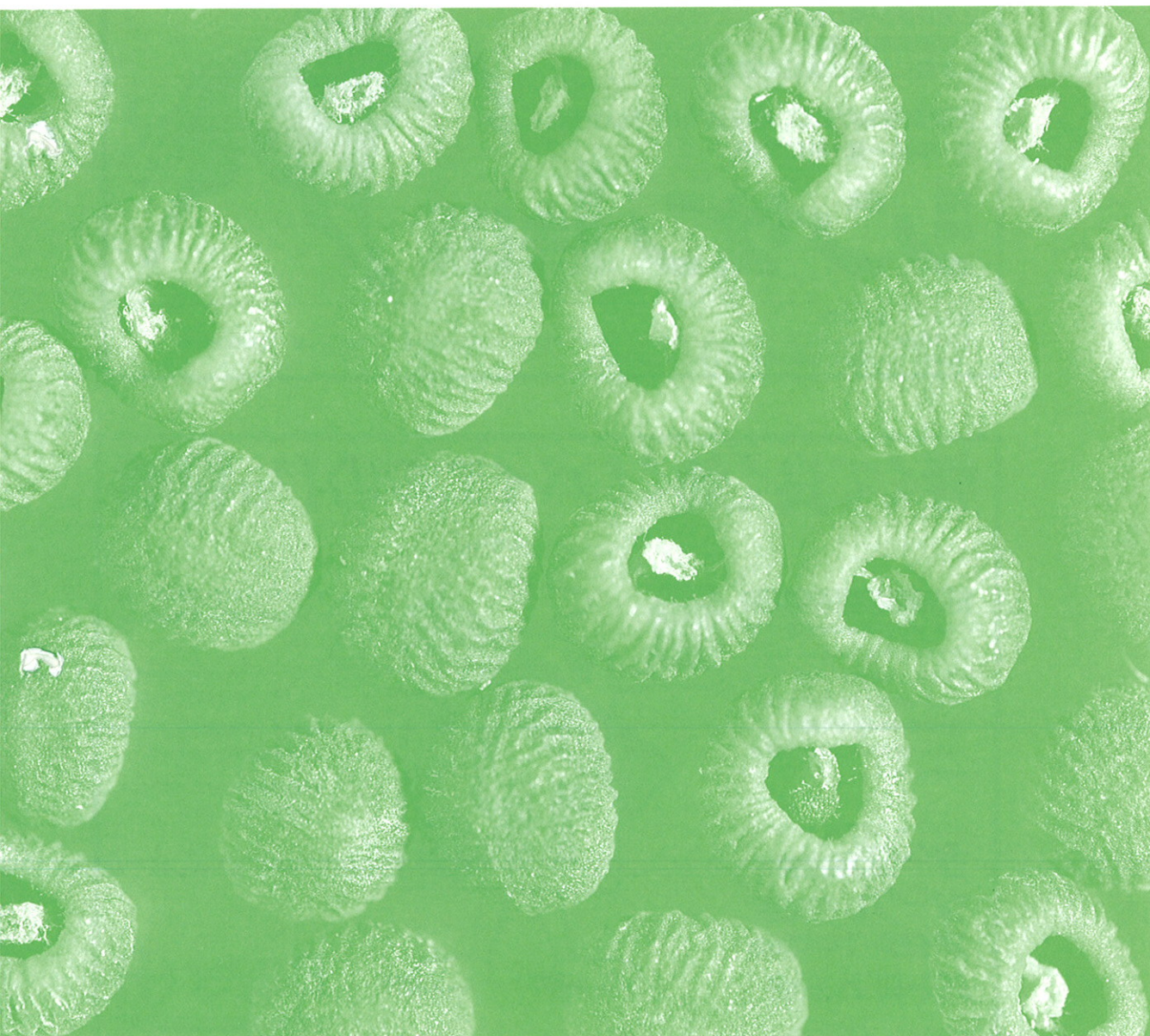


植調

第30巻第12号



フラサバソウの種子 (*Veronica hederifolia*) 径2.5mm

財団法人 日本植物調節剤研究協会編



水田除草のサラブレッド!

■ 特長 ■

1. ノビエ、ホタルイに安定した高い効果
2. 処理適期幅が広い
3. 抑草期間が長い
4. 水稻に対する優れた選択性

処理適期幅が広い、殺草スペクトラムが広い、
初・中期一発1キロ粒剤。

シンザン® 1キロ粒剤

(商：住友化学工業(株)・日本バイエルアグロケム(株)・三井東圧化学(株)の共有登録商標)

■ シンザン普及会 ■

塩野義製薬／八洲化学工業／アグロス／日本バイエルアグロケム／住友化学工業／三井東圧化学／三井東圧農業
(事務局) 三井東圧化学株式会社 東京都千代田区霞が関3-2-5



軽くて良く効く! バイエルの1キロ粒剤

水田初・中期一発処理1キロ除草剤

バイエルの1キロ除草剤は軽量・小型・
まきやすい粒剤で、なんといっても楽。
効果は高く、機械散布に対応している
おなじみの粒剤から生まれたミニ袋。
はるかに省力化された除草剤で、
これからの時代にあった雑草防除の
ための傑作。



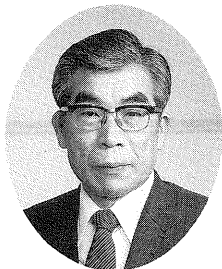
- ノビエから水田一年生雑草・多年生雑草に優れた効果を示します。
- クログワイやセリなど難防除雑草に高い効果が期待できます。
- 最近とくに問題のアオミドロや表層剥離の発生も抑えます。
- 処理適期幅が広く、実用的な除草効果があがります。

——— バイエル ———
ザーフ1キロ粒剤
ザーフD1キロ粒剤
アクト1キロ粒剤
バトル1キロ粒剤

* 地域に合わせてお選びください。

Bayer

日本バイエルアグロケム株式会社
東京都港区高輪4-10-8 〒108



巻 頭 言

除 草 剤 情 報 の 流 れ

財団法人 日本植物調節剤研究協会 理事 片岡一男
東 海 支 部 長

昨年6月、偶々除草剤を手撒きしている農家に出くわした。「何を撒いていますか?」「何か知らないんですが、農協でこれがよいと言われたんで……」この問答にしばし苦笑。

次に、大規模受託の法人組織で、除草剤を聞く。百筆を越す水田毎に夫々除草剤が書き込まれ、その体系は10類型を越す。そして、毎年新除草剤の展示圃をもち、農協・普及センターと検討会を実施して、翌年の剤決定の参考にしている。

前者と後者は、除草剤の使用場面における剤選定の両極端と考えられる。その間に如何なる選定方策があり、如何なる割合で分布しているかは全く詳らかではないが、興味深い。

米の生産性向上対策華やかなりし時代には、ほとんどの農村集落で、稲作の始まる前と収穫の終わった後、稲作技術を中心にした座談会が行われた。更に、稲の立毛中にも現地での研修集会在が屢々もたれた。これらの機会、極めて有効な情報収集・情報交換の場であり、指導者の腕の見せ所でもあった。

除草剤についても、それぞれの稲作状況に応じた的確な情報が身近かに伝達・交換された。そして、新剤については集落内の技術レベルの高い農家の実証を経てから集落内へ普及する過程を辿ることが多かった。

稲作事情が大きく変化した今日、生産技術を中心にした集落座談会などの機会は著しく減ってきている。稲作の担い手の変化は、集落の構造変化をもたらし、技術情報の伝達経路・技術指導のあり方も大きく変化してきている。いま、こうした変化に応じた技術情報伝達の新しい仕組みが要求される時代を迎えているのではなか

ろうか。稲作技術 — ことに除草剤の選択・使用に当たって、時の気象・田んぼの土壌・水・雑草や稲の生育の状況などは欠かすことのできない要件である。現場即応の技術情報を早く、的確に伝達・指導することの重要性は、今昔を問わない。

一方、除草剤の開発は驚異的な進歩を続け、毎年新剤が覚え切れないほど上市されている。ことにここ数年、田んぼに入りたくない・重い・ラフに撒いても効果のあるものなどなど、使用者の欲望を見事にクリアーして、新しい剤 — 1kg剤・フロアブル剤そしてジャンボ剤など — が登場してきた。大きなヒエに効果の高い剤も。そのメニューは、質・量とも昭和時代とは比べようもなく豊富に揃ってきた。

除草剤が陽の目を見るまでに、開発はもちろん適用性試験、展示圃試験に携わる人々は、夫々の過程において、剤の特性などに関するレベルの高い議論と検討を重ねている。しかし、展示試験を経た後から農家の使用場面までには、ともすれば最大公約数的?な集約が行われて、累積された剤の情報の先細り現象或いは偏りがありはしないだろうか。

除草剤は、その特長を生かした選択・使用がされるべきであり、それが開発・試験などに従事してきた人々の願いでもある。情報化時代といわれ、インターネットのホームページに除草剤が登場する時代でもある。将来の稲作事情を見据えて、より多く、よりの確な除草剤の情報が、秩序正しく流れる新しい仕組みを築きあげることが、現今の重要な課題の一つと思える昨今である。

目 次

(第 30 卷 第 12 号)

巻 頭 言	湛水土壤中直播における水管理の変遷…………… 9
除草剤情報の流れ…………… 1	＜保土谷化学工業㈱＞
＜(財)日本植物調節剤研究協会 理事	岡村省三・井口裕之＞
東海支部長 片岡一男＞	
東日本の各地における水田畦畔雑草防除	平成 8 年度水稲作関係除草剤試験成績概
の実態…………… 3	要…………… 13
＜ヘキスト・シェーリング・アグレボ	＜(財)日本植物調節剤研究協会 技術部＞
株式会社 徐 錫元・高橋 聡・藤原雅実・	
植田靖彦・竹重誠一＞	

使って安心、三共の農薬。



三共株式会社

- 畦畔から手軽にまける
(新しい)水田初期一発処理剤

カルショット® フロアブル
Lフロアブル

- 水田初期一発処理剤

スラッシュ® 粒剤

- 移植前・水田初期除草剤

シング® 乳剤

- 水田初期除草剤

サンバード® 粒剤

- 新しい水田中期除草剤

ザーベックス® SM粒剤

東日本の各地における 水田畦畔雑草防除の実態

ヘキスト・シェーリング・アグレボ株式会社

徐 錫元・高橋 聡・藤原雅実・植田靖彦・竹重誠一

1995年の日本の水田面積は、本地が258万ha、畦畔が17万haで、畦畔の占める割合は水田面積全体の約6%に相当する²⁾。従来、水田内の雑草防除については、きわめて多くの研究が行われ、除草剤による省力化が図られている。これに対し、畦畔の雑草防除については、あまり注意が払われず、その実態についても十分に把握されていない。

著者らは、畦畔雑草防除の実態を明らかにし、今後の合理的でしかも省力的な雑草防除技術の確立のための基礎資料を得ることを目的に、東日本の北海道、東北6県（青森，秋田，岩手，山形，宮城，福島），関東東山8県（埼玉，茨城，群馬，千葉，栃木，神奈川，山梨，長野），および新潟県の4地域の農家に対して，1993年郵便による畦畔雑草防除に関するアンケート調

査を実施した。本報では，その結果の概要を紹介する。なお，本アンケート調査の有効回答者数を経営規模別に表-1に示した。

調 査 結 果

1. 年間の畦畔雑草防除法の地域間および経営規模間の違い

表-2に示したように，年間の雑草防除法は地域によって大きく異なっていた。すなわち，北海道では，全体の58%の農家で年間の雑草防除が，草刈りのみによって行われ，除草剤散布のみの場合は14%，除草剤散布と草刈りの併用が28%であった。東北では，全体の73%の農家で年間の雑草防除が，草刈りのみによって行われており，除草剤散布のみの割合は10%，両者の併用は17%であった。つぎに，関東東山の場合は，草刈りのみで防除を行っている農家は全体の55%で，除草剤のみの割合は20%，両者の併用は25%であった。一方，新潟県の場合は上記の3地域とは，まったく異なり，草刈りのみによる防除を行っている農家の割合は，全体の21%と最も低かった。一方，除草剤散布のみによる割合は49%で，残り30%は両者の併用であった。このように，新潟県では，他の地域とは異なり，主たる雑草防除法は除草剤散布であった。

また，雑草防除法の違いは，同一地方でも，

表-1 アンケート調査の有効回答者数(人)

地 域	経 営 規 模				全 体
	1 ha 未 満	1~3 ha	3~10 ha	10 ha 以 上	
北 海 道	5	8	91	112	216
東 北*	146	303	353	66	871
関東東山**	234	205	205	145	789
新 潟 県	32	156	198	62	448

* 東北：青森県，秋田県，山形県，岩手県，宮城県，福島県。

** 関東東山：埼玉県，栃木県，群馬県，千葉県，茨城県，神奈川県，山梨県，長野県。

表-2 年間の畦畔雑草防除法の地域間および経営規模間の違い

(割合%)

地 域	年間の除草法	経 営 規 模				全 体
		1 ha 未満	1～3 ha	3～10 ha	10ha 以上	
北 海 道	除草剤散布のみ	0%	25%	13%	15%	14%
	除草剤散布+草刈り	20	12	31	28	28
	草刈りのみ	80	63	56	57	58
東 北*	除草剤散布のみ	11	10	10	12	10
	除草剤散布+草刈り	10	20	17	32	17
	草刈りのみ	79	70	73	56	73
関 東 東 山**	除草剤散布のみ	22	24	15	17	20
	除草剤散布+草刈り	16	23	30	34	25
	草刈りのみ	62	53	55	49	55
新 潟 県	除草剤散布のみ	18	42	57	53	49
	除草剤散布+草刈り	41	29	32	21	30
	草刈りのみ	41	29	11	26	21

* 東北: 青森県, 秋田県, 山形県, 岩手県, 宮城県, 福島県.

** 関東東山: 埼玉県, 栃木県, 群馬県, 千葉県, 茨城県, 神奈川県, 山梨県, 長野県.

農家の経営規模の違いによってもみられていた。すなわち、経営規模が大きくなるに従い、草刈りのみの年間の防除割合が減少し、除草剤を活用している割合が増加している傾向がみられた。この場合、除草剤のみの防除割合の高い新潟を除くと、一般的には、除草剤と草刈りの併用の割合が相対的に高くなっていた。

2. 畦畔の雑草防除に除草剤を使用する農家の項目別回答内容

結果を表-3に示した。

(1) 畦畔の雑草防除を行う理由

「農作業のじゃまになる」と「病虫害の発生源になる」と回答した割合がいずれも各々30%程度で他の理由(「雑草の種子が本田に入る」, 「みっともないから」, 「周りに迷惑だから」等)よりも圧倒的に高かった。

(2) 畦畔雑草防除に除草剤を使用する理由

この理由の1番目は、経営規模にかかわらず「草刈よりも手間がかからない」が最も多く、

全体の38%~44%を占め、以下「楽である」と「草刈より長く効き優れている」がほぼ同等の23~28%を占めていた。

(3) 散布器具の種類

大多数が、背負い式動噴や背負い式手動噴霧器であった。この場合、経営規模が大きくなるに従い、前者が後者よりも多く用いられていた。なお、3~5%であったが、ジョウロを使用する農家もみられた。

(4) 飛散防止カバーの利用

除草剤散布の際、飛散防止カバーを用いている割合は40%程度で、約60%の農家は防止カバーを用いていなかった。

3. 畦畔の雑草防除に除草剤を使用しない農家の項目別回答内容

結果を表-4に示した。

(1) 畦畔雑草防除を行う理由

前述の除草剤を使用する農家の場合とほぼ同様な結果が得られた。すなわち、「農作業のじ

表－3 水田畦畔の雑草防除に除草剤を使用する人のアンケート調査結果

(回答 %)

質 問 事 項	回 答 項 目	経 営 規 模			
		1 ha 未満	1～3 ha	3～10 ha	10 ha 以上
1. 畦畔の雑草防除を行う理由は？ *	(a) 農作業のじゃまになる	32 %	33 %	33 %	31 %
	(b) 雑草の種が本田に入る	14	12	10	11
	(c) 病虫害の発生源になる	26	30	32	34
	(d) みっともないから	13	10	9	12
	(e) 周りに迷惑だから	13	12	14	9
	(f) そ の 他	2	3	2	3
2. 除草剤を使う理由は？ *	(a) 草刈よりも手間がかからない	38 %	39 %	38 %	44 %
	(b) 楽である	28	27	28	24
	(c) 草刈より長く効き優れている	27	26	26	23
	(d) 経済的である	5	6	5	4
	(e) そ の 他	2	2	3	5
3. 除草剤を散布する時の散布器は何？ *	(a) 背負い式動噴	32 %	30 %	46 %	48 %
	(b) 背負い式手動噴霧器	46	49	36	28
	(c) ジョウロ	5	9	3	3
	(d) そ の 他	17	12	15	21
4. 散布は飛散防止カバーをつけるか？	(a) つける	43 %	42 %	39 %	40 %
	(b) につけない	57	58	61	60

* 複数回答による全回答中に占める割合。

表－4 水田畦畔の雑草防除に除草剤を使用しない人のアンケート調査結果

(回答 %)

質 問 事 項	回 答 項 目	経 営 規 模			
		1 ha 未満	1～3 ha	3～10 ha	10 ha 以上
1. 畦畔の草刈を実施する理由は？ *	(a) 農作業のじゃまになる	34 %	34 %	33 %	36 %
	(b) 雑草の種が本田に入る	11	9	9	7
	(c) 病虫害の発生源になる	27	34	37	39
	(d) みっともない	12	8	8	7
	(e) 周りに迷惑だから	12	10	10	8
	(f) そ の 他	4	5	3	3
2. 除草剤による防除を行わない理由は？ *	(a) 畦が弱くなる、(崩れる)	42 %	44 %	40 %	41 %
	(b) 農薬代がかかる	9	10	18	19
	(c) 農薬はなるべく使いたくない	21	16	15	14
	(d) 稲にかかるから	20	21	21	19
	(e) 散布器具がないから	1	1	1	1
	(f) そ の 他	7	8	5	6
3. 畦畔の雑草防除は今後どうするか？	(a) いままで通り刈り取る	54 %	40 %	35 %	35 %
	(b) いい除草剤があれば使いたい	35	47	51	53
	(c) 決めていない、わからない	5	5	4	2
	(d) 何もしない	0	0	0	1
	(e) そ の 他	6	8	0	9

* 複数回答による全回答中に占める割合。

ゃまになる」と「病虫害の発生源になる」と回答した割合が、経営面積によって違いはあるものの、各々27～39%程度あり、他の理由を圧倒していた。「病虫害の発生源になる」と回答した割合は、経営規模が大きくなるに従い大きくなり、この点は、除草剤を用いる農家の場合と同様であった。

(2) 畦畔雑草防除に除草剤を使用しない理由

除草剤を使用すると、「畦が弱くなる(崩れる)」ためと回答した割合が40～44%あり、他の理由よりも著しく高い割合を示した。次に「イネにかかる」が20%前後あり、さらに「農薬はなるべく使いたくない」、「農薬代がかかる」がこれらに続いた。「農薬代がかかる」ことを理由にあげた割合は、経営規模が大きくなるにしたがい、増加する傾向がみられた。

(3) 畦畔の雑草防除は今後どうするか

経営規模の違いによって異なる傾向を示した。すなわち、「いままで通り刈り取る」と回答した割合は、1ha未満の経営規模の場合54%、1～3haの場合40%、3ha以上の場合35%であった。これに対して、「いい除草剤があれば使用したい」と回答した割合は、同じく35%、47%、51%以上であった。このように、経営規模が大きくなるに従い、草刈りよりも除草剤を利用した雑草防除を行いたいと考えている傾向がみられた。

考 察

水田畦畔の雑草防除をなぜ行うかについては、除草剤を使用する農家、草刈りを行う農家にかかわらず、「農作業のじゃまになる」および「病虫害の発生源になる」と回答した割合が合わせて60%以上を占めていた。ただし、前者については、農家の経営規模にかかわらず、ほぼ

同じ割合の回答であったのに対し、後者については、経営規模が大きくなるにしたがい、それを指摘する割合が増加しており、この点に関して農家間で若干の認識の違いがあるように思われた。「病虫害の発生源になる」ということに関しては、代表的なものとして、畦畔や農道の草ムラで増殖するカメムシによる水稻の斑点米被害があげられ⁶⁾、畦畔雑草を防除することにより、その発生率を低下させることが可能であると言われている。

水田畦畔における年間の雑草防除法は、地域によって大きく異なり、北海道、東北、関東東山では、半数以上の農家において草刈りだけで雑草防除が行われている。とくに、東北地方での草刈りのみの防除法は、70%を越えていた。これに対し、新潟県では、他の地域とはまったく異なり、草刈りだけによる防除は最も低く21%で、草刈りと除草剤の併用が30%、そして除草剤のみが49%で、除草剤による畦畔雑草防除技術が広く普及している⁵⁾。なお、新潟県における非選択性茎葉処理除草剤の出荷量は、全国でも有数である。中でもスギナにも卓効を示すグルホシネート剤の県別出荷量は全国1位である¹⁾。新潟県以外の地方で、除草剤を利用する場合は、除草剤のみの防除というより、除草剤と草刈りの併用による場合が多かった。徐⁴⁾は、千葉県柏市における水田畦畔の雑草防除の実態を現地調査し、年間の雑草防除を除草剤と草刈りの併用によっている場合、そのほとんどは、田植前に除草剤を使用し、田植後は草刈りによっている場合が多い事を明らかにしている。このような水田畦畔の雑草防除の差異がどのような理由によるものかについては、水田や畦畔の立地条件の差異などでもその一因と考えられるが、現在、多方面から検討中である。

雑草防除法は、また経営規模の違いによって異なり、経営規模が大きくなるに従い、草刈りのみの防除は減少し、除草剤を利用する割合が増大した。このことは、経営規模が大きくなるに従い、省力化が必要となり、「草刈りよりも手間がかからず」、「楽である」という除草剤散布による防除が必要となっているものと考えられる。なお、除草剤を使う理由として、「草刈りよりも手間がかからない」点が最も大きい理由としてあげられたことは、除草剤は防除回数の低減化というよりは、1回当りの高い作業の効率性という点に、草刈りよりも利点があると補えられている。

経営面積の違いは、散布器具にも違いをみせていた。すなわち3ha未満経営規模の場合は、背負い式手動噴霧機の割合が背負い式動噴よりも高く、3ha以上の場合は、この逆であった。なお、3ha未満の場合、ジョウロと回答した割合が5～9%あったが、経営規模が小さい場合、また本田と畦畔の境目付近を散布する場合は、飛散害の起きにくい、このタイプの散布器具を用いることも意義あるものと思われる。飛散害防止上、飛散防止カバーを散布器にとりつける事は、重要と考えられるが、実際には除草剤利用者の約60%は、飛散防止カバーを使用していなかった。飛散防止カバーの使用が低かった理由については明確ではないが、結果的には、除草剤が適確に使われ、イネに対する飛散害が、総合的に問題になっていないためと考えられる。

現在、除草剤を使用していない農家における、今後の雑草防除については、小規模農家ほど従来通り刈り取ると回答した割合が大きいのに対し、大規模農家ほど、いい除草剤があれば使いたいと回答した割合が高かった。「いい除草剤」とは何かと言う事は、これらの農家が、現在除

草剤を使用しない理由としてあげている「畦が弱くなる(崩れる)」や「イネに対する飛散害」の懸念を、出来るだけ払拭できる除草剤であると考えられる。言い換えるならば、畦畔雑草の地上部は枯らしても根は枯らさず、しかも水稲への飛散害の小さい除草剤³⁾であると言える。このような危惧は、各除草剤の特性から、使用する剤を適確に選択し、使用量や時期を調節することによりほぼ払拭できるものと考えられる。現に、新潟では、半数の農家で除草剤のみで年間の雑草防除を行っていることから明らかである。

(本稿の大意は、平成8年10月に開かれた植物調節学会第31回大会において発表されたものである)。

引用文献

1. 農林水産省農蚕園芸局植物防疫課 1996. 農薬要覧1996, 日本植物防疫協会編集・発行. 東京, pp. 1~342.
2. 農林水産省統計情報部 1996. 平成7年耕地及び作付面積統計. 農林統計協会, 東京, pp. 27~51.
3. 徐 錫元・堀越光男・渡部富男 1994. 非選択性茎葉処理除草剤による水田畦畔の雑草防除 - イネに対する飛散害の薬剤による違い -. 雑草研究 39 (別1), 50~51.
4. 徐 錫元 1996. 千葉県柏市における水田畦畔の雑草防除の実態 雑草研究 41 (別1), 110~111.
5. 徐 錫元 1996. 新潟県における水田畦畔・農道の雑草防除の実態 雑草研究 41 (別1), 112~113.
6. 植木一久 1995. 新潟県における水田畦畔・農道除草の重要性と「クサカットゾル」について 農業時代 170: 12~15.

ついに出了!! ノビエ3葉期まで枯らす パワフル除草剤



■ 使用時期

代かき 田植え 5日後 10日後

ノビエ
2.5葉期 3葉期

北海道 **使用最適期** 使用時期

東北・北陸
関東以西 **使用最適期** 使用時期

ノビエ3葉期まで有効。

ただし、多年生雑草を考慮した使用最適期は
ノビエ2.5葉期頃まで。

特 長

- ① 3葉期までのノビエに対して高い除草効果があり、散布適期幅が広く使いやすい除草剤です。
- ② 広範囲の雑草に効果が優れ、難防除雑草にも有効な除草剤です。
- ③ 水稲に対して高い安全性があります。
- ④ 環境への影響が少ない除草剤です。

新発売

水稲用初・中期一発処理除草剤

プロスパー®

1㍑粒剤51・A1㍑粒剤36

(関東・北陸以西用)

(北海道・東北用)



少量化で省力化。

●使用前にはラベルを読んでください

●ラベルの記載以外には使用しないでください

●本剤は小児の手の届く所には置かないでください



JAグループ

農 協



全農®

経済連

®は登録商標です。



自然に学び 自然を守る

クミアイ化学工業株式会社

本社：〒110-91 東京都台東区池之端1-4-26 TEL.03-3822-5131

湛水土壤中直播における 水管理の変遷

保土谷化学工業株式会社 岡村 省三・井口 裕之

カルパーを用いた湛水土壤中直播の普及を始めて早や20年が経過した。当初は機械メーカーのフォローを仰ぎつつ、浅水管理による条播でカルパーによる苗立の基礎データは出ていたが、苗立の安定化という意味では不十分な部分があり、何とか解決の手段を検討してきた。たまたま条播用機械メーカーが力が入らなくなってきたのを機にミスト機を用いた散播を指向していたところ、代かき直後に播種をしても、水を入れると種粒が浮いてしまい、倒伏につながる。深水では苗立不良を起こす問題に出くわした。そこで、思い切って播種後落水をし、種粒を泥中に固定することを考え、昭和60年頃から各地で検討を開始した。

例えば、四国松山で条播で実施し、それまで苗立が不良であったものが見違えるほどに良くなった。宮崎でもそれまで種粒が浮いてしまい、出芽そろいが悪かったが、水を抜くことにより圃場全体で安定した苗立を確保することが出来た。山形でも平成元年より3年続けて圃場を借り、落水による田干しでの栽培管理を実施し、苗立が非常に安定することを確認した。とりわけ庄内では田干しに熱心で、今では80～90%の苗立を確保、本県ではほぼこの水管理が定着している。長野飯山地区でも数年前から落水管理による苗立安定が行われている。北海道でも試験機関を中心に何年かの実験が行われ、田干し

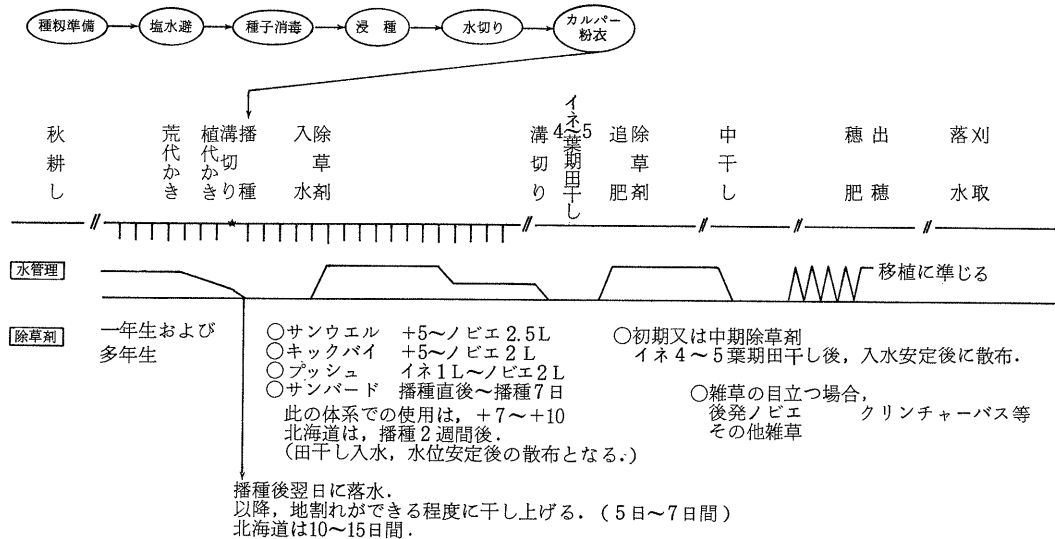
の程度の問題が検討されたが、発芽が確認されるまで干すことにより苗立ちが安定するとのデータが昨年中央農試より発表され、北海道のような極めて厳しい気象条件でも本法が初期生育を安定化させるに有効たる方法であることが確認された。

考えてみれば、当初水の保温効果を求めて浅水管理で経時させることにより苗立ちは安定するとの考え方に立っていたが、思い切った田干しにより、低温条件下、特に条播等しっかりした土中直播で発芽の問題となる還元障害が解消され、その効果が歴然と現れたことに驚いているほどである。田干しはトラクターで溝切りを行い、かなり強めに行っても出根は阻害されることがない。むしろ水を求めてしっかりと種子根はもぐってくれるようである。根張りにより、従来問題となっていた倒伏に対する軽減効果もあり、また種粒が泥中に固定されるため鳥害防止にも役立つ。初期の田干しのため、藻類、表層剥離の抑制も見られる。なお、田干し期間は地域差もあるが概ね5～10日程度、ほぼ出芽そろいの時期となる。代かき直後の播種ならこのころ雑草発生始めとなる。また、この水管理での除草も田干し後入水をし、雑草の生育ステージを見て適期に直播に適用のある除草剤（プッシュ、サンウエル1キロ、キックバイ1キロ等）を施用することにより、初期の除草が十分に行

湛水土壌中直播栽培

散

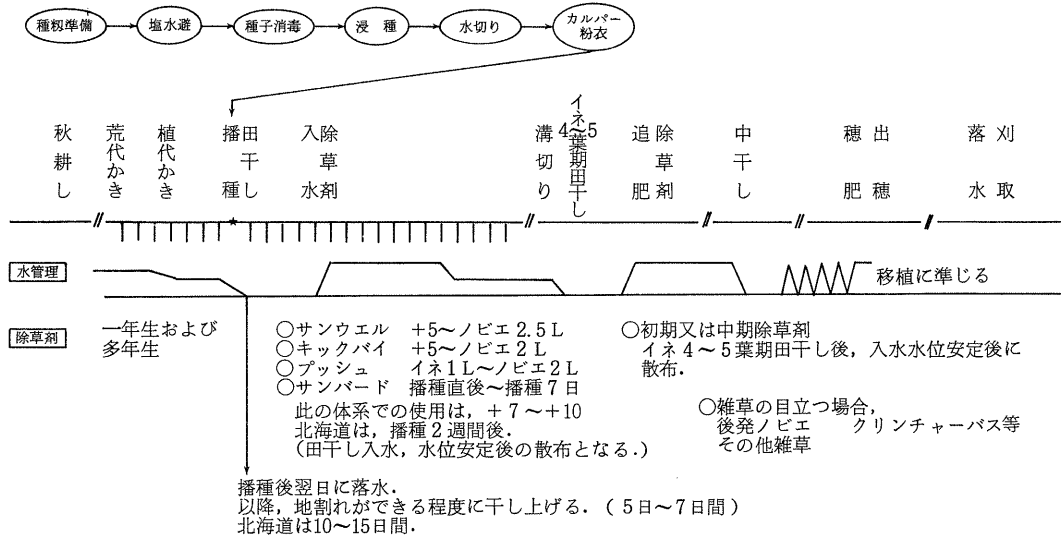
散播栽培の作業体系〔動噴、無人ヘリ、有人ヘリ利用〕



湛水土壌中直播栽培

条

条播栽培の作業体系〔専用播種機利用〕



えることも確認出来た。

現在はウルグアイラウンド合意、世の稲作省力、低コスト化に向け直播サミット等も開催され、産学協同、播種機等の研究が取り組まれている。各々特徴もあり、最も普及に適した性能をもたせながら定着させていくことが重要であると思われる。直播は機械の開発抜きにはありえない技術であり、農業資材とのタイアップによる一貫した栽培技術の確立は必須である。機械は再び条播機開発の方向へ動き出している。散播より条播が栽培管理面、美観面から感覚的

に受け入れやすいというのも自然の流れであろう。そういえば我々も手探りながら条播で始め散播で水管理も含めた土壌中直播を学び、再び流れは条播へ戻っていきつつある様な気がする。

湛水直播現場を歩きつつ各地の指導層、あるいは現地の担い手から多くの指導、助言、激励を受け、学んできたことも多い。そういった中で、私どもが断片的に集めてきた情報を具体的な普及技術の確立において、何らかの形で生かしていただければこの上ない幸いである。

以 上

いのちの輝きを見つめる

Meiji



非選択性茎葉処理型除草剤
(ピラホス除草剤群)

ハービー液剤
サポート水和剤
インパルス水溶剤



明治製薬株式会社
104東京都中央区京橋2-4-16

新発売

最初がかんじん!!

**10アール当り
1kgの散布**

特 長

- ノビエ、ホタルイをはじめ各種多年生雑草に有効。
- 初期除草剤、体系処理の前処理として安定した効果。
- 10アール当り1kgの散布で安定した除草効果。
- 土壌条件などの影響が少なく全地域で安心して使える。

ノビエからホタルイまで、体系除草の初期剤として、また一発処理の前処理剤として、安定した効果。
しかもコンパクトな1キロ粒剤です。

水田初期除草剤

パデ"ホープ"1 キロ粒剤



JAグループ

農

協

全農

経済連

®は登録商標です



自然に学び 自然を守る

クミアイ化学工業株式会社

本社：東京都台東区池之端1-4-26 電話110-91 TEL03(3822)5131

①使用前にはラベルをよく読んでください。②ラベルの記載以外には使用しないでください。③小児の手の届く所には置かないでください。

平成8年度水稲作関係 除草剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部

平成8年度水稲作関係除草剤試験成績中央検討会は、平成8年12月11～12日の2日間、植調会館会議室において開催された。なお、適1試験は、平成8年10月17日植調会館にて開催された。これらの成果の概要を報告する。

1) 第1次適用性試験(適1)成績について

平成8年度の適1試験は、北海道地域(植調北海道試験地)、東北地域(植調古川試験地)、北陸地域(植調新潟第1試験地)、関東地域(植調研究所)、近畿地域(植調滋賀試験地)、中国地域(植調広島試験地)、九州地域(植調福岡第1試験地)の全国7地域で41薬剤(のべ230点)について実施した。その判定結果は、第1表のとおりである。

2) 第2次適用性試験(適2)成績について

平成8年度の適2試験は、次のような試験区分で実施した。すなわち、稚苗移植栽培の移植前土壌混和处理(Ⅱ-1, 4剤13点)、移植前後土壌処理(Ⅱ-2, 15剤214点)、移植後土壌処理(Ⅱ-3, 17剤230点)、茎葉兼土壌処理(Ⅱ-4, 5剤52点)、適用時期拡大(Ⅱ-

5, 11剤112点)、特殊雑草防除(Ⅱ-6, のべ79剤138点)、湛水直播栽培用(Ⅲ-1, 6剤23点)、乾田直播栽培用(Ⅲ-2, 3剤9点)、畦畔雑草用(Ⅳ, 10剤70点)、耕起前雑草用(Ⅴ, 5剤25点)、不耕起栽培移植・播種前雑草対象(Ⅴ, 6剤14点)、初期一発処理剤(Ⅶ-1, 19剤205点)、初・中期一発処理剤(Ⅶ-2, 75剤760点)、長期持続型一発処理剤(Ⅶ-3-(1), 6剤83点)、一年生持続型除草剤(Ⅶ-3-(2), 3剤23点)、少量散布(Ⅷ, 4剤17点)の総のべ点数が1,993点であった。これら適2試験の判定結果は第2表のとおりである。

3) ジャンボ剤適用性試験成績について

平成8年度の適用性試験は、次のような試験区分で実施した。すなわち、移植後土壌処理(Ⅱ-3, 1剤16点)、適用時期拡大(Ⅱ-5, 1剤1点)、一発処理剤(Ⅶ, 9剤74点)、長期持続型一発処理剤(Ⅶ-3-(1), 1剤10点)、低コストジャンボ剤(5剤63点)の総のべ点数が164点であった。これら適用性試験の判定結果は第3表のとおりである。

第1表 平成8年度水稲作関係除草剤適1試験成績判定結果一覧

注)判定欄の記入については, ◎;極めて有望, ○;有望, □;可能性有り, △;再検討, ×;見込みなし, を表す。

No	薬剤名・剤型 [委託者]	有効成分及び含有率 (%)	試験実施場所別総合評価							中央判定結果 [今後の課題点等]
			北海道	古川	新潟1	植調研	滋賀	広島	福岡1	
1	AC-014A フロアブル [日本サイファット®]	シクロスファミロン(AC-140):1.2 ペンチサゾン(KPP-314):9	○	◎	○	○	○	○	○ △ □	長期持続型一発処理剤として ○ +0~1.5L [効果・薬害の確認]
2	DEH-112 乳(EC) [タケ・ケミカル日本]	シハロップ®アチル (DEH-112):5	○	○	◎	○	○	◎	○	ノビエ対象茎葉処理剤として ○ 1.5~6L [効果・薬害の確認]
3	DEH-112 油剤 [タケ・ケミカル日本]	シハロップ®アチル (DEH-112):6	◎	□	◎	○	○	◎	◎	ノビエ対象茎葉処理剤として □ ~1.5L, 湛水原液滴下 [薬害および実用的散布方法 の検討]
4	DH-963 乳 [大日本イソ]	ヒソリフチカル®:10 シスルフロネ:0.35	□	□	○	○	○	○	○	移植後土壌処理剤として □ +0~1.5L [残効性の検討]
5	DPX-84SC フロアブル [日本農薬]	ベンスルフロメチル:1.4 エスフロカル®:30	□	○						初・中期一発処理剤として □ +5~12.5L (北海道~東北) [残効性の検討]
6	DPX-84SC◎ フロアブル [日本農薬]	ベンスルフロメチル:1 エスフロカル®:30			○	○	◎	○	□	初・中期一発処理剤として □ +5~12.5L (北陸~九州) [残効性とノビエに対する 効果の検討]
7	HSA-962 乳 [ヘキスト・シェーリンク アグロ®]	フェノキサプロップ®Pエチル :69g/ℓ	△	△ □	○	□				ノビエ対象茎葉処理剤として △ [中干し期など実用的使用場 面での効果・薬害の検討]
8	HW-521 フロアブル [保土谷化学]	エトベンザニト®:22 新規:15	□	△	△	△	□	△	△	初期土壌処理剤として △ [除草効果の向上]
9	HW-522 フロアブル [保土谷化学]	エトベンザニト®:28 既知A:1.4 既知B:3.7	○	◎						初・中期一発処理剤として ○ +0~12.5L [効果・薬害の確認]
10	HW-522△ フロアブル [保土谷化学]	エトベンザニト®:28 既知A:1 既知B:3.7			△	△	△	△	△	初・中期一発処理剤として △ [薬害の軽減化と製剤改良 について]
11	KUH-961 フロアブル [クミアイ化学]	KUH-920:2.4 CH-900:8.4 ベンスルフロメチル:2.8 タムロン:16	◎	◎						初・中期一発処理剤として ◎ +5~13L (北海道~東北)
12	KUH-961△ フロアブル [クミアイ化学]	KUH-920:1.8 CH-900:8.4 ベンスルフロメチル:2 タムロン:16%			○	○	◎	○	○	初・中期一発処理剤として ○ +5~13L(北陸~九州) [多年生雑草に対する殺草 薬合について]

No	薬剤名・剤型 〔委託者〕	有効成分及び含有率 (%)	試験実施場所別総合評価							中央判定結果 〔今後の課題点等〕
			北海道	古川	新潟 1	植調 研	滋賀	広島	福岡 1	
13	KUH-962-1kg 粒 〔クミヤ化学〕	ベンチオカーブ:15 メフェソット:4.5 シメトリン:4.5 MCPB:2.4	△	○	○	○	○	○		茎葉兼土壌処理剤として ○ B-3015SM剤と同等〔北海道・東北はホライ、ミズガヤツリに有効な前処理剤との体系で〕
14	MT-347 フロアブル 〔三井東圧農業〕	MT-147(未):5.4 既知A+B:34	○	◎	○	○	○	○	○	初・中期一発処理剤として ○ +5〜/ピ ² 2.5L 〔ミズガヤツリには早めに処理〕
15	MT-347-1kg 粒 〔三井東圧農業〕	MT-147(未):3 既知A+B:21	○	○	○	○	○	○	○	初・中期一発処理剤として □ +5〜/ピ ² 2.5L 〔効果・薬害の検討〕
16	MT-348 フロアブル 〔三井東圧農業〕	MT-148(未):5.4 既知A+B:34	○	◎	○	○	◎	◎	◎	初期一発剤として ○ +0〜/ピ ² 1.5L 〔効果・薬害の確認〕
17	NC-376-1kg 粒 〔日産化学〕	既知A:0.3 既知B:15 既知C:6	□	○	○	○	◎	○	□	初・中期一発処理剤として ○:北海道〜中国 +5〜/ピ ² 2.5L〔効果・薬害の確認〕 □:九州 〔/ピ ² に対する効果の検討〕
18	NS-177-1kg 粒 〔三共〕	ベンゾレート:6 シメトリン:4.5 MCPB:2.4	○	◎	○	○	○	○		茎葉兼土壌処理剤として ○ (3kg剤と同等) 〔効果・薬害の確認〕
19	PSSD-1kg 粒 〔三共〕	プレテクロール:4.5 ピラサレート:12 プロモチット:6% シメトリン:0.6%		◎	○	○	○	○	○	初期一発処理剤として ○ +3〜/ピ ² 2L (3kg剤と同等) 〔効果・薬害の確認〕
20	RH-631-1kg 粒 〔ローム・アソシエーツ・ハース〕	既知A:0.6 既知B:0.3 既知C:1.5		○		○			□	初・中期一発処理剤として □ +5〜/ピ ² 3L 〔全地域での検討〕
21	RYH-110 顆粒水和 〔ローム・アソシエーツ 油化〕	MY-100:15 ピラサレート:5.25	○	◎	○	□	○	○	□	初・中期一発処理剤として ○ +0〜/ピ ² 2.5L 〔/ピ ² に対する殺草薬令限界および薬害〕
22	RYH-116-1kg 粒 〔ローム・アソシエーツ 油化〕	ホキサゾール:0.5 ベンゾフェナップ:5 プロモチット:6	◎	○	○	○	○	○	□	移植後土壌処理剤として ○ +0〜/ピ ² 1.5L 〔暖地での薬害および/ピ ² に対する効果〕
23	RYH-117 フロアブル 〔ローム・アソシエーツ 油化〕	MY-100:0.8 ベンゾフェナップ:20	□	○	○	○	○	○	○	移植後土壌処理剤として □:北海道〜東北 ○:北陸〜九州 +0〜/ピ ² 2L 〔ホライ・ミズガヤツリに対する効果の確認〕
24	RYH-118-1kg 粒 〔ローム・アソシエーツ 油化〕	ホキサゾール:0.5	□	□	□	○	○	□	△	移植前後土壌処理剤として □ ~雑草発生初期 ホライに有効な後処理剤との体系で 〔薬害(処理時期)の検討〕

No	薬剤名・剤型 〔委託者〕	有効成分及び含有率 (%)	試験実施場所別総合評価							中央判定結果 〔今後の課題点等〕
			北海道	古川	新潟1	植調研	滋賀	広島	福岡1	
25	SB-542-1kg 粒 〔エス・ディー・エス〕	新規:3	△	□		□		○	○	一年生持続型除草剤として □ +3〜/t ² 1L 〔寒地の材料に対する効果、 全地域で効果・薬害の検討〕
26	SB-544 フロアブル 〔エス・ディー・エス〕	新規:4 (W/V) 既知:3.5 (W/V)	□	□	○	○	○	○	◎	一年生持続型除草剤として □:北海道〜東北 +3〜/t ² 1L ○:北陸〜九州 +3〜/t ² 1.5L 〔効果・薬害の確認〕
27	SL-933-1kg 粒 〔石原産業〕	既知(3種):36.5%	○	□	○	□	○	○	○	初・中期一発処理剤として □ +5〜/t ² 2.5L 〔ミス・ガツリには早めに処理〕
28	SL-973-1kg 粒 〔石原産業〕	ヒラゾキシフェン:15 プロモフラクト:10 MK-243:1.5	◎	○	○	□	□	○	○	初・中期一発処理剤として □ +5〜/t ² 2.5L 〔ミス・ガツリには早めに処理〕
29	TH-913HSK フロアブル 〔武田薬品〕	イマゾスルフロ:1.6 エトベンサント:27 タムロン:18	□	○		□			□	初・中期一発処理剤として □ +0〜/t ² 2.5L 〔/t ² に対する残効性と2.5L の効果、全地域での検討〕
30	CH-907-0.5kg 粒 〔永光化成〕	CH-900:6 イマゾスルフロ:1.8 タムロン:20	◎	◎	○	○	◎	○	○	初・中期一発処理剤として □ +5〜/t ² 2.5L 〔実用的散布方法での効果・ 薬害の検討〕
31	KK-961-1kg 粒 〔日本農業〕	ベンスルフロメチル:0.3 アジメスルフロ:0.06 シハロホップ・ブチル (DEH-112):1.8 テニクロール:2.1	□	◎						初・中期一発処理剤として □ +5〜/t ² 3L 北海道〜東北 〔実用的散布方法での効果・ 薬害の検討〕
32	KK-962-1kg 粒 〔日本農業〕	ベンスルフロメチル:0.51 シハロホップ・ブチル (DEH-112):1.8 テニクロール:2.1			○	○	□	○	○	初・中期一発処理剤として □ +5〜/t ² 3L 北陸〜九州 〔実用的散布方法での効果・ 薬害の検討〕
33	MK-243D ^① -0.5kg 粒 〔三菱化学〕	MK-243:3 ベンスルフロメチル:1			○	○	○	○	○	初・中期一発処理剤として □ +5〜/t ² 2.5L 北陸〜九州 〔実用的散布方法での効果・ 薬害の検討〕
34	MK-243-DS0.5kg 粒 〔三菱化学〕	MK-243:3 ベンスルフロメチル:0.6 アジメスルフロ:0.12	□	○	○	○	○	○	○	初・中期一発処理剤として □ +5〜/t ² 2.5L 〔実用的散布方法での効果・ 薬害の検討〕
35	MK-243N-0.5kg 粒 〔三菱化学〕	MK-243:3 ヒラゾスルフロニエチル:0.42	○	◎	○	○	○	○	○	初・中期一発処理剤として □ +5〜/t ² 2.5L 〔実用的散布方法での効果・ 薬害の検討〕
36	NC-374-0.5kg 粒 〔日産化学〕	ヒラゾスルフロニエチル :0.42 MK-243:2.4 シハロホップ・ブチル (DEH-112):3	□	○	○	○	○	○	○	初・中期一発処理剤として □ +5〜/t ² 2.5L 〔実用的散布方法での効果・ 薬害の検討〕

No	薬剤名・剤型 〔委託者〕	有効成分及び含有率 (%)	試験実施場所別総合評価							中央判定結果 〔今後の課題点等〕
			北海道	古川	新潟1	植調研	滋賀	広島	福岡1	
37	NC-375-0.5kg 粒 〔日産化学〕	既知A:0.42 既知B:6.6 既知C:3	□	◎	○	□	○	○	□	初・中期一発処理剤として □ +5〜/t ² ・3L 〔実用的散布方法での効果・ 薬害の検討〕
38	NCH-903DEH-0.5kg 粒 〔日産化学〕	ヒ ⁺ ラ ⁺ ソ ⁺ スル ⁺ フロン ⁺ エチル :0.42 CH-900:4.2 シハロ ⁺ フ ⁺ チル (DEH-112):3	□	◎	◎	○	○	○	○	初・中期一発処理剤として □ +5〜/t ² ・3L 〔実用的散布方法での効果・ 薬害の検討〕
39	RYS-961 フロアブル 〔ロ ⁺ ス ⁺ フ ⁺ ラン油 ⁺ 化 ⁺ ア ⁺ ク ⁺ ロ〕	MY-100:1 ヘ ⁺ ン ⁺ ソ ⁺ フ ⁺ エ ⁺ ナ ⁺ フ ⁺ :12 ブ ⁺ ロ ⁺ モ ⁺ フ ⁺ チ ⁺ ト ⁺ :12	◎	◎		○		○	◎	移植後土壌処理剤として ○ +0〜/t ² ・2L 〔全地域での効果・薬害の検討〕
40	KUH-963 顆粒剤 〔クミアイ化学〕	KUH-920:2.4 CH-900:8.4 ヘ ⁺ ン ⁺ スル ⁺ フロン ⁺ メチル:1.2 ダ ⁺ イムロン:16 DPX-47:0.24				□				初・中期一発処理剤として □ ~ /t ² ・3L 〔全地域で実用的散布方法での 効果・薬害の検討〕
41	KUH-963 [○] 顆粒剤 〔クミアイ化学〕	KUH-920:1.8 CH-900:8.4 ヘ ⁺ ン ⁺ スル ⁺ フロン ⁺ メチル:2 ダ ⁺ イムロン:16				○			○	初・中期一発処理剤として □ +5〜/t ² ・3L 〔全地域で実用的散布方法での 効果・薬害の検討〕

第2表 平成8年度水稻関係除草剤適2試験成績判定結果一覧

区 分	実 ・ 継	継
Ⅱ-1 移植前土壌混和处理	HOK-913乳, TCG-128乳, TCG-128乳(少量), RPC-208乳	
Ⅱ-2 移植前後土壌処理	CG-113-1kg粒, CGM-717077 [°] ル, KPP-314 ^⓪ 7077 [°] ル, KPP-314-1kg粒, KUH-942-1kg粒, KUH-9587077 [°] ル, MC-79 ^⓪ -1kg粒, NSK-8507077 [°] ル, NSK-8597077 [°] ル, RYH-1157077 [°] ル, SB-5287077 [°] ル, SL-9707077 [°] ル, YH-411-1kg粒	RYH-118-1kg粒, SL-9707077 [°] ル(少量)
Ⅱ-3 移植後土壌処理	CG-113乳, CGM-15 ^⓪ -1kg粒, DH-9457077 [°] ル, DH-9457077 [°] ル(少量), NSK-8637077 [°] ル, S-28-1kg粒, S-889-1kg粒, SB-529-1kg粒, SL-498E-1kg粒, TSM-6127077 [°] ル, TSM-6127077 [°] ル(少量), TSR-1217077 [°] ル(少量), YH-3-1kg粒, YH-5627077 [°] ル	DH-963乳, RYH-116-1kg粒,
Ⅱ-4 茎葉兼土壌処理	DEH-112-1kg粒, DEH・BAS乳(ME), MKS-245水和	HSA-962乳, KUH-962-1kg粒
Ⅱ-5 適用時期拡大	DEH-112乳(EW), DEH-112-1kg粒, DEH・BAS乳(ME), HOK-7505-1kg粒, MKS-245水和, NS-177粒, NS-177-1kg粒, モリネートSM-1kg粒	DEH-112乳(EC), DEH-112油, KUH-962-1kg粒
Ⅱ-6-(1) クログワイ対象	CDS-9417077 [°] ル, CDS-941 ^⓪ 7077 [°] ル, CH-904D-1kg粒, CH-904K-1kg粒, DPX-47ND-1kg粒, DPX-84SC ^⓪ -1kg粒, KUH-931-1kg粒, KUH-936B-1kg粒, MK-243DS-1kg粒, MKS-245水和, YH-3-1kg粒	CH-9047077 [°] ル, CH-904 ^⓪ 7077 [°] ル, CH-906 ^⓪ -1kg粒, CH-908-1kg粒, MK-243D7077 [°] ル, MK-243D ^⓪ 7077 [°] ル, MK-243D ^⓪ -1kg粒
Ⅱ-6-(2) オモダカ対象	CDS-9417077 [°] ル, CDS-941 ^⓪ 7077 [°] ル, CH-904k-1kg粒, DPX-47ND-1kg粒, DPX-84MN ^⓪ -1kg粒, DPX-84SC ^⓪ -1kg粒, KUH-883-1kg粒, MK-243DS-1kg粒, NC-311T-1kg粒, TDS-888 ^⓪ 7077 [°] ル	CH-9047077 [°] ル, CH-906 ^⓪ -1kg粒, CH-908-1kg粒, DPX-84MN-1kg粒, KUH-931-1kg粒, KUH-936B-1kg粒, MK-243D7077 [°] ル, MK-243D ^⓪ 7077 [°] ル, MK-243D ^⓪ -1kg粒, NC-311SC ^⓪ -1kg粒, NC-329-1kg粒
Ⅱ-6-(5) シズイ対象	CH-9047077 [°] ル, MK-243DS-1kg粒, NCH-903DEH-1kg粒, TH-913SN-1kg粒, YH-3-1kg粒	MK-243D7077 [°] ル

区 分	実 ・ 継	継
Ⅱ-6-(6) エゾノサヤマカグサ対象	<u>CH-904</u> 7077 [°] ル, <u>CH-904K-1kg 粒</u> , <u>HJ-942-1kg 粒</u> , <u>HJ-947-1kg 粒</u> , <u>MK-243D7077[°]ル</u> , <u>MK-243DS-1kg 粒</u> , <u>NC-311SC</u> ①-1kg 粒, <u>NC-311T-1kg 粒</u> , <u>NC-329-1kg 粒</u> , <u>NC-366-1kg 粒</u> , <u>NCH-903DEH-1kg 粒</u>	
Ⅱ-6-(7) クサネム対象	<u>モリネートSM-1kg 粒</u>	NSK-855 ① 7077 [°] ル, TDS-888 ① 7077 [°] ル
Ⅱ-6-(8) コウキヤガラ対象	<u>CH-904</u> 7077 [°] ル, <u>CH-904</u> ① 7077 [°] ル, <u>CH-904D-1kg 粒</u> , <u>CH-904K-1kg 粒</u> , <u>DPX-47ND-1kg 粒</u> , <u>DPX-47SC-1kg 粒</u> , <u>DPX-84SC</u> ①-1kg 粒, <u>MK-243D</u> 7077 [°] ル, <u>MK-243D</u> ① 7077 [°] ル, <u>MK-243D</u> ①-1kg 粒, <u>MK-243DS-1kg 粒</u> , <u>NC-329-1kg 粒</u> , <u>NSK-855</u> 7077 [°] ル, <u>TDS-888</u> 7077 [°] ル	NSK-855 ① 7077 [°] ル
Ⅱ-6-(9) その他	<u>タウキ[°]:NC-329-1kg 粒</u> , <u>TDS-888</u> 7077 [°] ル	<u>タウキ[°]:NC-355 顆粒水和</u> , <u>NCH-903DEH-1kg 粒</u> , <u>モリネートSM-1kg 粒</u>
Ⅲ-1 湛水直播	<u>DEH-112-1kg 粒</u> , <u>DEH・BAS乳(ME)</u> , <u>KUH-883</u> ①-1kg 粒, <u>TH-913HSK-1kg 粒</u>	<u>AGH-925-1kg 粒</u> , <u>TH-913HSK</u> 7077 [°] ル
Ⅲ-2 乾田直播	<u>DEH-112 乳(EW)</u> , <u>DEH・BAS乳(ME)</u> , <u>DPX-84TD</u> ①-1kg 粒	
Ⅳ 畦畔対象	<u>KUH-913 液</u> , <u>NH-501</u> 7077 [°] ル, <u>PR-084 液</u> , <u>ULV-04 液</u> , <u>WOC-01 液</u> , <u>WOC-02 液</u> , <u>MON-8794 液</u> , <u>DBN 液</u>	<u>AK-01 液</u> , <u>ULV-05 液</u>
Ⅴ 耕起前	<u>WOC-01 液</u> , <u>WOC-02 液</u> 不耕起移植: <u>MW-851 液</u> , <u>SC-224 液</u> , <u>WOC-02 液</u> , 不耕起直播: <u>SC-224 液</u> , <u>YH-65</u> ① 液, <u>WOC-02 液</u> ,	<u>AK-01 液</u> , <u>MON-6063 液</u> , <u>MON-93A 液</u> ,
Ⅵ 休耕田		<u>WOC-01 液</u>
Ⅶ-1 初期一発処理剤	<u>DND-950</u> 7077 [°] ル, <u>DND-950</u> ① 7077 [°] ル, <u>HJ-941-1kg 粒</u> , <u>HSW-941-1kg 粒</u> , <u>KPP-932</u> 7077 [°] ル, <u>KPP-932-1kg 粒</u> , <u>NBA-074-1kg 粒</u> , <u>NBA-076a-1kg 粒</u> , <u>NBA-076b-1kg 粒</u>	<u>PSS</u> ① D-1kg 粒

区 分	実 ・ 継	継
VII-1 初期一発処理剤つづき	NC-311KP㊟顆粒水和, NSK-855㊟7077°ル, NSK-855㊟7077°ル, SL-498-1kg 粒, SL- 970㊟7077°ル, TH-913ADS㊟-1kg 粒, <u>TH-</u> <u>951㊟7077°ル</u> , YH-570㊟7077°ル	
VII-2 初・中期一発処理剤	AC-014E-1kg 粒, AGH-925-1kg 粒, CDS- 941㊟7077°ル, CDS-941㊟7077°ル, CH-904 ㊟7077°ル, CH-904㊟7077°ル, CH-904D- 1kg 粒, CH-904K-1kg 粒, CH-906㊟-1kg 粒, CH-908-1kg 粒, <u>DKH-951-1kg 粒</u> , DPX-47MN-1kg 粒, DPX-47ND-1kg 粒, DPX-47SC-1kg 粒, DPX-84MN-1kg 粒, DPX-84MN㊟-1kg 粒, <u>DPX-84ND㊟7077°ル</u> , <u>DPX-84ND㊟7077°ル</u> , DPX-84SC㊟-1kg 粒 DPX-84TD㊟-1kg 粒, HJ-942-1kg 粒, HJ -943-1kg 粒, HJ-946-1kg 粒, HJ-947- 1kg 粒, KUH-931-1kg 粒, KUH-936B-1kg 粒, KUH-951-1kg 粒, <u>KUH-952-1kg 粒</u> , KUH-956-1kg 粒, <u>MK-243D㊟7077°ル</u> , <u>MK-</u> <u>243D㊟7077°ル</u> , <u>MK-243D㊟-1kg 粒</u> , <u>MK-</u> <u>243DS-1kg 粒</u> , <u>NBA-071-1kg 粒</u> , <u>NBA-</u> <u>072-1kg 粒</u> , <u>NBA-073-1kg 粒</u> , NBA-941- 1kg 粒, NC-311DCD-1kg 粒, NC-311HW- 1kg 粒, <u>NC-339顆粒水和</u> , NC-339-1kg 粒, NC-355顆粒水和, NC-366-1kg 粒, <u>NC-367-1kg 粒</u> , NCH-903DEH-1kg 粒, <u>NSK-858㊟7077°ル</u> , <u>NSK-858㊟7077°ル</u> , NTN-831-1kg 粒, <u>RYH-102-1kg 粒</u> , <u>RYH-</u> <u>103㊟7077°ル</u> , TH-913ADE-1kg 粒, TH-913 HSK-1kg 粒, TH-913SN-1kg 粒, CH-907- 1kg 粒	DPX-84SC㊟7077°ル, DPX-84SC㊟7077°ル, HW-522㊟7077°ル, HW-522㊟7077°ル, KUH- 961㊟7077°ル, KUH-961㊟7077°ル, NC-376 -1kg 粒, RYH-110顆粒水和, SL-973- 1kg 粒, KK-961-1kg 粒, KK-962-1kg 粒, CH-907-0.5kg 粒, MK-243D㊟-0.5kg 粒, MK-243DS-0.5kg 粒, MK-243N-0.5kg 粒, NC-374-0.5kg 粒, NCH-903DEH-0.5kg 粒
VII-3-(1) 長期持続型一発処理剤	AC-014A 粒, AC-014A㊟粒, <u>AC-014A-</u> <u>1kg 粒</u> , AC-014C-1kg 粒	AC-014A㊟7077°ル, AC-014M㊟7077°ル
VII-3-(2) 一年生持続型除草剤	CH-902-1kg 粒, CHG-948-1kg 粒	SB-533㊟7077°ル
VIII-1 少量散布法	NC-311SC㊟-1kg 粒, <u>NSK-855㊟7077°ル</u> , <u>NSK-855㊟7077°ル</u> , <u>SKH-8602㊟粒</u>	

第3表 平成8年度水稻除草剤ジャンボ剤

区 分	実 ・ 継	継
Ⅱ - 3 移植後土壌処理	CG-113	
Ⅱ - 5 適用時期拡大	DEH-112	
Ⅶ 一発処理剤	SW-951, SW-951 ^①	CH-908, HSA-952, MK-243D ^① , MK-243 DS, NSK-850 D, NSK-850D ^① , HSA-963
Ⅶ - 3 - (1) 長期持続型一発処理剤	AC-014C	
低コスト	<u>SW-952</u> , <u>SW-952^①</u>	SW-965, NC-377, MT・LCP

注) : 1) 本年度新規に使用基準を作成されたものは、薬剤名にアンダーラインを記した。

2) 本年度は「実」、「継?」及び「中止」と判定された薬剤はなかった。

植物化学調節実験法

植物化学調節学会 高橋 信孝・編

A5判・468頁・定価5,000円(税別)

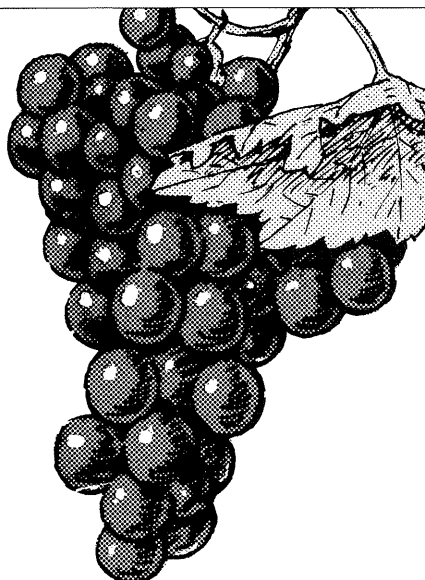
植物の化学調節研究はいわゆるモノトリ屋、ブッカケ屋の連携によって初めて可能となるもので、両者の相互理解が必要です。本書はこの研究に役立つよう編集されています。つまり、作物の研究者、技術者が生理活性物質の分離・同定や生物検定法を、化学、薬学の研究者が除草剤、植物調節剤の生物実験法を理解し、実験できるよう平易かつ具体的に解説してあります。

発行 植物化学調節学会

発売 全国農村教育協会

東京都台東区台東1-26-6(植調会館)

TEL. 03(3833)1821 FAX 03(3833)1665



平成8年度 水稻関係除草剤使用基準一覧表

II-1 移植前土壌混和处理

	処理法	地域名	作期	ノビエ	一年 広葉 マツバ	オキナ	クリカワ	ミス カヤ フリ	ヘラオモ タガ	クロク ワイ	オモタ ガ	ヒルム シ ロ	藻類 腐 剥		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意			
Ⅱ-1 1. HOK-913	乳 土壌混和处理	北海道	○	○	○										植代時 (～4)	50 ml/a	○	○	○	○	2	混和時の 水深 3～5cm 混和深 2～3cm			
		東北	○	○	○									●			○	○	○	1.5					
		北陸	○	○	○												○	○	○	○	2				
		関東 東山	早 普	○ ○	○ ○	○ ○											○ ○	○ ○	○ ○	○ ○					
		近畿 中国	早 普	○ ○	○ ○	○ ○													○ ○	○ ○	○ ○		1		
		四国	早 普	○ ○	○ ○	○ ○														○ ○	○ ○		○ ○		
		九州	早 普	○ ○	○ ○	○ ○													○ ○	○ ○	○ ○		○ ○		
Ⅱ-1 2. TCG-128	乳 土壌混和处理	北海道	○	○	○				○						植代時 (～4)	50 ml/a	○	○	○	○	2	混和時の 水深 3～5cm 混和深 2～3cm			
		東北	○	○	○			○									○	○	○	○					
		北陸	○	○	○			○									○	○	○	○					
		関東 東山	早 普	○ ○	○ ○	○ ○		○ ○									○ ○		○ ○	○ ○	○ ○		1 2		
		近畿 中国	早 普	○ ○	○ ○	○ ○		○ ○											○ ○	○ ○	○ ○		1		
		四国	早 普	○ ○	○ ○	○ ○		○ ○									○ ○		○ ○	○ ○	○ ○				
		九州	早 普	○ ○	○ ○	○ ○		○ ○									○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○				
Ⅱ-1少量 3. TCG-128	乳 土壌混和处理	北海道	●	●	●										植代時(～4)	30 ml/a	○	●	●	●	1.5	一発処理型除 草剤の事前処理 として少量散布 が可能			
		東北	○	○	○			○									○	○	○	○	1.5				
		北陸	●	●	●		●										●	●	●	●	2				
		関東 東山	早 普	○ ○	○ ○	○ ○		○ ○												○ ○					
		近畿 中国	早 普	○ ○	○ ○	○ ○		○ ○									○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	1.5				
		四国	早 普	○ ○	○ ○	○ ○		○ ○									○ ○	○ ○	○ ○	○ ○					
		九州	早 普	○ ○	○ ○	○ ○		○ ○									○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	1				
Ⅱ-1 4. RPC-208	乳 土壌混和处理	北海道	○	○	○				○						植代時 (～4)	50 ml/a	○	○	○	○	2	混和時の 水深 3～5cm 混和深 2～3cm			
		東北	○	○	○			○									○	○	○	○					
		北陸	○	○	○			○									○	○	○	○					
		関東 東山	早 普	○ ○	○ ○	○ ○		○ ○									○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○				
		近畿 中国	早 普	○ ○	○ ○	○ ○		○ ○											○ ○	○ ○	○ ○		1 1.5		
		四国	早 普	○ ○	○ ○	○ ○		○ ○									○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	1 1.5				
		九州	早 普	○ ○	○ ○	○ ○		○ ○									○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	1				

Ⅱ-2 移植前後土壌処理

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マハイ	ミズ カヤ フリ	ヘラオモ タガ	クロガ ワイ	オモダ ガ	ヒルム シロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
Ⅱ-2 1. CG-113-1kg 粒	北海道	○1	○	○始		○始				植代後～-4 +0～+5 (/t・1L)	100 g/a	○	○	○	○	2	
	東北	○1	○	○始	○始	○始						○	○	○	○		
	北陸	○1	○	○始	○始	○始						○	○	○	○		
	関東 東海	早 普	○1 ○	○始 ○始								○	○	○	○		
	近畿 中国	早 普	○1 ○	○始 ○始								○	○	○	○	1	
	四国	早 普	○1 ○	○始 ○始								○	○	○	○		
	九州	早 普	○1 ○	○始 ○始								○	○	○	○		

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マハイ	ミズ カヤ フリ	ヘラオモ タガ	クロガ ワイ	オモダ ガ	ヒルム シロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
Ⅱ-2 2. CGM-71 7077g 粒	北海道	○1	○	○始	○始	○始				+0～+5 (/t・1L)	50 ml/a	○	○	○	○	2	田植同時 散布可能 (東北・ 関東～ 九州)
	東北	○1	○	○始	○始	○始	○始					○	○	○	○		
	北陸	○1	○	○始	○始	○						○	○	○	○		
	関東 東海	早 普	○1 ○	○始 ○始	○始 ○始							○	○	○	○		
	近畿 中国	早 普	○1 ○	○始 ○始	○始 ○始							○	○	○	○	1	水口処理 可能 (全域)
	四国	早 普	○1 ○	○始 ○始	○始 ○始							○	○	○	○		
	九州	早 普	○1 ○	○始 ○始	○始 ○始							○	○	○	○	1.5	
												○	○	○	○		
												○	○	○	○	1.5	
												○	○	○	○		

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マハイ	ミズ カヤ フリ	ヘラオモ タガ	クロガ ワイ	オモダ ガ	ヒルム シロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
Ⅱ-2 3. KPP-314④ 7077g 粒	北海道	○始	○							植代後～-4, +0～+5 (/t・1始)	50 ml/a	●	●	○	○	2.	(5)
	東北	○始	○									●	○	○	○		
	北陸	○始	○									●	○	○	○		
	関東 東海	早 普	○始 ○									●	○	○	○	1	水口処理 可能 (関東・東海)
	近畿 中国	早 普	○始 ○									○	○	○	○		
	四国	早 普	○始 ○									○	○	○	○	1	
	九州	早 普	○始 ○									○	○	○	○		
												○	○	○	○	2	
												○	○	○	○		
												○	○	○	○		

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マハイ	ミズ カヤ フリ	ヘラオモ タガ	クロガ ワイ	オモダ ガ	ヒルム シロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
Ⅱ-2 4. KPP-314 -1kg 粒	北海道	○始	○							植代後～-4, +0～+5 (/t・1始)	100 g/a	●	●	○	○	2.	(5)
	東北	○始	○									●	○	○	○		
	北陸	○始	○									●	○	○	○		
	関東 東海	早 普	●始 ○	●								●	●	●	●	1	
	近畿 中国	早 普	○始 ○									○	○	○	○		
	四国	早 普	○始 ○									○	○	○	○	2	
	九州	早 普	○始 ○									○	○	○	○		
												○	○	○	○	1	
												○	○	○	○		
												○	○	○	○		

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	年 広 マツハ・イ	ネグロイ	クリカワ	ミス カ・ヤ フリ	ヘラモ タ・カ	クロガ ライ	オモダ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 塚 土	塚 土	塚 土	塚 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意			
II-2 5. KUH-942 -1kg 粒	土壌処理	北海道	○	1	○	○	始		○	始					植代後～4. +0～+5 (/t ² ×1L)	100 g/a	○	○	○	○	2	田植同時 処理可能 (東北・関東 ・東海・四 国)			
		東北	○	1	○	○	始	○	始	○	始							○	○	○	○				
		北陸	○	1	○	○	始	○	始	○	始							○	○	○	○				
		関東 東山 東海	早 普	○ 1	○ ○	○ ○	始 始	○ 始	○ 始									● 1	○	○	○		○		
		近畿 中国	早 普	○ 1	○ ○	○ ○	始 始	○ 始	○ 始										○	○	○		○	1 2	
		四国	早 普	○ 1	○ ○	○ ○	始 始	○ 始	○ 始										○	○	○		○	1 2	
		九州	早 普	● 1	● ○	● ○	始 始	● 始	● 始									● ○	● ○	● ○	● ○		2 1.5		

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	ネグロイ	クリカワ	ミス カ・ヤ フリ	ヘラモ タ・カ	クロガ ライ	オモダ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 塚 土	塚 土	塚 土	塚 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
II-2 6. KUH-958 7077 ^g 粒	土壌処理	北海道	●	1	●	●	始								植代後～4. +0～+5(/t ² ×1L)				●	●	2	(5)
		東北	●	1	●	●	始								植代後～4. +0～+7(/t ² ×1L)			●	●	●	1.5	
		北陸	●	1	●	●	始								植代後～4. +0～+8(/t ² ×1L)			●	●	●	2	
		関東 東山 東海	早 普	● 1	● ●	● ●	始 始								+0～+5 (/t ² ×1L)				●	●	1	
		近畿 中国	早 普	● 1	● ●	● ●	始 始								植代後～4. +0～+5 (/t ² ×1L)		●	●	●	●	1.5	
		四国	早 普	● 1	● ●	● ●	始 始										●	●	●	●		
		九州	早 普	● 1	● ●	● ●	始 始										●	●	●	●	2	

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	ネグロイ	クリカワ	ミス カ・ヤ フリ	ヘラモ タ・カ	クロガ ライ	オモダ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 塚 土	塚 土	塚 土	塚 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
II-2 7. WC-790 -1kg 粒	土壌処理	北海道	○	1	○										植代後～4. +0～+5 (/t ² ×1L)	100 g/a	○	○	○	○	2	(5)
		東北	○	1	○												○	●	○	○		
		北陸	○	1	○												○	○	○	○		
		関東 東山 東海	早 普	○ 1	○ ○														○	○	1	
		近畿 中国	早 普	● 1	● ○													●	●	○		
		四国	早 普	● 1	● ○													●	●	●		
		九州	早 普	● 1	● ○												●	●	●	●		

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	ネグロイ	クリカワ	ミス カ・ヤ フリ	ヘラモ タ・カ	クロガ ライ	オモダ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 塚 土	塚 土	塚 土	塚 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
II-2 8. NSK-850 7077 ^g 粒	土壌処理	北海道	●	始	●										植代後～4. +0～+5 (/t ² ×始)	50 ml/a		●	●	●	1.5	
		東北	●	始	●													●	●	●		
		北陸	●	始	●													●	●	●	2	
		関東 東山 東海	早 普	● 1	● ●										植代後～4. +0～+5 (/t ² ×1L)				●	●	1	
		近畿 中国	早 普	● 1	● ●													●	●	●	1.5	
		四国	早 普	● 1	● ●													●	●	●		
		九州	早 普	● 1	● ●												●	●	●	●	1	

処理法	地域名	作期	一年 広葉 マツハ	ミズ カヤ フリ	ヘラオモ タカ	クロク ワイ	オモダ カ	ヒルム シロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
Ⅱ-2 9. NSK-859 7077 ^ル	北海道	●1	●	●始		●始				植代後～4. +0～15 (/t ¹ ±1L)	50 ml/a	●	●	●	●	1.5	
	東北	●1	●	●始	●始								●	●	●	2	
	北陸	●1	●	●始	●始								●	●	●		
	関東 東山 東海	早 普	●1	●	●始	●始								●	●	1.5	
	近畿 中国	早 普	●1	●	●始	●始							●	●	●		
	四国	早 普	●1	●	●始	●始							●	●	●		
	九州	早 普	●1	●	●始									●	●	1	

処理法	地域名	作期	一年 広葉 マツハ	ミズ カヤ フリ	ヘラオモ タカ	クロク ワイ	オモダ カ	ヒルム シロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
Ⅱ-2 10. RYH-115 7077 ^ル	北海道									+0～+7(/t ¹ ±1L)	50 ml/a			●	●	1.5	
	東北	●1	●	●始										●	●		
	北陸																
	関東 東山 東海	早 普								植代後～4. +0～15 (/t ¹ ±1L)						1.5	
	近畿 中国	早 普	●1	●	●始								●	●	●		
	四国	早 普	●1	●	●始								●	●	●		
	九州	早 普	●1	●	●始							●	●	●	●	1	

Ⅱ-2 11. RYH-118-1kg 粒 「継」

処理法	地域名	作期	一年 広葉 マツハ	ミズ カヤ フリ	ヘラオモ タカ	クロク ワイ	オモダ カ	ヒルム シロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
Ⅱ-2 12. SB-528 7077 ^ル	北海道	○1	○	○始		○始				植代後～4. +0～15 (/t ¹ ±1L)	50 ml/a	○	○	○	○	2.	(5) (13)
	東北	○1	○	○始	○始	○始						●	●	○	○		
	北陸	○1	○	○始	○始	○始						●	○	○	○		
	関東 東山 東海	早 普	○1	○	○始	○始						○	○	○	○	1	
	近畿 中国	早 普	●1	●	●始	●始						○	○	○	○	2	
	四国	早 普	○1	○	○始	○始						○	○	○	○	2	
	九州	早 普	●1	●	●始	●始						●	●	●	●	1.5	

処理法	地域名	作期	一年 広葉 マツハ	ミズ カヤ フリ	ヘラオモ タカ	クロク ワイ	オモダ カ	ヒルム シロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
Ⅱ-2 13. SL-970 7077 ^ル	北海道	○1	○	○始		○始				植代後～4. +0～15 (/t ¹ ±1L)	50 ml/a	○	○	○	○	2.	初期剤とし て50ml/a 散布が可能 水口処理可能 (北海道、東北、 北陸～九州) 田植同時散布 可能(東北、 関東～四国)
	東北	○1	○	○始	○始	○始						●	●	○	○		
	北陸	○1	○	○始	○始							○	○	○	○		
	関東 東山 東海	早 普	○1	○	○始							○	○	○	○	1	
	近畿 中国	早 普	○1	○	○始							○	○	○	○	2	
	四国	早 普	○1	○	○始							○	○	○	○	1	
	九州	早 普	○1	○	○始							○	○	○	○	1.5	

Ⅱ-2少量 14. SL-970 7077^ル 「継」

	処理法	地域名	作期	ノヒエ	一年広葉マツハ	ネタリ	クリカワ	ミスガヤフリ	ヘラオモダ	クロガ	オモダ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
II-2 15.YH-411 -1kg 粒	土壌処理	北海道													100 g/a						(5)
		東北		●1	●	●始								植代後~-4, +0~+7 (ノヒエ1L)		●	●	●	●	1.5	
		北陸		●1	●	●始										●	●	●	●	1	
		関東	早											植代後~-4, +0~+5 (ノヒエ1L)						2	
		東山	普	○1	○	○始										○	○	○	○		
		近畿	早																	1	
		中国	普	●1	●	●始										●	●	●	●		
		四国	早																		
			普	●1	●	●始										●	●	●	●		
		九州	早																		
			普																		

II-3 移植後土壌処理

	処理法	地域名	作期	ノヒエ	一年広葉マツハ	ネタリ	クリカワ	ミスガヤフリ	ヘラオモダ	クロガ	オモダ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
II-3 1.CG-113 乳	土壌処理	北海道		○1	○	○始			○始					+0~-+5 (ノヒエ1L)	30 ml/a	○	○	○	○	2	(6)
		東北		○1	○	○始										●	●	○	○		
		北陸		○1	○	○始										●	○	○	○		
		関東	早																		
		東山	普	●1	●	●始											●	●	●		
		近畿	早																		
		中国	普	●1	●												●	●	●	1.5	
		四国	早																		
			普	●1	●												●	●	●		
		九州	早	●1	●	●始										●	●	●	●	2	
			普	○1	○	○始										○	○	○	○		

	処理法	地域名	作期	ノヒエ	一年広葉マツハ	ネタリ	クリカワ	ミスガヤフリ	ヘラオモダ	クロガ	オモダ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
II-3 2.CG-15 -1kg 粒	土壌処理	北海道		●1.5	●	●始			●始					+0~-ノヒエ1.5L	100 g/a	●	●	●	●	1.5	
		東北		●1.5	●	●始											●	●	●		
		北陸		●1.5	●	●始											●	●	●		
		関東	早											+0~-+5 (ノヒエ1L)						2	
		東山	普	●1	●	●始													●		
		近畿	早											+0~-ノヒエ1.5L						1.5	
		中国	普	●1.5	●											●	●	●	●		
		四国	早																		
			普	●1.5	●											●	●	●	●		
		九州	早	●1.5	●	●始										●	●	●	●	1	
			普	●1.5	●	●始										●	●	●	●		

	処理法	地域名	作期	ノヒエ	一年広葉マツハ	ネタリ	クリカワ	ミスガヤフリ	ヘラオモダ	クロガ	オモダ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
II-3 3.DH-945 7077g 粒	土壌処理	北海道		○1.5	○									+0~-ノヒエ1.5L	50 g/a	○	○	○	○	2	水口散布可能(東北)
		東北		○1.5	○											●	○	○	○		
		北陸		○1.5	○											○	○	○	○		
		関東	早	○1.5	○											○	○	○	○	1	
		東山	普	○1.5	○											○	○	○	○	2	
		近畿	早	●1.5	●											●	●	●	●	1	
		中国	普	○1.5	○											○	○	○	○	1.5	
		四国	早	●1.5	●											●	●	●	●	1	
			普	○1.5	○											○	○	○	○	1.5	
		九州	早	●1.5	●											●	●	●	●	1	
			普	○1.5	○											●	●	○	○		

処理法	地域名	作期	1/2エ	一年広葉マハハイ	ホトハ	クリカ	ミスガヤ	ヘラオモタ	クロガ	オモタ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	堆土	堆土	減水cm/d	使用上の注意
II-3少量 4. DH-945 7077* ¹⁰	北海道	● 1	●										+0~+5 (/t*±1L)	30 ml/a	●	●	●	●	1.5	一発処理型 除草剤として 少量散布して (30ml/a) が可能
	東北																			
	北陸																			
	関東	早																	2	
	東海	普	● 1	●													●	●		
	近畿	早																		
	中国	普																		
	四国	早																		
	九州	早																	1	
	九州	普	● 1	●											●	●	●			

II-3 5. DH-963 乳 「継」

	処理法	地域名	作期	ノビエ	一年 広葉 マハハイ	ホトハ	クリカ	ミズ カ ワリ	ヘラオモ タ	クロガ イ	オモタ タ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	埴 土	埴 土	埴 土	減水 cm/d	使用上の 注意			
II-3 6. NSK-863 7077* ¹⁰	土壌処理	北海道		● 1.5	●	● 始								+0～/t°±1.5L	50 ml/a		●	●	●	1.5				
		東北		● 1.5	●	● 始								+5～/t°±1.5L				●	●					
		北陸		● 1.5	●	● 始								+0～/t°±1.5L					●	●				
		関東 山 東 海	早													+0～+5 (/t°±1L)							2	
			普	● 1	●	● 始												●	●	●		●		
		近畿 中 国	早													+0～/t°±1.5L							1.5	
			普	● 1.5	●	● 始												●	●	●		●		
		四国	早																					
			普	● 1.5	●	● 始													●	●		●	●	
		九州	早																					1
普	● 1.5		●	● 始												●	●	●	●					

II-3 7. RVH-116-1kg 粒 「継」

処理法	地域名	作期	1/2エ	一年広葉マハハイ	ホトハ	クリカ	ミスガヤ	ヘラオモタ	クロガ	オモタ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	堆土	堆土	減水cm/d	使用上の注意
II-3 8. S-28-1kg 粒	北海道	○ 1	○										+0~+5 (/t*±1L)	100 g/a	○	○	○	○	2	(18)
	東北	○ 1	○												●	●	○	○		
	北陸	○ 1	○										+0~+5 (/t*±1L)	100 g/a	●	●	○	○		
	関東	早	● 1	●												●	●	●	1	
	東海	普	● 1	●									+0~+5 (/t*±1L)	100 g/a			●	●	2	
	近畿	早																	1	
	中国	普	● 1	●									+0~+5 (/t*±1L)	100 g/a	●	●	●	●		
	四国	早																		
	九州	早											+0~+5 (/t*±1L)	100 g/a					1.5	
	九州	普	○ 1	○											●	○	○	○		

処理法	地域名	作期	1/2エ	一年広葉マハハイ	ホトハ	クリカ	ミスガヤ	ヘラオモタ	クロガ	オモタ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	堆土	堆土	減水cm/d	使用上の注意
II-3 9. S-889-1kg 粒	北海道	○ 1	○	○ 始					○ 始				+0~+5 (/t*±1L)	100 g/a	● 5	○	○	○	2	(北陸の砂壌土は+0を除く)
	東北	○ 1	○	○ 始					○ 始						●	●	○	○	1.5	
	北陸	○ 1	○	○ 始									+0~+5 (/t*±1L)	100 g/a	●	○	○	○	2	
	関東	早	● 1	●	● 始										○	○	○	○		
	東海	普	○ 1	○	○ 始								+0~+5 (/t*±1L)	100 g/a			●	●		
	近畿	早	● 1	●	● 始										●	●	●	●	1	
	中国	普	○ 1	○	○ 始								+0~+5 (/t*±1L)	100 g/a	○	○	○	○	1.5	
	四国	早	● 1	●	● 始															
	九州	早	○ 1	○	○ 始								+0~+5 (/t*±1L)	100 g/a	●	●	●	●	2	
	九州	普	○ 1	○	○ 始										●	●	○	○		

処理法	地域名	作期	1/2エ	一年広葉マツハイ	ミヌカ	クリカ	ミヌカ	ヘラモ	クロダ	オモダ	ミルシ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂土	壤土	堆土	減深	使用上の注意
II-3 10.SB-529 -1kg 粒	北海道	早	○1	○	○始			○始					+0~+5 (/t ⁺ 1L)	100 g/a	●	●	○	○	2
	東北	早	○1	○	○始			○始											
	北陸	早	○1	○	○始			○始											
	関東	早	●1	●	●始														
	東海	早	●1	●	●始														
	近畿	早	●1	●	●始														
	中国	早	○1	○	○始														
	四国	早	●1	●	●始														
	九州	早	●1	●	●始														
		普	○1	○	○始														
		普	○1	○	○始														

処理法	地域名	作期	1/2エ	一年広葉マツハイ	ミヌカ	クリカ	ミヌカ	ヘラモ	クロダ	オモダ	ミルシ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂土	壤土	堆土	減深	使用上の注意
II-3 11.SL-498E -1kg 粒	北海道	早	○1.5	○	○始			○始			○前	○前	+0~+1.5L (近畿~四国 普通期の砂土は +0~+1L)	100 g/a	●	●	○	○	2
	東北	早	○1.5	○	○始	○始	○始												
	北陸	早	○1.5	○	○始	○始	●始												
	関東	早	○1.5	○	○始	○始					○前								
	東海	早	●1.5	●	●始														
	近畿	早	●1.5	●	●始	●始	●始	●始											
	中国	早	○1.5	○	○始	●始	○始												
	四国	早	●1.5	●	●始	●始	●始												
	九州	早	○1.5	○	○始	○始													
		普	○1.5	○	○始	○始													
		普	○1.5	○	○始	○始													

処理法	地域名	作期	1/2エ	一年広葉マツハイ	ミヌカ	クリカ	ミヌカ	ヘラモ	クロダ	オモダ	ミルシ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂土	壤土	堆土	減深	使用上の注意
II-3 12.TSM-612 7077 ^h	北海道	早	○1	○	○始			○始					+0~+5 (/t ⁺ 1L)	50 ml/a	○	○	○	○	2
	東北	早	○1	○	○始														
	北陸	早	○1	○	○始														
	関東	早	○1	○	○始														
	東海	早	○1	○	○始														
	近畿	早	○1	○	○始														
	中国	早	○1	○	○始														
	四国	早	○1	○	○始														
	九州	早	●1	●	●始														
		普	○1	○	○始														
		普	○1	○	○始														

処理法	地域名	作期	1/2エ	一年広葉マツハイ	ミヌカ	クリカ	ミヌカ	ヘラモ	クロダ	オモダ	ミルシ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂土	壤土	堆土	減深	使用上の注意
II-3少量 13.TSM-612 7077 ^h	北海道	早	●1	●	●始								+0~+5 (/t ⁺ 1L)	30 ml/a	●	●	●	1.5	一発処理型 除草剤として 30ml/aが 可能
	東北	早																	
	北陸	早																	
	関東	早																	
	東海	早	●1	●	●始														
	近畿	早	●1	●	●始														
	中国	早	●1	●	●始														
	四国	早	●1	●	●始														
	九州	早																	
		普	●1	●	●始														
		普	●1	●	●始														

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハイ	ミズ カヤ フリ	ヘラ オモ タカ	クロ ク ワイ	オモ タカ	ミズ カヤ フリ	藻類 剥離	処理時期	使用 量 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 cm/d	使用上の 注意
II-3 少量 15. TSR-121 7077 ^g	北海道	○ 1	○	○ 始						+0~+5 (/t ⁺ ±1L)	30 ml/a	○	○	○	○	2	一発処理型 の 前 で 除 草 剤 と 散 布 が 可 能 水 口 処 理 可 能 (北 海 道・ 東 北・ 関 東・ 東 海)
	東北	○ 1	○	○ 始								●	●	○	○		
	北陸	○ 1	○	○ 始								○	○	○	○		
	関東 東山 東海	早 普	● 1 ○	● ○ 始								●	●	●	●		
	近畿 中園	早 普	● 1 ○	● ○ 始								●	○	○	○		
	四国	早 普	● 1 ○	● ○ 始								●	○	○	○		
	九州	早 普	● 1 ○	● ○ 始								●	○	○	○		
												○	○	○	○		
												○	○	○	○		
												○	○	○	○		
												○	○	○	○		
												○	○	○	○		

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハイ	ミズ カヤ フリ	ヘラ オモ タカ	クロ ク ワイ	オモ タカ	ミズ カヤ フリ	藻類 剥離	処理時期	使用 量 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 cm/d	使用上の 注意
II-3 16. YH-3-1kg 粒 II-6-(1) II-6-(5) を併用	北海道									+0~+5 (/t ⁺ ±1L)	100 g/a	●	●	○	○	2	(27) (42)
	東北	○ 1	○	● 始			● 前		● 前			○	○	○	○		
	北陸	○ 1	○	● 始								○	○	○	○		
	関東 東山 東海	早 普	○ 1 ○	● ○ 始	○ 始		● 前					○	○	○	○		
	近畿 中園	早 普	● 1 ●	● ●			● 前					●	●	●	●		
	四国	早 普	● 1 ●	● ●			● 前					●	●	●	●		
	九州	早 普															

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハイ	ミズ カヤ フリ	ヘラ オモ タカ	クロ ク ワイ	オモ タカ	ミズ カヤ フリ	藻類 剥離	処理時期	使用 量 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 cm/d	使用上の 注意
II-3 17. YH-562 7077 ^g	北海道	○ 1	○	○ 始			○ 始		○ 前	+0~+5 (/t ⁺ ±1L)	50 ml/a	○	○	○	○	2	
	東北	○ 1	○	○ 始			○ 始		○ 前			○	○	○	○		
	北陸	○ 1	○	○ 始					○ 前			○	○	○	○		
	関東 東山 東海	早 普	● 1 ○	● ○ 始					○ 前			○	○	○	○		
	近畿 中園	早 普	● 1 ●	● ●								○	○	○	○		
	四国	早 普	● 1 ●	● ●								○	○	○	○		
	九州	早 普															

II-4 茎葉兼土壌処理

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハイ	ミズ カヤ フリ	ヘラ オモ タカ	クロ ク ワイ	オモ タカ	ミズ カヤ フリ	藻類 剥離	処理時期	使用 量 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 cm/d	使用上の 注意
II-4 1. DEN-112 1kg 粒	北海道	○ 4								/t ⁺ ±2 L ~ 4 L	100 ~ 150 g/a (3.5 L/10 a) 時注 150 g/a	○	○	○	○	2	5 cm 程 の 水 深 で 使 用 す る (47) *東北 の 150g/a 処 理 は 塩 土 減 水 深 1cm/日)
	東北	○ 4										○	○	○	○		
	北陸	○ 4										○	○	○	○		
	関東 東山 東海	早 普	○ 3 ○ 4									○	○	○	○		
	近畿 中園	早 普	○ 3 ○ 4									○	○	○	○		
	四国	早 普	○ 3 ○ 4									○	○	○	○		
	九州	早 普	○ 3 ○ 4									○	○	○	○		
												○	○	○	○		
												○	○	○	○		
												○	○	○	○		
												○	○	○	○		
												○	○	○	○		

処理法	地域名	作期	1/2	一年 広葉 マツハ	ミズ カヤ フリ	ヘラ オモ タカ	クロ グ リ	オモ カ	ヒル シ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
II-4 2. DEH-BAS 乳(WE)	北海道	○6	○	○4	○4	○4					1/2×2L~5L	100 ml/a	○	○	○	○	2	(6)
		○4	○	○3	○4	○5	○4				1/2×3L~4L	散水 水量 7~10 l/a	○	○	○	○		(10)
	東北	○4	○	○*	○5	○5							○	○	○	○		(11)
		早	○4	○	○*	○4	○4				1/2×2L~4L		○	○	○	○		(12)
	関東 東山 東海	普	○5	○	○*	○4	○4				1/2×2L~5L		○	○	○	○		使用直前 に希釈す る。
		早	○5	○	○4	○4	○4						○	○	○	○		
	近畿 中国	普	○5	○	○4	○4	○4				1/2×2.5L ~5L		○	○	○	○	1.5	
		早	○5	○	○4	○4	○4						○	○	○	○		
	四国	普	○5	○	○4	○4	○4						○	○	○	○		*花茎 抽出始
		早	○5	○	○4	○4	○4						○	○	○	○		
	九州	普	○5	○	○*	○5	○5				1/2×2L ~5L		○	○	○	○	1	
		早	○5	○	○*	○5	○5						○	○	○	○	1.5	

II-4 3. HSA-962 乳 「継」

II-4 4. KUH-962-1kg 粒 「継」

処理法	地域名	作期	1/2	一年 広葉 マツハ	ミズ カヤ フリ	ヘラ オモ タカ	クロ グ リ	オモ カ	ヒル シ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
II-4 5. KKS-245 水和	北海道											100 g/a						(6)
		東北										散水 水量 10 l/a						(10)
	北陸											展着 剤用						(11)
		早	●4	●	●*	●4	●4				1/2×3L~4L		●	●	●	●	2	(12)
	関東 東山 東海	普	○4	○	○*	○4	○4						○	○	○	○		使用直前 に希釈す る。
		早	○4	○	○*	○4	○4						○	○	○	○		
	近畿 中国	普	○4	○	○*	○4	○4						○	○	○	○		
		早	○4	○	○*	○4	○4						○	○	○	○		
	四国	普	○4	○	○*	○4	○4						○	○	○	○		
		早	○4	○	○*	○4	○4						○	○	○	○		
	九州	普	○4	○	○*	○4	○4						○	○	○	○		
		早	○4	○	○*	○4	○4				*:花茎抽出始		○	○	○	○		

II-5 適用時期拡大

処理法	地域名	作期	1/2	一年 広葉 マツハ	ミズ カヤ フリ	ヘラ オモ タカ	クロ グ リ	オモ カ	ヒル シ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
II-5 1. DEH-112 乳(WE)	北海道	○5									+25~+40 (1/2×2L~5L)	10 ml/a	○	○	○	○	2	(21)
		○5									+25~+40 (1/2×3L~5L)	散水 水量 7~10 l/a	●	●	○	○		使用直前 に希釈す る。
	東北	○5											○	○	○	○		
		早	○5										○	○	○	○		
	関東 東山 東海	普	○5										○	○	○	○		
		早	○5										○	○	○	○		
	近畿 中国	普	○5								+25~+40 (1/2×2.5L~5L)		●	○	○	○	1	
		早	○5								+25~+40 (1/2×3L~5L)		○	○	○	○	1.5	
	四国	普	○5								+25~+40 (1/2×2.5L~5L)		○	○	○	○	1.5	
		早	○5								+25~+40 (1/2×3L~5L)		●	○	○	○	1	
	九州	普	○5								+25~+40 (1/2×2.5L~5L)		○	○	○	○	2	
		早	○5								+25~+50 (1/2×2L~5L)		○	○	○	○		

II-5 2. DEH-112 乳(EC) 「継」

II-5 3. DEH-112 油 「継」

処理法	地域名	作期	1/2	一年 広葉 マツハ	ミズ カヤ フリ	ヘラ オモ タカ	クロ グ リ	オモ カ	ヒル シ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
II-5 4. DEH-112 -1kg 粒	北海道	○3									+15~+30 (1/2×2L~3L)	100 g/a	○	○	○	○	2	(21)
		東北	○3										●	○	○	○		(47)
	北陸	○3											○	○	○	○		5cm程度の 水深で使 用する
		早	○3										○	○	○	○	1	
	関東 東山 東海	普	○3										○	○	○	○	2	
		早	○3										○	○	○	○		
	近畿 中国	普	○3										○	○	○	○	1.5	
		早	○3										○	○	○	○		
	四国	普	○3										○	○	○	○		
		早	○3										○	○	○	○		
	九州	普	○3										○	○	○	○	2	
		早	○3										○	○	○	○		

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マハイ	ミズ カヤ フリ	ヘラ タガ	クロ グワイ	オモ ダナ	ヒル ムシ	藻類 剥離	処理時期	使用 量 製品	砂 土	塩 土	堆 土	堆 土	減水 cm/d	使用上の 注意
II-5 5. DEH-BAS 乳(ME)	北海道	〇5	〇	〇4	〇4		〇4			0***	+25~+40 (/t* $\times$ 2L~5L)	100 ml/a	〇	〇	〇	2	(6) (10) (1) (2) (3) (4) (5) (6) 使用前 に希釈す る。
	東北	〇5	〇	〇3	〇4	〇5	〇4	〇	〇	00**	+25~+40 (/t* $\times$ 3L~5L)	散布 水量 10 t/a	〇	〇	〇		
	北陸	〇5	〇	〇*	〇5	〇5	〇5	〇	〇				〇	〇	〇		
	関東 東山 東海	早 普	〇5 〇5	〇 〇	〇*	〇5 〇5		〇 〇	〇 〇				〇	〇	〇		
	近畿 中国	早 普	〇4.5 〇5	〇 〇	〇4 〇4	〇4 〇4		〇 〇	〇 〇	増 殖 期 初 期	+25~+40 (/t* $\times$ 2.5L~4.5L)		〇	〇	〇	1	
											+25~+40 (/t* $\times$ 2.5L~5L)		〇	〇	〇	1.5	
	四国	早 普	〇4.5 〇5	〇 〇	〇4 〇4	〇4 〇4		〇 〇	〇 〇	〇 〇	+25~+40 (/t* $\times$ 2.5L~4.5L)		〇	〇	〇	1	
											+25~+40 (/t* $\times$ 2.5L~5L)		〇	〇	〇	1.5	
	九州	早 普	〇5 〇5	〇 〇	〇* 〇*	〇5 〇5		〇 〇	〇 〇	〇 〇	+25~+50 (/t* $\times$ 2L~5L)		〇	〇	〇	2	
													〇	〇	〇		
													〇	〇	〇		
													〇	〇	〇		

* : 花茎抽出始 ** : 1)ス'イ 草丈5cm程度, 2)カ'イ'ウ 発生盛期 *** : ス'イ'イ'イ'イ' 発生始~4L

クログワイ防除は、クログワイに有効な前処理剤との組み合わせで使用することにより、さらに効果が向上する。(東北、関東~九州)

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北、関東~九州)

オモダナ防除は、オモダナに有効な前処理剤との組み合わせで使用することにより、さらに効果が向上する。(東北~東海、九州)

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マハイ	ミズ カヤ フリ	ヘラ タガ	クロ グワイ	オモ ダナ	ヒル ムシ	藻類 剥離	処理時期	使用 量 製品	砂 土	塩 土	堆 土	堆 土	減水 cm/d	使用上の 注意
II-5 6. HOK-7505 -1kg 粒	北海道	〇1.5	〇	〇2	●2		〇2		●発生 期	+15~+25 (/t* $\times$ 1.5L)	100 g/a	〇	〇	〇	〇	2	(1) (8) (21)
	東北	〇2	〇	〇2	〇2		〇2		〇始	+20~+25 (/t* $\times$ 2L +45L以降)		〇1	〇	〇	〇		
	北陸	〇2	〇	〇2	〇2		〇2		〇始			〇1	〇	〇	〇		
	関東 東山 東海	早 普	〇2 〇2	〇 〇	〇2 〇2				〇始	+15~+25 (/t* $\times$ 2L +45L以降)			〇	〇	〇		
	近畿 中国	早 普	〇2 〇2	〇 〇	〇2 〇2	●始			〇始			〇	〇	〇	〇	1	
									●始			〇	〇	〇	〇		
	四国	早 普	〇2 〇2	〇 〇	〇2 〇2	●始			〇始			〇	〇	〇	〇		
									●始			〇	〇	〇	〇		
	九州	早 普											〇	〇	〇		
													〇	〇	〇		
													〇	〇	〇		
													〇	〇	〇		

II-5 7. KUH-962-1kg 粒 「継」

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マハイ	ミズ カヤ フリ	ヘラ タガ	クロ グワイ	オモ ダナ	ヒル ムシ	藻類 剥離	処理時期	使用 量 製品	砂 土	塩 土	堆 土	堆 土	減水 cm/d	使用上の 注意
II-5 8. WKS-245 水和 II-6-(1) を併用	北海道										100 g/a						(6) (10) (1) (2) (3) (4) (5) (6) 使用前 に希釈す る。
	東北																
	北陸																
	関東 東山 東海	早 普	●4 ●4	●* ●*	●4 ●4	●4 ●4				+25~+40 (/t* $\times$ 3L~4L)	散布 水量 10 t/a 着加 用	〇	〇	〇	〇	2	
	近畿 中国	早 普	〇5 〇5	〇 〇	〇* 〇*	〇4 〇4				+25~+40 (/t* $\times$ 2.5L~ 5L)			〇	〇	〇	1	
													〇	〇	〇		
	四国	早 普	〇5 〇5	〇 〇	〇* 〇*	〇4 〇4							〇	〇	〇		
													〇	〇	〇		
	九州	早 普	〇5 〇5	〇 〇	〇* 〇*	〇5 〇5	●** ●**			+25~+45 (/t* $\times$ 3L~5L)		〇	〇	〇	〇	1.5	*:花茎抽出始 **:発生盛期 (草丈10~30cm)
													〇	〇	〇		
													〇	〇	〇		
													〇	〇	〇		
													〇	〇	〇		

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マハイ	ミズ カヤ フリ	ヘラ タガ	クロ グワイ	オモ ダナ	ヒル ムシ	藻類 剥離	処理時期	使用 量 製品	砂 土	塩 土	堆 土	堆 土	減水 cm/d	使用上の 注意
II-5 9. NS-177 粒	北海道	〇2.5	〇	〇2	〇2		〇2		〇始 〇始	+20~+25 (/t* $\times$ 2.5L)	300 g/a	〇	〇	〇	〇	2	(1) (8) (21) (35) (40) (42) (43)
	東北	〇2.5	〇	〇2	〇2	〇2	〇2	〇始	〇始				〇	〇	〇		
	北陸	〇2.5	〇	〇2	〇2	〇2	〇2	〇始	〇始				〇	〇	〇		
	関東 東山 東海	早 普	〇2 〇2	〇 〇	〇2 〇2	〇2 〇2		〇始 〇2	〇始 〇前	+20~+25 (/t* $\times$ 2L)			〇	〇	〇		
	近畿 中国	早 普	〇2 〇2	〇 〇	〇2 〇2	〇2 〇2		〇始 〇始	〇始 〇始				〇	〇	〇	1.5	
													〇	〇	〇		
	四国	早 普	〇2 〇2	〇 〇	〇2 〇2	〇2 〇2		〇始 〇始	〇始 〇始				〇	〇	〇		
													〇	〇	〇		
	九州	早 普											〇	〇	〇		
													〇	〇	〇		
													〇	〇	〇		
													〇	〇	〇		

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する(東北、関東~四国)

オモダナに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する(北陸、近畿~四国)

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ミヤ ガ	クリ ガ	ミヤ ガ	ヘラ タ	クロ ガ	オキ ガ	ヒル シ	葉 剥 離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
II-5 10.NS-177 -1kg 粒	北海道	早 普	●2.5	●2			●2				●始	+20~+25 (/t ⁺ 2.5L)		●	●	●	●	2	(189) (21)
	東北																		
	北陸																		
	関東 東山 東海	早 普	●2	●	●2	●2	●2	●2			●始	+20~+25 (/t ⁺ 2L)			●	●	●		
	近畿 中国	早 普																	
	四国	早 普																	
	九州	早 普																	

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ミヤ ガ	クリ ガ	ミヤ ガ	ヘラ タ	クロ ガ	オキ ガ	ヒル シ	葉 剥 離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
II-5 11.セリトSM -1kg 粒 II-6-(7) を併用	北海道	早 普	○2.5	○	○3	○4	○4				○前	+20~+25 (/t ⁺ 2.5L)	100 g/a	○	○	○	○	2	(189) (21)
	東北		○3.5	○	○3	○4	○3	○4	○矢 じり 2L		○発 生 期	+20~+30 (/t ⁺ 3.5L)		○	○	○	○		
	北陸		○3.5	○	○3	○4	○3	○4	○矢 じり 2L		○前			○	○	○	○		
	関東 東山 東海	早 普	○3.5	○	○3	○4	○3				○前	*:タタ +20~+30 (本葉3葉期)		○	○	○	○		
	近畿 中国	早 普	●3.5	●	●3	●4	●3				○前			●	●	●	●	1	
			○3.5	○●*	○3	○4	○3							●	○	○	○	2	
	四国	早 普	●3.5	●	●3	●4	●3				○前			●	●	●	●	1	
			○3.5	○●*	○3	○4	○3							●	○	○	○	2	
	九州	早 普	○3.5	○	○3		○3				●始			●	○	○	○	2	

II-6-(1) クログワイ対象

II-6-(1) 1.CDS-941 7077^ノ 「実・継」 VII-2 No.3 参照II-6-(1) 2.CDS-941^ノ 7077^ノ 「実・継」 VII-2 No.4 参照II-6-(1) 3.CH-904 7077^ノ 「継」II-6-(1) 4.CH-904^ノ 7077^ノ 「継」

II-6-(1) 5.CH-904D-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No.7 参照

II-6-(1) 6.CH-904K-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No.8 参照

II-6-(1) 7.CH-906^ノ-1kg 粒 「継」

II-6-(1) 8.CH-908-1kg 粒 「継」

II-6-(1) 9.DPX-47ND-1kg 粒 「実・継」 (前年通り) VII-2 No.13 参照

II-6-(1) 10.DPX-84SC^ノ-1kg 粒 「実・継」 (前年通り) VII-2 No.21 参照

II-6-(1) 11.KUH-931-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No.30 参照

II-6-(1) 12.KUH-936B-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No.31 参照

II-6-(1) 13.WK-243D 7077^ノ 「継」II-6-(1) 14.WK-243D^ノ 7077^ノ 「継」II-6-(1) 15.WK-243D^ノ-1kg 粒 「継」

II-6-(1) 16.WK-243DS-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No.40 参照

II-6-(1) 17.WKS-245 水和 「実・継」 II-5 No.8 参照

II-6-(1) 18.VH-3-1kg 粒 「実・継」 II-3 No.16 参照

Ⅱ-6-(2) 11.KUH-883-1kg 粒 「実・継」 VII-2の使用基準に併用

II-6-(2) 19.NC-311T-1kg 粒 「実・継」 VII-2の使用基準に併用

II-6-(2) 20. NC-329-1kg 粒 「繼」

処理方法	地域名	作期	一年 広葉 マツノイ	ササノイ	クリノイ	ミズノイ	アサマツノイ	カサノイ	オサノイ	ヒメノイ	種類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壤 土	埴 土	埴 土	減深 cm/d	使用上の 注意
Ⅶ-1 TDS-888	北海道										発生期	+0～ +1.5L (関東～東海 の+0は、早期 土を除く)	50 ml/a					(3 3 3 3 3 1 4 2)
Ⅱ-6-(2) を併用	東北										発生期							
	北陸		○1.5	○	○2	○始	○2				○始			○	○	○	2	
	関東 東山 南海	早 普	○1.5	○	○2	○2	○2				発生期	○前	○	○1	○1	○	1.5	
	近 畿 中 国	早 普	○1.5	○	○始	○始	○始				○始	○前	○	○	○	○	2	水口処理 可能 (北陸～九州)
		早 普	○1.5	○	○2	○始	○2				○始	●前	○	○	○	○	1	
	四国	早 普	○1.5	○	○2	○始	○始				○発生期		○		○	○	1	田植同時 不可 (関東～九州)
		早 普	○1.5	○	○2	○始	○2				○始	●前	○	○	○	○	2	
	九州	早 普	○1.5	○	○2	○2	○2				○発生期		○	○	○	○	1.5	
			○1.5	○	○2	○2	○2				○前	○前	○	○	○	○		

No.	品名	製造方法	地域名	作期	検査項目										処理時期	使用・製品	砂壌土 1.5	礫土	堆土	堆土	水 cm/d	使用上の 注意
					1/2エ	一年 広葉 樹Aイ	サカ イ	クリカ イ	ミ ナ ツ キ 7リ	ア ミ タ タ タ イ	クロ ダ イ	ミ ナ ツ キ 3	ミ ナ ツ キ シ	藻類 腐 敗								
Ⅶ-2 NC-311SCD -1kg 粒	を併用	基準養土壌処理	北海道	〇2.5	〇	〇2	〇2	〇2	〇2	〇	〇前	〇再生 前	〇*	15~120 (1/2 x2.5L)	100 g/a	〇	〇	〇	〇	2	(28) (34) (40)	
東北			〇2.5	〇	〇2	〇2	〇2	〇2	〇	〇発生 期	〇*	〇**	+5~ 1/2 x2.5L		〇	〇	〇					
北陸			〇2.5	〇	〇2	〇2	〇2	〇2	〇	〇	〇前	〇始			〇	〇	〇					
関東 東北			早	〇2.5	〇	〇2	〇2	〇2	〇			〇再生 前	〇*	エノノササキカ*サ 2L **ササキイ 発根・草丈3cm		〇	〇	〇				
東 南海			普	〇2.5	〇	〇2	〇2	〇2	〇			〇再生 前	〇*			〇	〇	〇				
近 畿			早	〇2.5	〇	〇2	〇2	〇2	〇			〇再生 前	〇始			〇	〇	〇	1.5			
中 国			早	〇2.5	〇	〇2	〇2	〇2	〇	〇発生 期		〇始				〇	〇	〇				
四 国			早	〇2.5	〇	〇2	〇2	〇2	〇	〇発生 期		〇再生 前	〇始			〇	〇	〇				
九 州			早	〇2.5	〇	〇2	〇2	〇2	〇	〇発生 期		〇始				〇	〇	〇				
			普	〇2.5	〇	〇2	〇2	〇2	〇	〇発生 期		〇始				〇	〇	〇				

	処理方法	地域名	作期	1年 正産マハヒ	サカシ	ワリガク	ミヅ ワリ	ヘラモ タノ	ワロガ ワ	オホサ ダ	ヒルシ ロ	藻類 刺藪			処理時期	使用重 量・製品	砂土 1.5	植土	植土	減深 cm/d	使用上の 注意	
VII-2 NC-311T	北海道	〇2.5	〇	〇2	〇2	〇2	〇2		〇始	〇始	〇	〇前	再生 前	〇*	+5~+20 (7.1±2.5L)	100 g/a	〇	〇	〇	2	(26) (34) (38) (40) (41) (42)	
II-(6)-(6) を併用	東北	〇2.5	〇	〇2	〇2	〇2	〇2	〇2	〇始	〇始	〇	〇	〇生 前期	〇**	+5 7.1±2.5L		〇	〇	〇			
	北陸	〇2.5	〇	〇2	〇2	〇2	〇2	〇2			〇		〇	〇始			〇	〇	〇			
	関東 東山 南海	早 普	〇2.5 〇2.5	〇 〇	〇2 〇2	〇2 〇2	〇2 〇2						〇前	再生 前	**Jノサヤサガウ 2 L **Iノスアイ 2 L ※雄、雌3cm の幼体から			〇	〇			
	近畿 中国	早 普	〇2.5 〇2.5	〇 〇	〇2 〇2	〇2 〇2	〇2 〇2					〇	〇生 前期	〇始				〇	〇	1		
	四国	早 普	〇2.5 〇2.5	〇 〇	〇2 〇2	〇2 〇2	〇2 〇2					〇	〇生 前期	〇前	〇	北陸の砂塩土 は+10~7.1 2.5L		〇	〇	〇	1.5	
		早 普	〇2.5 〇2.5	〇 〇	〇2 〇2	〇2 〇2	〇2 〇2					〇	〇生 前期	〇前	〇			〇	〇	〇	1.5	
	九州	早 普	〇2.5 〇2.5	〇 〇	〇2 〇2	〇2 〇2	〇2 〇2					〇	〇生 前期	〇始	〇	コサガウ 〇始		〇	〇	〇		
																		〇	〇	〇		

		処理方法	地域名	作期	1年 1月1日 1月1日	2月1日	3月1日	4月1日	5月1日	6月1日	7月1日	8月1日	9月1日	10月1日	11月1日	12月1日	処理時期	使用 製品	砂 土	堆 土	堆 土	堆 土	水 量 cm/d	使用上の 注意	
Ⅶ	2	kg 粒 を 供用	北海道 東北 北陸 関東 東山 南海 近 中国 四国 九州	早	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5~12.5L (7.2.5L)	100 g/a	○	○	○	○	2	(3 4) (6 6) (4 0) (4 1)	
NC	329			早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5~12.5L (7.2.5L)	100 g/a	○	○	○	○	2	(3 4) (6 6) (4 0) (4 1)
Ⅱ	6			早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5~12.5L (7.2.5L)	100 g/a	○	○	○	○	2	(3 4) (6 6) (4 0) (4 1)
Ⅱ	6			早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5~12.5L (7.2.5L)	100 g/a	○	○	○	○	2	(3 4) (6 6) (4 0) (4 1)
Ⅱ	6			早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5~12.5L (7.2.5L)	100 g/a	○	○	○	○	2	(3 4) (6 6) (4 0) (4 1)
Ⅱ	6			早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5~12.5L (7.2.5L)	100 g/a	○	○	○	○	2	(3 4) (6 6) (4 0) (4 1)
Ⅱ	6			早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5~12.5L (7.2.5L)	100 g/a	○	○	○	○	2	(3 4) (6 6) (4 0) (4 1)
Ⅱ	6			早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5~12.5L (7.2.5L)	100 g/a	○	○	○	○	2	(3 4) (6 6) (4 0) (4 1)
Ⅱ	6			早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5~12.5L (7.2.5L)	100 g/a	○	○	○	○	2	(3 4) (6 6) (4 0) (4 1)
Ⅱ	6			早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5~12.5L (7.2.5L)	100 g/a	○	○	○	○	2	(3 4) (6 6) (4 0) (4 1)
Ⅱ	6			早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5~12.5L (7.2.5L)	100 g/a	○	○	○	○	2	(3 4) (6 6) (4 0) (4 1)
Ⅱ	6			早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5~12.5L (7.2.5L)	100 g/a	○	○	○	○	2	(3 4) (6 6) (4 0) (4 1)

II-6-(8) 13. NSX-855 7077*ル 「実・継」(前年通り) VII-1の使用基準に併用

[illegible]

II-6-(8) 14. NSK-8550 7077**N* 「継」

II-6-(8) 15. TDS-8887077^ル 「実・継」 VII-1の使用基準に併用

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ ^イ	ホクイ	クワカ	ミズ カ ^ヤ フリ	ヘラオモ タ ^カ	クロク ワ ^カ	オモク カ	ヒルムシ ロ	藻類 表層 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意	
VII-1 TDS-888 7077 ^ル II-6-(8) II-6-(9) を併用	土壌 処理	北海道	早	○1.5	○***	○2	○2	○2	○	○	○	○	セリ	+0 ~ /t ¹ 1.5 L	50 ml/a	○	○	○	○	2	(3) (28) (36)	
		東北	早	○1.5	○●	○2	○2	○2	○	○前	○前	○前	○前	○再 生 前	※1 ^ノ ノサスサ ^ノ サ 2L ※2 ^ノ ノサ ^ノ イ 始 始 ***サ ^ノ サ ^ノ 子葉期	○	○	○	○	○	(38) (40) (42)	
		北陸	早											始								
		関東 東山 東海	早 普																			
		近畿 中国	早 普																			
		四国	早 普																			
		九州	早 普																			

水口処理 可能 (北海道、 東北) 田圃同時 敷布可能 (東北)
--

サ^ノカに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北)

II-6-(9) その他

II-6-(9) 1. NC-329-1kg 粒 「実・継」 II-6-(6) No.9 参照

II-6-(9) 2. NC-355 顆粒水和 「継」

II-6-(9) 3. NCH-903DEH1-1kg 粒 「継」

II-6-(9) 4. TDS-888 7077^ル 「実・継」 II-6-(8) No.13 参照

II-6-(9) 5. セリネトSM-1kg 粒 「継」

III-1 落水直播

III-1 1. AGH-925-1kg 粒 「継」

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ ^イ	ホクイ	クワカ	ミズ カ ^ヤ フリ	ヘラオモ タ ^カ	クロク ワ ^カ	オモク カ	ヒルムシ ロ	藻類 表層 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
III-1 2. DEH-112 -1kg 粒	北海道	早	○4										/t ¹ 2 L ~ 4 L	100 ~150 g/a	○	○	○	○	2	(47) 5cm程度 の水深で 使用する
	東北	早	○4											※(3.5 L以上の 時は 150 g/a)	○	○	○	○	1.5	
	北陸	早	○4												○	○	○	○	1	
	関東 東山 東海	早 普	○4												○	○	○	○	2	
	近畿 中国	早 普	○4													○	○	○	1	
	四国	早 普	○4													○	○	○		
	九州	早 普	○4												○	○	○	○	2	

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ ^イ	ホクイ	クワカ	ミズ カ ^ヤ フリ	ヘラオモ タ ^カ	クロク ワ ^カ	オモク カ	ヒルムシ ロ	藻類 表層 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
III-1 3. DEH-BAS 乳(ME)	北海道	早	●5	●	●4	●4							/t ¹ 3 ~ 5 L	100 ml/a			●	●	1.5	(6) (10) (11) (12) (21)
	東北	早	●5	●	●4		●4							※(10 g/a) 7~10 1/a)	●	●	●			使用直前に 希釈する。
	北陸	早	●5	●	●4											●	●	1		
	関東 東山 東海	早 普	●5	●	●*								*花茎抽出始				●	●		
	近畿 中国	早 普	○5	○	○4											○	○	○		
	四国	早 普	○5	○	○4											○	○	○		
	九州	早 普	○5	○	○4	○5	○5								○	○	○	○	2	

処理法	地域名	作期	1/2E	一年広葉マツハイ	オサハ	ウリカワ	ミズヤフリ	ヘラオモタカ	クロクワイ	オモクサ	ヒルムシロ	藻類腐剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴壌土	減水深cm/d	使用上の注意
Ⅲ-1 4. KUH-883D -1kg 粒	北海道													100 g/a					
	東北																	1	
	北陸		○2.5	○	○2									1/2L~1/2L			○	○	2
	関東東海	早普	○2	○	○2	○2	○2					発生期		1/2L~1/2L			○	○	
	近畿中国	早普	○2.5	○	○2	○2	○2							1/2L~1/2L			○	○	1
	四国	早普	○2.5	○	○2	○2	○2										○	○	
	九州	早普	●2.5	●	●2	●2	●2										●	●	

Ⅲ-1 5. TH-913HSK 70777ル 「継」

	処理法	地域名	作期	1/2E	一年 広葉 マツハイ	オサハ	ウリカワ	ミズ ヤフリ	ヘラオモ タカ	クロク ワイ	オモク サ	ヒルム シロ	藻類腐 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	埴 壌土	埴 土	水深 cm/d	使用上の 注意	
Ⅲ-1 6. TH-913HSK -1kg 粒	土壌処理	北海道		○2	○	○2	○2		○2				○発生期	○前	再生前／始	+5 ノビエ2L	100 g/a		○	○	○2	砂壌土では+5処理をがす+苗生する(関東~東海)	
		東北		○2	○	○2	○2	○2											○	○	○1.5		
		北陸		○2	○	○2	○2	○2											○	○	○2		
		関東東海	早普												○前				○	○	○		
		近畿中国	早普		○2	○	○2	○2	○2										○	○	○		
																				○	○		
		四国	早普		○2	○	○2	○2	○2										○	○	○		
																				○	○		
		九州	早普		○2	○	○2	○2	○2											○	○		○
																					○		○

Ⅲ-2 乾田直播

	処理法	地域名	作期	1/2 E	一年広葉マツハイ	オサハ	ウリカワ	ミズヤフリ	ヘラオモタカ	クロクワイ	オモクサ	ヒルムシロ	藻類腐剥離		処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴壌土	減水深cm/d	使用上の注意	
Ⅲ-2 1. DEH-112 乳(EW)	茎葉処理	北海道														10 ml/a (乾田)					使用直前に希釈する。	
		東北		○5												1/2 L ~ 5 L (入水前)			○	○		
		北陸		○5															○	○		
		関東東海	早普																			
		近畿中国	早普	○5												1/2 L ~ 5 L (入水前)			○	○		○
		四国	早普	○5															○	○		○
		九州	早普	○4												1/2 L ~ 4 L (入水前)				○		

	処理法	地域名	作期	1/2E	一年広葉	オサハ	ウリカワ	ミズヤフリ	ヘラオモダカ	クロクワイ	オモクサ	ヒルムシロ	藻類腐剥離		処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
Ⅲ-2 2. DEH・BAS乳(ME)	基葉処理	北海道														100 ml/a (乾田)					使用直前に希釈する。
		東北		○5	○											1/2L~5L (入水前)			○	○	
		北陸		○4.5	○											1/2L~4.5L (入水前)			○	○	
		関東東海	早普																		
		近畿中国	早普	○5	○			●2								1/2L~5L (入水前)			○	○	
		四国	早普	○5	○			●2											○	○	
		九州	早普	○4	○											1/2L~4L (入水前)				○	

	処理法	地域名	作 期	一年 広葉 マツバ	ミ カ ヤ フ	ヘ ア モ ナ	ク ロ カ フ	オ シ ナ	ヒ ム シ ロ	漆 剥 離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
Ⅲ-2 3. DPX-84TD -1kg 粒		北海道																
		東北																
		北陸	●	●							入水後3日～ /t 12.5L				●	●	1.5	
		関東・東山・東海	早 普															
		近畿・中国	早 普	●	●						入水後5日～ /t 12.5L				●	●	1.5	
		四国	早 普	●	●									●	●	●		
		九州	早 普															

Ⅳ 畦畔雑草

Ⅳ 1. AK-01 液 「継」

	処理法	地 域 名	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
Ⅳ 2. KUH-913 液	茎葉処理	北海道	○ 全草種 (草種により効果の変 動がある)	草刈り後10～20日 (草丈10cm以下)～ 草刈り後10～20日 の雑草再生期 (6～7月)	30～50ml/a(10ℓ/a)*	全土壌	(24) イネ科主体の群落で使 用する(東北、北陸) *約45日の間隔で40:40 ml/aの体系で抑草期間 を延長(東北、関東～ 四国)
		東 北	○				
		北 陸	○		30～50ml/a(10ℓ/a)		
		関東・東山・東海	○	雑草生育初期 (草丈10cm程度)	30～50ml/a(10ℓ/a)*		
		近畿・中国	○	及び草刈り後10～20日 の再生期			
		四 国	○				
		九 州	●		60～80ml/a(10ℓ/a)		

	処理法	地 域 名	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
Ⅳ 3. NH-501 7077液	茎葉処理	北海道	● 全草種(スナを除く)	雑草生育期 (草丈30cm以下)	40～60ml/a(水量:10ℓ)	全土壌	(23) (24)
		東 北	●				
		北 陸	●				
		関東・東山・東海	●				
		近畿・中国	●				
		四 国	●				
		九 州	●				

	処理法	地 域 名	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
Ⅳ 4. PR-084 液	茎葉処理	北海道	● 全草種(スナを除く)	雑草生育期 (草丈30cm以下)	50～75ml/a (一年生雑草は25～50ml/a)	全土壌	(23) (24)
		東 北	●				
		北 陸	●				
		関東・東山・東海	○				
		近畿・中国	●				
		四 国	●				
		九 州	●				

	処理法	地 域 名	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
Ⅳ 5. ULV-04 液	茎葉処理	北海道	全草種(スナを除く)	雑草生育期 (草丈30cm以下)	300～500ml/a	全土壌	(23) (24)
		東 北					
		北 陸					
		関東・東山・東海	●				
		近畿・中国					
		四 国					
		九 州					

Ⅳ 6. ULV-05 液 「継」

	処理法	地 域 名	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
IV 7. WOC-01	液	北海道	全草種(※ナを除く)	雑草生育期 (草丈30cm以下)	一年生雑草: 25~50ml/a 多年生雑草: 50~100ml/a (希釈水量10ℓ/a, 2.5ℓ/a ただし2.5ℓ散布は専用ノズル 使用)	全土壌	{23} {24}
	液	東 北					
	液	北 陸					
	液	関東・東山・東海					
	液	近畿・中国					
	液	四 国					
	液	九 州					

	処理法	地 域 名	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
IV 8. WOC-02	液	北海道	全草種(※ナを除く)	雑草生育期 (草丈30cm以下)	100~200ml/a (10ℓ/a)	全土壌	{23} {24}
	液	東 北					
	液	北 陸					
	液	関東・東山・東海					
	液	近畿・中国					
	液	四 国					
	液	九 州					

平成7年度 委託試験

	処理法	地 域 名	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
IV 1. MON-8794	液	北海道	全草種	雑草生育期(草丈20~ 30cm, 秋散布も含む: 北海道)	30~50ml/a 少量散布:希釈水量2.5ℓ/a, 5ℓ/aでも有効. 専用の散布 機を用いる	全土壌	{23} {24}
	液	東 北					
	液	北 陸					
	液	関東・東山・東海					
	液	近畿・中国					
	液	四 国					
	液	九 州					

	処理法	地 域 名	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
IV 2. DBN(6.7%)	粒	北海道	全草種(マメ科雑草を 除く)	秋冬期処理(積雪前)	500~600g/a	全土壌	{23}
	粒	東 北					
	粒	北 陸					
	粒	関東・東山・東海					
	粒	近畿・中国					
	粒	四 国					
	粒	九 州					

V 1. AK-01 液 「継」

V 2. MON-6063 液 「継」

V 3. MON-93A 液 「継」

	処理法	地 域 名	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
V 4. WOC-01	液	北海道	一年生雑草	雑草生育期 (耕起前20~10日前)	25~50ml/a(10ℓ/a)	全土壌	{25}
	液	東 北					
	液	北 陸					
	液	関東・東山・東海					
	液	近畿・中国					
	液	四 国					
	液	九 州					

	処理法	地 域 名		対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
V 5. WOC-02 液	茎葉処理	北海道		一年生雑草	雑草生育期 (耕起前20～10日)	100～200ml/a (10ℓ /a)	全土壌	(2 5)
		東 北	●					
		北 陸	●					
		関東・東山・東海	●					
		近畿・中国						
		四 国						
		九 州	●					

	処理法	地 域 名		対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
不耕起移植 6. WW-851 液	茎葉処理	北海道		一年生雑草	湛水前 1 5 ～ 5 日	50ml/a (1 0 ℓ /a)	全土壌	(2 5)
		東 北	○		湛水前 1 5 ～ 7 日			
		北 陸						
		関東・東山・東海	○					
		近畿・中国						
		四 国						
		九 州						

	処理法	地 域 名		対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
不耕起移植 7. SC-224 液	茎葉処理	北海道		一年生雑草	湛水前 1 5 ～ 5 日	40ml/a (1 0 ℓ /a)	全土壌	(2 5)
		東 北	○		湛水前 1 5 ～ 7 日			
		北 陸			湛水前 4 ～ 3 日			
		関東・東山・東海	○					
		近畿・中国	○					
		四 国	○					
		九 州	○					

	処理法	地 域 名		対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
不耕起移植 8. WOC-02 液	茎葉処理	北海道		一年生雑草	雑草生育期 (湛水前15～7日)	100ml/a(10ℓ /a)	全土壌	(2 5)
		東 北	●					
		北 陸						
		関東・東山・東海	●					
		近畿・中国						
		四 国						
		九 州						

	処理法	地 域 名		対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
不耕起直播 9. SC-224 液	茎葉処理	北海道		一年生雑草	雑草生育期 播種前6日～播種後7日 (出芽前)	4 0 ml/a (1 0 ℓ /a)	全土壌	(2 5)
		東 北						
		北 陸						
		関東・東山・東海	○					
		近畿・中国	○					
		四 国	○					
		九 州	○					

	処理法	地 域 名		対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
不耕起直播 10. YF-65 液	茎葉処理	北海道		一年生広葉雑草	雑草生育期 播種前7日～播種後7日 (出芽前)	80～100 ml/a (10ℓ /a)	全土壌	(2 5)
		東 北	●					
		北 陸						
		関東・東山・東海	●	100 ml/a (10ℓ /a)				
		近畿・中国	●	80～100 ml/a (10ℓ /a)				
		四 国	●					
		九 州	●					

	処理法	地域名	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
不耕起直播 11. WOC-02 液	薬液処理	北海道				全土壌	(25)
		東北					
		北陸					
		関東・東山・東海	● 一年生広葉雑草	雑草生育期 播種前7日～播種後7日 (出芽前)	200ml/a (10ℓ/a)		
		近畿・中国	● 一年生雑草		100～200ml/a (10ℓ/a)		
		四国	●				
		九州	●				

VI 休耕田

VI 1. WOC-01 液 「継」

Ⅶ-1 初期一発処理剤

	処理法	地域名	作期	1/2エ	一年 広葉 マツハ	オシロイ	ウリカワ	ミズ ヤブ	ヘラオモ タガ	クロタ イ	オモタ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意		
VII-1 1. DND-950 7077g	土壌処理	北海道		● 2	●	● 2	● 始		● 始			● 発生期	●	● 再生前 / 始	+3～/t*12L	50 ml/a			● ●	● 2				
		東北		● 2	●	● 2	● 始	● 2	● 始			● 期		● 前		+0～/t*12L			● ●	● 1				
		北陸																						
		関東 東山 東海	早 普																					
		近畿 中国	早 普																					
		四国	早 普																					
		九州	早 普																					

	処理法	地域名	作期	1/2エ	一年 広葉 マツハ	オシロイ	ウリカワ	ミズ ヤブ	ヘラオモ タガ	クロタ イ	オモタ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
Ⅶ-1 2. DND-950D 7077g	土壌処理	北海道														50 ml/a						(28)
		東北																				(34)
		北陸	● 2	●	● 2	● 始	● 2						● 再 生前 始		+0～/t*12L			●	● 1			
		関東 東山 東海	早 普	● 2	●	● 2	● 2	● 2				● 発 生期	● 始				●	●	●	● 2		
		近畿 中国	早 普	● 2	●	● 2	● 2	● 2				● 発 生期	● 再 生前 始		+3～/t*12L		●	●	●	●		
		四国	早 普	● 2	●	● 2	● 2	● 2				● 発 生期	● 再 生前 始				●	●	●	●		
		九州	早 普	● 2	●	● 2	● 2	● 2				● 発 生期	● 始				●	●	●	● 1		

	処理法	地域名	作期	1/2エ	一年 広葉 マツハ	オシロイ	ウリカワ	ミズ ヤブ	ヘラオモ タガ	クロタ イ	オモタ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
Ⅶ-1 3. HJ-941 1kg 粒	土壌処理	北海道	○ 1.5	○	○ 2	○ 2		○ 2				○ 発 生期	○ 前	○ 再 生前 始	+3～/t*1.5L	100 g/a		○	○	○ 2		(3)
		東北	● 1.5	●	● 始	● 始	● 始	● 2				● 期	● 前	● 始				●	●	● 1.5		(26)
		北陸	● 2	●	● 2	● 始	● 始							● 始	+3～/t*12L				●	● 1		(34)
		関東 東山 東海	早 普	● 1.5	●	● 始	● 始	● 始						● 再 生前 始	+3～/t*1.5L		●	●	●	● 2		(28)
		近畿 中国	早 普	● 2	●	● 2	● 2	● 2				● 発 生期	○ 前	○ 始	+3～/t*12L		○	○	○	○ 1		
		四国	早 普	● 2	○	● 2	● 2	● 2				○ 期	○ 前	○ 前			○	○	○	○		
		九州	早 普	● 2	○	● 2	● 2	● 2				● 発 生期	○ 期	○ 始			●	●	●	○		

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年広葉マツハイ	ミズカヤフリ	クリカワ	ミズカヤフリ	ヘラオモタカ	クロカワ	オモタカ	ヒルシロ	藻類剥離	セリ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
VII-1 8. NBA-076a -1kg 粒	土壌処理	北海道		● 2	●	● 2	● 始					● 発生期	● 前	● 再生前	+0~1/t*12L	100 g/a			● ●	● 2		
		東北		● 2	●	● 2		● 2	● 2			● 発生期		● 再生前					● ●	1.5		
		北陸												● 再生前								
		関東山	早																			
		東山	普																			
		南海																				
		近畿中	早																			
		国	普																			
		四国	早																			
		九州	早																			

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年広葉マツハイ	ミズカヤフリ	クリカワ	ミズカヤフリ	ヘラオモタカ	クロカワ	オモタカ	ヒルシロ	藻類剥離	セリ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
VII-1 9. NBA-076b -1kg 粒	土壌処理	北海道													+0~1/t*12L	100 g/a						
		東北																				
		北陸		● 2	●	● 2	● 2	● 2						● 再生前					● ●	● 2		
		関東山	早										● 発生期	● 始								
		東山	普	● 2	●	● 2	● 2	● 2					● 発生期	● 再生前					● ●			
		南海																				
		近畿中	早										● 発生期	● 再生前							1	
		国	普	● 2	●	● 2	● 2	● 2					● 発生期	● 再生前					● ●			
		四国	早	● 2	●	● 2	● 2	● 2					● 発生期	● 再生前					● ●			
		九州	早	● 2	●	● 2	● 2	● 2					● 発生期	● 再生前					● ●		1.5	

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年広葉マツハイ	ミズカヤフリ	クリカワ	ミズカヤフリ	ヘラオモタカ	クロカワ	オモタカ	ヒルシロ	藻類剥離	セリ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
VII-1 10. NC-311KP ◎顆粒水和	土壌処理	北海道		○ 1.5	○	○ 始			○ 2			○ 発生期	○ 前	○ 再生前	+0~1/t*1.5L	6.6 g/a (50ml/a)	○ 5	○	○	○	2	(5)
		東北		● 1.5	●	● 始	● 始	● 始				● 発生期	● 前	● 再生前			○	●	●	●	1.5	(27)
		北陸		○ 1.5	○	○ 始	○ 始	○ 始				○ 発生期	○ 前	○ 始			○	○	○	○	2	(34)
		関東山	早	○ 1.5	○	○ 始	○ 始	○ 始				○ 発生期	○ 前	○ 再生前			○	○	○	○	1	田植同時 処理可能 (東北~四 国)
		東山	普	○ 1.5	○	○ 始	○ 始	○ 始				○ 発生期	○ 前	○ 再生前			○	○	○	○	2	
		南海	早	● 1.5	●	● 始	● 始	● 始				● 発生期	● 前	● 始				●	●	●	1	
		近畿中	普	○ 1.5	○	○ 始	○ 始	○ 始						○			○	○	○	○	2	
		四国	早	● 1.5	●	● 始	● 始	● 始				● 発生期	● 前	● 再生前				●	●	●	1	
		九州	早	○ 1.5	○	○ 始	○ 始	○ 始						○ 前			○	○	○	○	2	
			普	● 1.5	●	● 始	● 始	● 2				○ 期	○ 前	○ 始			○	○	○	○	1	
				○ 1.5	○	○ 始	○ 始	○ 2				○ 期	○ 前				○	○	○	○		

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年広葉マツハイ	ミズカヤフリ	クリカワ	ミズカヤフリ	ヘラオモタカ	クロカワ	オモタカ	ヒルシロ	藻類剥離	セリ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
VII-1 11. NSK-855 7077g 粒	土壌処理	北海道		○ 2	○	○ 2	○ 2		○ 2			○ 発生期	○ 前	○ 再生前	+0~1/t*12L	50 ml/a	○	○	○	○	2	(28)
		東北		○ 2	○	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2	○ 始	○ 始	○ 期	○ 前	○ 前			○	○	○	○		(36)
		北陸												● 始								(38)
		関東山	早																			(40)
		東山	普																			(42)
		南海																				
		近畿中	早																			
		国	普																			
		四国	早																			
		九州	早																			

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	年 広葉 マハ・イ	ネグロ	クリ	ミズ カ・ヤ フリ	ヘラ オモ タ・カ	クロ ク・ ワイ	オモ タ・ カ	ヒル シ ロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-1 16. TH-913ADS ○-1kg 粒	土壌処理	北海道		○1.5	○	○	○	○	○			○	○	○	+3~+1.5L	100 g/a	○	○	○	○	2	(28) (34)
		東北		○1.5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○					
		北陸		○1.5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○					
		関東 東山 東海	早	○1.5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○					
			普	○1.5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○					
		近畿 中園	早	○1.5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○					
			普	○1.5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○					
		四国	早	○1.5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○					
			普	○1.5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○					
		九州	早	○1.5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○					
			普	○1.5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○					

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハ・イ	ネグロ	クリ	ミズ カ・ヤ フリ	ヘラ オモ タ・カ	クロ ク・ ワイ	オモ タ・ カ	ヒル シ ロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意			
VII-1 18. TH-951 7077° 粒	土壌管理	北海道		● 2	●	● 2	● 2					● 発 生期	● 前 期	● 再 生期 ～始	+0～/ト・シ	50 ml/a			● ●	2					
		東北		● 2	●	● 2	● 2	● 2	● 2	● 2			● 発 生期							● ●	1				
		北陸		● 2	●	● 2	● 2	● 2	● 2												● ●				
		関東 東山 東海	早	● 2	●	● 2	● 2	● 2	● 2				● 発 生期	● 前 期			● 再 生期 ～始			● ●	● ●	2			
			普	● 2	●	● 2	● 2	● 2	● 2				● 発 生期	● 前 期			● 再 生期 ～始			● ●	● ●				
		近 畿 中 園	早										● 発 生期	● 前 期			● 再 生期 ～始				● ●	● ●		1	
			普	● 2	●	● 2	● 2	● 2	● 2				● 発 生期	● 前 期			● 再 生期 ～始			● ●	● ●				
		四国	早										● 発 生期	● 前 期			● 再 生期 ～始				● ●	● ●			
			普	● 2	●	● 2	● 2	● 2	● 2				● 発 生期	● 前 期			● 再 生期 ～始				● ●	● ●			
		九州	早										● 発 生期	● 前 期			● 再 生期 ～始				● ●	● ●			
			普	● 2	●	● 2	● 2	● 2	● 2				● 発 生期	● 前 期			● 再 生期 ～始			● ●	● ●	● ●	2		

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	年 広葉 マハ・イ	ネグロ	クリ	ミズ カ・ヤ フリ	ヘラ オモ タ・カ	クロ ク・ ワイ	オモ タ・ カ	ヒル シ ロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意			
VII-1 19. YH-570 7077° 粒	土壌処理	北海道											生期		+0~+1.5L	50 ml/a									
		東北																							
		北陸																							
		関東 東山 東海	早 普	○1.5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	発生期 ○前									○	○	1.5
		近畿 中園	早 普	●1.5	●	●	●	●	●	●	●	●	●	発生期 ●前									●	●	1
		四国	早 普	●1.5	●	●	●	●	●	●	●	●	●	発生期 ●前									●	●	
		九州	早 普	●1.5	●	●	●	●	●	●	●	●	●	発生期 ●前									●	●	

VII-2 初・中期一発処理剤

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハ・イ	ネグロ	クリ	ミズ カ・ヤ フリ	ヘラ オモ タ・カ	クロ ク・ ワイ	オモ タ・ カ	ヒル シ ロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	埴 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意	
VII-2 1. AC-014E -1kg 粒	基準養生土壌処理	北海道	早	○2.5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	+5~+1.2.5L	100 g/a	●	○	○	○	2	(28) (34)	
		東北	早	○2	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○		+5~+1.2L	●	○	○	○		2
		北陸	早	○2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○		2
		関東 東山 東海	早	●2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				○	○	○		1
		近畿 中園	早	○2.5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○		2
		四国	早	○2.5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○		
		九州	早	○2.5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○		
			普	○2.5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○		
																			○	○	○		
																			○	○	○		
																			○	○	○		
																			○	○	○		

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ササ グサ	ミズ グサ	ヘラ グサ	クロ グサ	オモ グサ	ヒル グサ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 2. AGH-925 1kg 粒 薬液土壌処理	北海道	早	●3	●	●2	●2	●2		●	●前	●再生 前	+5~1/t ¹ 3L	100 g/a		●	●	2	(34) (41)
	東北	早	○3	○	○2	○2	○2		●	●前	○再生 前	+5~1/t ¹ 3L		●	○	○	1.5	
	北陸	早	○3	○	○2	○2	○2			○前	○始			○	○	○	2	
	関東 東山 東海	早	●3	●	●2	●2	●2		●	●前	●再生 前	+5~1/t ¹ 3L (9.1L×2.5L)		●	●	●	1	
		普	○3	○	○2	○2	○2		○	○前	○再生 前			●	○	○	2	
	近畿 中国	早	○3	○	○2	○2	○2		○	○前	○再生 前	+5~1/t ¹ 3L		○	○	○	1	
		普	○3	○	○2	○2	○2		○	○前	○始			○	○	○	2	
	四国	早	○3	○	○2	○2	○2		○	○前	○再生 前			○	○	○	1	
		普	○3	○	○2	○2	○2		○	○前	○再生 前			○	○	○	2	
	九州	早	○3	○	○2	○2	○2		○	○前	○再生 前			○	○	○		
		普	○3	○	○2	○2	○2		○	○前	○始			○	○	○		

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ササ グサ	ミズ グサ	ヘラ グサ	クロ グサ	オモ グサ	ヒル グサ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減 深 cm/d	使用上の 注意		
Ⅶ-2 3. CDS-941 7077 ¹ g Ⅱ-6-(1) Ⅱ-6-(2) を併用	養 殖 土 壌 造	北海道	早	○2.5	○	○2	○2		○2		○前	○再生 前	+3~1/t ¹ 2.5L	50 ml/a	1.5	○	○	○	2	(38) (42)	
		東北	早	○2.5	○	○2	○2	○2	●前	●前	○期				●	○	○	○	2	水口処理 可能(北海 道、東北)	
		北陸	早																		
		関東 東山 東海	早																		
			普																		
		近畿 中国	早																		
			普																		
		四国	早																		
			普																		
		九州	早																		
		普																			

7077¹gに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北)

7077¹gに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北)

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ササ グサ	ミズ グサ	ヘラ グサ	クロ グサ	オモ グサ	ヒル グサ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 4. CDS-941 7077 ¹ g II-6-(1) II-6-(2) を併用	北海道	早										50 ml/a						(28) (34) (38) (42)
	東北	早																
	北陸	早	○2.5	○	○2	○2	○2		●始		○再生 前	+3~1/t ¹ 2.5L		●	○	○	1	水口処理可 能(北陸~ 九州)
	関東 東山 東海	早	●2	●	●2	●2	●2		●	●前	●再生 前	+3~1/t ¹ 2.5L		●	●	●		
		普	○2.5	○	○2	○2	○2		●始	●始	○期	+3~1/t ¹ 2.5L		○	○	○	2	
	近畿 中国	早	●2.5	●	●2	●2	●2		●	●前	●再生 前	+3~1/t ¹ 2.5L (9.1L×2.5L)		●	●	●	1	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2		●始	○期	○前			●	○	○	1.5	
	四国	早	●2.5	●	●2	●2	●2		●	●前	●再生 前			●	●	●	1	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2		●始	○期	○前	+3~1/t ¹ 2.5L		●	○	○	1.5	
	九州	早	●2.5	●	●2	●2	●2		●	●前	●再生 前			●	●	●	2	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2		●始	○期	○始			●	●	○		

7077¹gに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(関東~九州)

7077¹gに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(北陸、関東、東山、東海、九州)

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ササ グサ	ミズ グサ	ヘラ グサ	クロ グサ	オモ グサ	ヒル グサ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 5. CH-904 7077 ¹ g II-6-(5) II-6-(6) II-6-(8) を併用	菅葉土 環境処理	北海道	○ 3	○	○ 2	○ 2	○ 2			○ 発 止	○ 前	○ 再 生 前	+5〜1 ¹ ×3L	50 ml/a	●	●	○	2	(36) (40)
		東北	○ 3	○	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2			○ 前	○ 前	○ 前	**1 ¹ /1 ¹ ×3kg/サ 2L		●	○	1.5	
		北陸											●	**1 ¹)/シズイ 越 ¹ 草丈3cm 2 ¹ ツキナラ					
		関東 東山 東海	早 普																
		近 中国	早 普																
		四国	早 普																
		九州	早 普																

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハ・イ	ネハ イ	クハ イ	ミ カ フ	ヘ タ タ	ク ロ カ	オ カ	ヒ ム シ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 cm/d	使用上の 注意
Ⅱ-6-(8) を併用	北海 道	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○前	○前	○前	○前	+5~ /t ² 2.5L ※:1)ノサス 2)ノサス 3)ノサス 4)ノサス 5)ノサス 6)ノサス 7)ノサス 8)ノサス 9)ノサス 10)ノサス 11)ノサス 12)ノサス	100 g/a	○5	○	○	○	2	(28) (34) (36) (38) (40) (42)
		普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○前	○前	○前	○前								
	東北	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○前	○前	○前	○前								
		普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○前	○前	○前	○前								
	関東 東山 東海	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○前	○前	○前	○前								
		普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○前	○前	○前	○前								
	近畿 中国	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○前	○前	○前	○前								
		普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○前	○前	○前	○前								
	四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○前	○前	○前	○前								
		普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○前	○前	○前	○前								
	九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○前	○前	○前	○前								
		普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○前	○前	○前	○前								

コサカに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北)
ネハカに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北)

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハ・イ	ネハ イ	クハ イ	ミ カ フ	ヘ タ タ	ク ロ カ	オ カ	ヒ ム シ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 cm/d	使用上の 注意
Ⅱ-6-(2) を併用	北海 道	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○前	○前	○前	○前	+5~ /t ² 2.5L ※:1)ノサス 2)ノサス 3)ノサス 4)ノサス 5)ノサス 6)ノサス 7)ノサス 8)ノサス 9)ノサス 10)ノサス 11)ノサス 12)ノサス	100 g/a	○5	○	○	○	2	(28) (34) (36) (38) (40) (42)
		普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○前	○前	○前	○前								
	東北	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○前	○前	○前	○前								
		普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○前	○前	○前	○前								
	関東 東山 東海	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○前	○前	○前	○前								
		普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○前	○前	○前	○前								
	近畿 中国	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○前	○前	○前	○前								
		普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○前	○前	○前	○前								
	四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○前	○前	○前	○前								
		普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○前	○前	○前	○前								
	九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○前	○前	○前	○前								
		普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○前	○前	○前	○前								

コサカに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(関東~九州)
ネハカに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(関東~東海)

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハ・イ	ネハ イ	クハ イ	ミ カ フ	ヘ タ タ	ク ロ カ	オ カ	ヒ ム シ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 cm/d	使用上の 注意
Ⅱ-6-(2) を併用	北海 道	早	●3	●	●2	●2	●2	●2	●前	●前	●前	●前	+5~ /t ² 3L +5~ /t ² 2.5L	50 g/a	○5	○	○	○	2	(28) (34) (36) (38) (40) (42)
		普	●2.5	●	●2	●2	●2	●2	●前	●前	●前	●前								
	東北	早	●3	●	●2	●2	●2	●2	●前	●前	●前	●前								
		普	●2.5	●	●2	●2	●2	●2	●前	●前	●前	●前								
	関東 東山 東海	早	●3	●	●2	●2	●2	●2	●前	●前	●前	●前								
		普	●2.5	●	●2	●2	●2	●2	●前	●前	●前	●前								
	近畿 中国	早	●3	●	●2	●2	●2	●2	●前	●前	●前	●前								
		普	●2.5	●	●2	●2	●2	●2	●前	●前	●前	●前								
	四国	早	●3	●	●2	●2	●2	●2	●前	●前	●前	●前								
		普	●2.5	●	●2	●2	●2	●2	●前	●前	●前	●前								
	九州	早	●3	●	●2	●2	●2	●2	●前	●前	●前	●前								
		普	●2.5	●	●2	●2	●2	●2	●前	●前	●前	●前								

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年広葉マハ・イ	サハ・イ	クリカ	ミヌカ・ヤ	ハラオモダ・カ	クロダ・イ	オモダ・カ	ヒルムシロ	藻類剥離	リ	処理時期	使用量・製品	砂土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
VII-2 24.HJ-943 -1kg 粒	茎葉素土壌処理	北海道	早	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○前	○再生前	+5~ハ・エ2.5L	100g/a			○	○	2	(28) (34)
		東北	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生期	○前	○前					○	○	1.5	
		北陸	早	○2.5	○	○2	○2	○2					○前	○始						○	1	
		関東 東山	早	○2.5	○	○2	○2	○2					○発生期	○再生前					○	○		
		近畿 中国	早	○2.5	○	○2	○2	○2					○前	○始					○	○	○	
			早	○2.5	○	○2	○2	○2					○前	○始					○	○	○	
		四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2					○前	○再生前					○	○	○	
		九州	早	○2.5	○	○2		○2						○					○	○	1.5	

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年広葉マハ・イ	サハ・イ	クリカ	ミヌカ・ヤ	ハラオモダ・カ	クロダ・イ	オモダ・カ	ヒルムシロ	藻類剥離	リ	処理時期	使用量・製品	砂土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
VII-2 25.HJ-946 -1kg 粒	茎葉素土壌処理	北海道	早	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○前	○再生前	+5~ハ・エ2.5L	100g/a			○	○	2	(28) (34)
		東北	早	○2.5	○	○2	○2	○2					○前	○始						○	1	
		北陸	早	○2.5	○	○2	○2	○2					○前	○始						○	○	
		関東 東山	早	○2.5	○	○2	○2	○2											○	○	2	
		近畿 中国	早	○2.5	○	○2	○2	○2					○発生期	○再生前					○	○	○	
			早	○2.5	○	○2	○2	○2					○前	○始					○	○	○	
		四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2					○発生期	○再生前					○	○	○	
		九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2					○発生期	○					○	○	○	

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年広葉マハ・イ	サハ・イ	クリカ	ミヌカ・ヤ	ハラオモダ・カ	クロダ・イ	オモダ・カ	ヒルムシロ	藻類剥離	リ	処理時期	使用量・製品	砂土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
VII-2 26.HJ-947 -1kg 粒 (旧 NC-365 -1kg 粒) II-6-(6) を併用	茎葉素土壌処理	北海道	早	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○前	○再生前	+5~ハ・エ2.5L ※:1リ/ササカ 2L	100g/a			○	○	2	(28) (34)
		東北	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○前	○再生前					○	○	1.5	
		北陸	早	○2.5	○	○2	○2	○2					○前	○始						○	○	
		関東 東山	早	●2.5	●	●2	●2	●2					○発生期	○再生前			●	●	●	●	1	
		近畿 中国	早	○2.5	○	○2	○2	○2					○前	○始					○	○	○	
			早	○2.5	○	○2	○2	○2					○前	○始					○	○	○	
		四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2					○前	○再生前					○	○	○	
		九州	早	●2.5	●	●2	●2	●2					○発生期	○再生前			●	●	●	●	1	

VII-2 27.HW-522 7077ル 「継」

VII-2 28.HW-522 7077ル 「継」

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年広葉マハ・イ	サハ・イ	クリカ	ミヌカ・ヤ	ハラオモダ・カ	クロダ・イ	オモダ・カ	ヒルムシロ	藻類剥離	リ	処理時期	使用量・製品	砂土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
VII-2 30.KUH-931 -1kg 粒 II-6-(1) を併用	茎葉素土壌処理	北海道	早	○3	○	○2	○2		○2			○発生期	○前	○再生前	+5~ハ・エ3L ※:1リ/ササカ 2L	100g/a	1.5		○	○	○	(28) (34) (42)
		東北	早	○3	○	○2	○2	○2	○2	●前		○発生期	○前	○再生前					○	○	○	
		北陸	早	○3	○	○2	○2	○2	○2				○前	○始					○	○	○	
		関東 東山	早	○3	○	○2	○2	○2					○発生期	○再生前					○	○	○	
		近畿 中国	早	○3	○	○2	○2	○2					○前	○始					○	○	○	
			早	○3	○	○2	○2	○2					○前	○再生前					○	○	○	
		四国	早	○3	○	○2	○2	○2					○前	○始					○	○	○	
		九州	早	○3	○	○2	○2	○2					○前	○					○	○	○	

2077リに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北)

	処理方法	地域名	作期	1年 広葉菜 マサハヤ	タカメ	ワリガク	シヤ カリ	ハラモ ダ	クロガ イ	オホガ イ	ヒロシ ロ	藻類腐 敗層	セリ	再生 前	処理時期	使用資 料品	砂土 1.5	壊 土	埋 土	減深 cm/d	使用上の 注意	
Ⅱ-6-(1) Ⅱ-6-(2) Ⅱ-6-(5) Ⅱ-6-(6) を併用	事業廃土・炭処理	北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生	○前	○再生 前	○*	*+5〜1t×2.5L ※エツノサキスカがチ 2L **1)シスノイ 2)フナギガラ 始	100 g/a	●	●	○	○2	(28) (34)	
		東北	○2.5	○	○2	○2	○2	●2	●前	●前	○期	○前	○前	○**				●	○	○1.5	(34) (42)	
		北陸	○2.5	○	○2	○2	○2	○2					○前	○前	○				○	○2		
		関東 山梨	早 普	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前	○前	○再生 前					○	○1	
		東海	普	○2.5	○	○2	○2	○2				○期	○前	○前	○				○	○	○2	
		近畿 中国	早 普	○2.5	○	○2	○2	○2		●始	●前		○前	○	○始				○	○		1.5
		四国	早 普	○2.5	○	○2	○2	○2		●始	●前		○前	○	○再生 前				○	○	○	
		九州	早 普	○2.5	○	○2	○2	○2		●始	●始	○期	○発生	○前	○始					○	○	

特許741に有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北、近畿・中国・四国、九州)

	処理法	地域名	作期	1/2エ	年 葉 マ イ	ササ	クリ	ミ ズ ナ リ	ヘ ラ タ キ	ア サ マ イ	オ サ マ イ	ヒ ル シ ロ	藻 類 類 殖		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減 水 深 cm/d	使用上の 注意	
VII-2 41. NBA-071 -1kg 粒	葦葉土壌処理	北海道		●2.5	●	●2	●2		●2			●発生期	●前	●再生前	+5~/t ² ±2.5L	100 g/a			●●	2	(28) (34)		
		東北		●2.5	●	●2	●2	●2	●2			●発生期	●前	●再生前					●●	1.5			
		北陸		●2.5	●	●2	●2	●2					●始						●●	2			
		関東	早										●発生期	●前			●再生前						
		東海	普	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生期	●前	●再生前					●●	●●		●●	
		近畿	早														●始						
		中国	普	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生期	●前	●再生前					●●	●●		●●	
		四国	早										●発生期	●前			●再生前			●●		●●	●●
		九州	早	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生期	●始						●●	●●		●●	
		九州	普																				

処理法	地域名	作期	/t ² エ	一年広葉マハイ	ササ	クリ	ミズナ	アサギ	クロガ	オサ	ヒルシ	藻類	処理時期	使用量・製品	砂土	塩土	塩土	塩土	減水深cm/d	使用上の注意
VII-2 42. NBA-072 -1kg 粒	葦葉葉土壌処理	北海道	●2.5	●	●2	●2	●2	●2			●発生期	●前	±5~/t ² エ2.5L	100 g/a			●	●	2	
		東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●2			●発生期	●前					●	●	1.5	
		北陸										●始								
		関東	早																	
		東海	普																	
		近畿	早																	
		中国	普																	
		四国	早																	
		九州	早																	
		普																		

	処理法	地域名	作期	1t ² エ	年 広葉 マハイ	ササ	クリ	ミズナ クリ	ヘラギ ナ	クロ ワタ	オサ ナ	ヒルシ ロ	藻類 剝離		処理時期	使用 量・製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減深 cm/d	使用上の 注意			
VII-2 43. NBA-073 -1kg 粒	葦葉土壌処理	北海道		●2.5	●	●2	●2		●2			●発生期	●前	●再 前	+5～1t ² エ2.5L	100 g/a			●	●	2	(28) (34)			
		東北		●2.5	●	●2	●2	●2				●発生期	●前	●再 前					●	●	1.5				
		北陸		●2.5	●	●2	●2	●2						●始						●	●	2			
		関東	早										●発生期	●前			●再 前								
		東海	普	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生期	●前	●再 前					●	●	●	●			
		近畿	早										●発生期	●前			●再 前								
		中国	普	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生期	●前	●始						●	●	1.5			
		四国	早										●発生期	●前			●再 前								
		九州	早	●2.5	●	●2	●2	●2	●2				●発生期	●前			●再 前			●	●	●	●	1	
		九州	普	●2.5	●	●2	●2	●2	●2				●発生期	●前			●始			●	●	●	●	1.5	

処理法	地域名	作期	/t ² エ	一年広葉マハイ	ササ	クリ	ミズナ	アサギ	クロガ	オサ	ヒルシ	藻類	処理時期	使用量・製品	砂土	塩土	塩土	塩土	減水深cm/d	使用上の注意
VII-2 44. NBA-941 -1kg 粒	葦葉葉土壌処理	北海道	○3	○	○2	○2		○2			○発生期	○前	±5~/t ² エ3L	100 g/a	●	●	○	○	2	(28) (34)
		東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○前	±5~/t ² エ2.5L			●	●	○	1.5	
		北陸	○3	○	○2	○2	○2	○2				○前	±5~/t ² エ3L		○	○	○	○	2	
		関東	早	●3	●	●2	●2	●2			●発生期	●				●	●	●		
		東海	普	○3	○	○2	○2	○2			○発生期	○前				○	○	○		
		近畿	早	●2.5	●	●2	●2	●2			●発生期	●前	±5~/t ² エ2.5L			●	●	●	1	
		中国	普	○2.5	○	○2	○2	○2			○発生期	○前			○	○	○	○	2	
		四国	早	●2.5	●	●2	●2	●2			●発生期	●				●	●	●	1	
		九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2			○発生期	○前	±7~/t ² エ2.5L		○	○	○	○		
		普	○3	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○	±5~/t ² エ3L		○	○	○	○		

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マハイ	ホクハ	クリハ	ミズ カヤ フリ	ヘラモ タガ	クロガ ワイ	ネサ カ	ヒルシ ロ	藻類 剥離	サリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 45. NC-311DCD -1kg 粒	北海道 東北 北陸 関東 東海 近畿 中国 四国 九州	早	○3	○	○2	○2	○2			○発生 期	○前	○再生 前	+5~1/2L	100 g/a	1.5 ○	○	○	○	2	(28) (34)
		普	○3	○	○2	○2	○2			○発生 期	○前	○再生 前								
		早	○3	○	○2	○2	○2			○発生 期	○前	○再生 前								
		普	○3	○	○2	○2	○2			○発生 期	○前	○再生 前								
		早	○3	○	○2	○2	○2			○発生 期	○前	○再生 前								
		普	○3	○	○2	○2	○2			○発生 期	○前	○再生 前								
		早	○3	○	○2	○2	○2			○発生 期	○前	○再生 前								
		普	○3	○	○2	○2	○2			○発生 期	○前	○再生 前								
		早	●3	●	●2	●2	●2			●発生 期	●前	●再生 前								
		普	○3	○	○2	○2	○2			○発生 期	○前	○再生 前								
		早	○3	○	○2	○2	○2			○発生 期	○前	○再生 前								
		普	○3	○	○2	○2	○2			○発生 期	○前	○再生 前								

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マハイ	ホクハ	クリハ	ミズ カヤ フリ	ヘラモ タガ	クロガ ワイ	ネサ カ	ヒルシ ロ	藻類 剥離	サリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 46. NC-311NW -1kg 粒	北海道 東北 北陸 関東 東海 近畿 中国 四国 九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2			○発生 期	○前	○再生 前	+5~1/2L	100 g/a	1.5 ○	○	○	○	2	(28) (34) (38) (42)
		普	○2.5	○	○2	○2	○2	○前	○前	○発生 期	○前	○再生 前								
		早	○2.5	○	○2	○2	○2			○発生 期	○前	○再生 前								
		普	○2.5	○	○2	○2	○2	○前	○前	○発生 期	○前	○再生 前								
		早	○2.5	○	○2	○2	○2			○発生 期	○前	○再生 前								
		普	○2.5	○	○2	○2	○2	○前	○前	○発生 期	○前	○再生 前								
		早	○2.5	○	○2	○2	○2			○発生 期	○前	○再生 前								
		普	○2.5	○	○2	○2	○2	○前	○前	○発生 期	○前	○再生 前								
		早	○2.5	○	○2	○2	○2			○発生 期	○前	○再生 前								
		普	○2.5	○	○2	○2	○2	○前	○前	○発生 期	○前	○再生 前								
		早	○2.5	○	○2	○2	○2			○発生 期	○前	○再生 前								
		普	○2.5	○	○2	○2	○2	○前	○前	○発生 期	○前	○再生 前								

加ガワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北・関東~九州)
ネサカに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北~東海、九州)

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツバ	ホクハ	クリハ	ミズ カヤ フリ	ヘラモ タガ	クロガ ワイ	ネサ カ	藻類 剥離	サリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減 深 cm/d	使用上の 注意				
VII-2 48. NC-339 顆粒水和	畜糞等 処理	北海道	●2.5	●	●2	●2					●発生 期	●前	●再生 前	+5~1/2L	4g/a 希釈水 量50 ml/a	●	●	●	1.5	(28) (34)				
		東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●2			●発生 期		●前			●始		●	●		●			
		北陸	●2.5	●	●2	●2	●2	●2								●始		●	●		●	2		
		関東 東海	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2	●2			●発生 期	●前			●再生 前		●	●		●	●		
		近畿 中国	早 普	●2.5	●	●2	●始	●2	●2			●発生 期				●始			●		●	●	1.5	
		四国	早 普	●2.5	●	●2	●始	●2	●2			●発生 期				●再生 前			●		●	●		
		九州	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2	●2							●始		●	●		●	●	1	

	処理法	地域名	作期	ハ ¹ エ ¹	一 ¹ 年 ¹ 広 ¹ 葉 ¹ マ ¹ ハイ ¹	ホク ¹ ハ ¹	クリ ¹ カ ¹	ミ ¹ ズ ¹ カ ¹ ヤ ¹ フリ ¹	ヘ ¹ ラ ¹ モ ¹ タ ¹ ガ ¹	クロ ¹ ガ ¹ ワイ ¹	ネ ¹ サ ¹ カ ¹	ヒ ¹ ル ¹ シ ¹ ロ ¹	藻類剥離	サ ¹ リ ¹	処理時期	使用量・製品	砂土	塩土	塩土	減水cm/d	使用上の注意			
VII-2 49. NC-339 -1kg 粒	茎葉等土壌処理	北海道	早	○2.5	○	○2	○2		○2				○発生期	○前	○再生前	+5~1/2L	100g/a	○	○	○	(28) (34)			
		東北	早	○2.5	○	○2	○2	○2					○発生期	○前	○再生前			○	○	○1.5				
		北陸	早	○2.5	○	○2	○2	○2					○発生期	○前	○再生前				○	○2				
		関東	早	●2.5	●	●2	●2	●2					●発生期	●前	●再生前				●	●●				
		東海	早	○2.5	○	○2	○2	○2					○発生期	○前	○再生前				○	○				
		近畿	早	●2	●	●2	●2	●2					●発生期	●前	●再生前			+5~1/2L		●		●●	●1	
		中国	早	○2.5	○	○2	○2	○2					○発生期	○前	○再生前				+5~1/2L	○		○	○2	
		四国	早	●2	●	●2	●2	●2					●発生期	●前	●再生前			+5~1/2L		●		●●	●1	
			早	○2.5	○	○2	○2	○2						○発生期	○前			○再生前	+5~1/2L	○		○	○2	
		九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2						○発生期	○前			○再生前					○	○1
			早	○2.5	○	○2	○2	○2						○発生期	○前			○再生前						

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ミズ カ	ヘラ タ	クロ カ	モ カ	ヒル シ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 50. NC-955 顆粒水和 土壌処理	北海道	○2.5	○	○2	○2	○2			○発生 期	15~17℃2.5L	6g/a	1.5	○	○	○	2	(28) (34)
	東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○2		○発生 期		6g/a	1.5	○	○	○		水口処理 可能(50 ml/aの水 で希釈) 北海道・ 東北
	北陸	○2.5	○	○2	○2	○2	○2		○発生 期		6g/a	1.5	○	○	○		
	関東 東山 東海	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2		●発生 期		6g/a	1.5	●	●	●		
	近畿 中国	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2		●発生 期		6g/a	1.5	●	●	●	1	
	四国	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2		●発生 期		6g/a	1.5	●	●	●	1	
	九州	早 普	○2.5	○	○2	○2	○2		○発生 期		6g/a	1.5	○	○	○	1	
			○2.5	○	○2	○2	○2		○発生 期		6g/a	1.5	○	○	○		
									○発生 期		6g/a	1.5	○	○	○		
									○発生 期		6g/a	1.5	○	○	○		
									○発生 期		6g/a	1.5	○	○	○		
									○発生 期		6g/a	1.5	○	○	○		

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ミズ カ	ヘラ タ	クロ カ	モ カ	ヒル シ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 51. NC-366 1kg 粒 II-6-(6) を併用	北海道	○2.5	○	○2	○2	○2	○2		○発生 期	15~17℃2.5L	100 g/a	1.5	●	○	○	2	(28) (34)
	東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○2		○発生 期		100 g/a	1.5	○	○	○	1.5	
	北陸	○2.5	○	○2	○2	○2	○2		○発生 期		100 g/a	1.5	○	○	○	2	
	関東 東山 東海	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2		●発生 期		100 g/a	1.5	●	●	●		
	近畿 中国	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2		●発生 期		100 g/a	1.5	●	●	●	1	
	四国	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2		●発生 期		100 g/a	1.5	●	●	●	1	
	九州	早 普	○2.5	○	○2	○2	○2		○発生 期		100 g/a	1.5	○	○	○	2	
			○2.5	○	○2	○2	○2		○発生 期		100 g/a	1.5	○	○	○		
									○発生 期		100 g/a	1.5	○	○	○		
									○発生 期		100 g/a	1.5	○	○	○		
									○発生 期		100 g/a	1.5	○	○	○		
									○発生 期		100 g/a	1.5	○	○	○		

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ミズ カ	ヘラ タ	クロ カ	モ カ	ヒル シ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 52. NC-367 1kg 粒	北海道	●2.5	●	●2	●2	●2	●2		●発生 期	15~17℃2.5L	100 g/a	1.5	●	●	●	2	(28) (34)
	東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●2		●発生 期		100 g/a	1.5	●	●	●	1.5	
	北陸	●2.5	●	●2	●2	●2	●2		●発生 期		100 g/a	1.5	●	●	●	1	
	関東 東山 東海	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2		●発生 期		100 g/a	1.5	●	●	●		
	近畿 中国	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2		●発生 期		100 g/a	1.5	●	●	●		
	四国	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2		●発生 期		100 g/a	1.5	●	●	●		
	九州	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2		●発生 期		100 g/a	1.5	●	●	●		
			●2.5	●	●2	●2	●2		●発生 期		100 g/a	1.5	●	●	●		
									●発生 期		100 g/a	1.5	●	●	●		
									●発生 期		100 g/a	1.5	●	●	●		
									●発生 期		100 g/a	1.5	●	●	●		
									●発生 期		100 g/a	1.5	●	●	●		

VII-2 53. NC-376-1kg 粒 「雑」

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ミズ カ	ヘラ タ	クロ カ	モ カ	ヒル シ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 54. NCH-903 DEH-1kg 粒 II-6-(5) II-6-(8) を併用	北海道	○3	○	○2	○2	○2	○2		○発生 期	15~17℃3L	100 g/a	1.5	○	○	○	2	(28) (34)
	東北	○3	○	○2	○2	○2	○2		○発生 期		100 g/a	1.5	○	○	○		
	北陸	○3	○	○2	○2	○2	○2		○発生 期		100 g/a	1.5	○	○	○		
	関東 東山 東海	早 普	●3	●	●2	●2	●2		●発生 期		100 g/a	1.5	●	●	●	1	
	近畿 中国	早 普	○3	○	○2	○2	○2		○発生 期		100 g/a	1.5	○	○	○	1	
	四国	早 普	○3	○	○2	○2	○2		○発生 期		100 g/a	1.5	○	○	○		
	九州	早 普	●3	●	●2	●2	●2		●発生 期		100 g/a	1.5	●	●	●		
			○3	○	○2	○2	○2		○発生 期		100 g/a	1.5	○	○	○		
									○発生 期		100 g/a	1.5	○	○	○		
									○発生 期		100 g/a	1.5	○	○	○		
									○発生 期		100 g/a	1.5	○	○	○		
									○発生 期		100 g/a	1.5	○	○	○		

	処理法	地域名	作期	ノ・エ	一年 広葉 マツハイ	ササ イ	クリ イ	ミ ヤ リ	ヘ タ タ カ	クロ イ	オ タ カ	ヒ ム シ ロ	藻 類 剥 離	切 リ	再生 前 始	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 55. NSK-858 7077 ⁶	茎葉養土壌処理	北海道		●2.5	●	●2	●2		●2			●発生期	●前	●再生前		+5~ノ・エ2.5L	50 ml/a			●	●2		
		東北		●2.5	●	●2	●2	●2				●発生期		●再生前						●	●1.5		
		北陸																					
		関東 東山 東海	早 普																				
		近畿 中国	早 普																				
		四国	早 普																				
		九州	早 普																				

	処理法	地域名	作期	ノ・エ	一年 広葉 マツハイ	ササ イ	クリ イ	ミ ヤ リ	ヘ タ タ カ	クロ イ	オ タ カ	ヒ ム シ ロ	藻 類 剥 離	切 リ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 56. NSK-858 7077 ⁶	茎葉養土壌処理	北海道													+5~ノ・エ2.5L	50 ml/a						(28) (34)
		東北																				
		北陸		●2.5	●	●2	●2	●2	●2					切 リ 再 生 前 始				●	●2			
		関東 東山 東海	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2	●2			●発生期	●前	●再生前					●	●1		
		近畿 中国	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2	●2			●発生期	●前	●再生前					●	●1.5		
		四国	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2	●2			●発生期		●再生前					●	●		
		九州	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2	●2			●発生期	●前	●再生前					●	●		

	処理法	地域名	作期	ノ・エ	一年 広葉 マツハイ	ササ イ	クリ イ	ミ ヤ リ	ヘ タ タ カ	クロ イ	オ タ カ	ヒ ム シ ロ	藻 類 剥 離	切 リ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 57. NTN-831 -1kg 粒	茎葉養土壌処理	北海道		○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○前		+5~ノ・エ2.5L	100 g/a		○	○	○2		(28) (34)
		東北		○2.5	○	○2	○2	○2	○2			●発生期						○	○	○1.5		
		北陸		○2.5	○	○2	○2	○2	○2										○	○		
		関東 東山 東海	早 普	●2	●	●2	●2	●2	●2			○発生期	○前		+5~ノ・エ2L				●	●2		
		近畿 中国	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2	●2			●発生期	○前		+5~ノ・エ2.5L				●	●1		
		四国	早 普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○前					○	○	○2		
		九州	早 普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○前					○	○	○1		

	処理法	地域名	作期	ノ・エ	一年 広葉 マツハイ	ササ イ	クリ イ	ミ ヤ リ	ヘ タ タ カ	クロ イ	オ タ カ	ヒ ム シ ロ	藻 類 剥 離	切 リ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 59. RYH-102 -1kg 粒	茎葉養土壌処理	北海道		●2.5	●	●2	●2	●2	●2			●発生期	●前	●再生前	+5~ノ・エ2.5L	100 g/a			●	●2		(28) (34)
		東北																				
		北陸																				
		関東 東山 東海	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2	●2			●発生期	●前	●再生前					●	●1		
		近畿 中国	早 普																			
		四国	早 普																			
		九州	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2	●2										●	●		

	処理法	地域名	作期	1/2 広葉 マハイ	オハ イ	クハ イ	ミヤ リ	ヘア モ タ カ	クロ ク イ	オモ タ カ	ヒル シ ロ	藻類 剥離	切	処理時期	使用 量・ 製品	砂 礫 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意		
VII-2 60. RYH-103 7077 土 壌処理	聖薬業 土壌処理	北海道		●2.5	●	●2	●2			●2		●発生 期	●前	+5〜1/2±2.5L	50 ml/a				●	●2	(28) (34)		
		東北																					
		北陸																					
		関東	早																				
		東海	普																				
		近畿	早																				
		中国	普																				
		四国	早																				
			普																				
		九州	早																				
	普	●2.5	●	●2	●2	●2									●	●	●	●	1				

VII-2 61. RYH-110 顆粒水和 「継」

VII-2 62. SL-973-1kg 粒 「継」

処理法	地域名	作期	1/2	一年 広葉 マハイ	オハ イ	クハ イ	ミ ヤ リ	ヘ ア モ タ カ	ク ロ ク イ	オ モ タ カ	ヒ ル シ ロ	藻類 剥離	切	処理時期	使用 量・ 製品	砂 礫 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 63. TH-913ADE -1kg 粒 土壌処理	北海道		○3	○	○2	○2		○2			○発生期	○前	○再生前	+5~1/2×3L	100 g/a	○	○	○	○	2	(28) (34)
	東北		○3	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○前	○前	*:1/2×3L		○	○	○	○		
	北陸		○3	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○前	○前	*:1/2×3L		○	○	○	○		
	関東	早	○3	○	○2	○2	○2				○発生期	○前	○再生前	+7~1/2×3L		○	○	○	○		
	東海	普	○3	○	○2	○2	○2				○発生期	○前	○前			○	○	○	○		
	近畿	早	○3	○	○2	○2	○2				○発生期	○前	○前			○	○	○	○	1	
	中国	普	○3	○	○2	○2	○2				○発生期	○前	○再生前			○	○	○	○	2	
	四国	早	○3	○	○2	○2	○2				○発生期	○前	○前			○	○	○	○	1	
		普	○3	○	○2	○2	○2				○発生期	○前	○前			○	○	○	○	2	
	九州	早	○3	○	○2	○2	○2				○発生期	○前	○再生前			○	○	○	○	1.5	
		普	○3	○	○2	○2	○2				○発生期	○前	○前			○	○	○	○		

処理法	地域名	作期	1/2	一年 広葉 マハイ	オハ イ	クハ イ	ミ ヤ リ	ヘ ア モ タ カ	ク ロ ク イ	オ モ タ カ	ヒ ル シ ロ	藻類 剥離	切	処理時期	使用 量・ 製品	砂 礫 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 64. TH-913HSK -1kg 粒 土壌処理	北海道		○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○前	○再生前	+5~1/2×2.5L	100 g/a	○	○	○	○	2	(28) (34) (36)
	東北		○2	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○前	○前	+5~1/2×2L		○	○	○	○		
	北陸		○2	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○前	○前	*:1/2×3L		○	○	○	○		
	関東	早	○2	○	○2	○2	○2				○発生期	○前	○再生前	**:		○	○	○	○		
	東海	普	○2	○	○2	○2	○2				○発生期	○前	○前	**:		○	○	○	○		
	近畿	早	○2	○	○2	○2	○2				○発生期	○前	○前			○	○	○	○	1	
	中国	普	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生期	○前	○前	+10~1/2×2.5L		○	○	○	○	1.5	
	四国	早	○2	○	○2	○2	○2				○発生期	○前	○再生前	+5~1/2×2L		○	○	○	○	1	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生期	○前	○前	+10~1/2×2.5L		○	○	○	○	1.5	
	九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生期	○前	○前	+5~1/2×2.5L		○	○	○	○	1	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生期	○前	○前	○**		○	○	○	○	1.5	

処理法	地域名	作期	1/2	一年 広葉 マハイ	オハ イ	クハ イ	ミ ヤ リ	ヘ ア モ タ カ	ク ロ ク イ	オ モ タ カ	ヒ ル シ ロ	藻類 剥離	切	処理時期	使用 量・ 製品	砂 礫 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 65. TH-913SN -1kg 粒 II-6-(5) を併用	北海道		○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○前	○再生前	0*** +5~1/2×2.5L	100 g/a	○	○	○	○	2	(28) (34) (36) (40)
	東北		○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○前	○前	00**		○	○	○	○		
	北陸		○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○前	○前			○	○	○	○		
	関東	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生期	○前	○再生前	**:		○	○	○	○		
	東海	普	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生期	○前	○前	***:		○	○	○	○		
	近畿	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生期	○前	○前			○	○	○	○	1	
	中国	普	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生期	○前	○前	*藻類のみ		○	○	○	○	1.5	
	四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生期	○前	○再生前			○	○	○	○	1	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生期	○前	○前			○	○	○	○	1.5	
	九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生期	○前	○再生前			○	○	○	○		
		普	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生期	○前	○前	○**		○	○	○	○		

処理法	地域名	作期	ノヒ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	オサハ・イ	クリカワ	ミズ サ・イ フリ	ヘラサ タ・イ	クロサ タ・イ	オモサ タ・イ	ヒルシ ロ	藻類 剥離	切	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 66.CH-907 -1kg 粒	北海道	早	○2.5	○	○2	○2		○2			○	○前	○再生	+5~ ノヒ・エ2.5L 湛水周縁部散 布可能	100 g/a	○	○	○	○	2	(34) (41)
	東北	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○	○前	○前			○	○	○	○		
	北陸	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			●	○前	○始			○	○	○	○		
	関東 東山 東海	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○	○前	○再生			○	○	○	○		
	近畿 中国	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○	○前	○前			○	○	○	○		
		普	○2.5	○	○2	○2	○2				○	○前	○前			○	○	○	○		
	四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○	○前	○再生			○	○	○	○		
		普	○2.5	○	○2	○2	○2				○	○前	○前			○	○	○	○		
	九州	早	●2.5	●	●2	●2	●2				○	○前	○始			○	○	○	○	1.5	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2				○	○前	○前			○	○	○	○	2	
																○	○	○	○		

VII-2 67.KK-961-1kg 粒 「継」

VII-2 68.KK-962-1kg 粒 「継」

VII-2 69.CH-907-0.5kg 粒 「継」

VII-2 70.WK-243D-0.5kg 粒 「継」

VII-2 71.WK-243DS-0.5kg 粒 「継」

VII-2 72.WK-243N-0.5kg 粒 「継」

VII-2 73.NC-374-0.5kg 粒 「継」

VII-2 74.NCH-903DEH-0.5kg 粒 「継」

VII-3-(1) 長期持続型一発処理剤

処理法	地域名	作期	ノヒ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	オサハ・イ	クリカワ	ミズ サ・イ フリ	ヘラサ タ・イ	クロサ タ・イ	オモサ タ・イ	ヒルシ ロ	藻類 剥離	切	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-3-(1) 1.AC-014A 粒	北海道	早	○1.5	○	○2	○2		○2			○	○前	○再生	+0~ノヒ・エ1.5L	300 g/a	○	○	○	○	2	(28) 田植同時 散布可能 (東北~ 東海)
	東北	早	○1.5	○	○2	○2	○2	○2			○	○前	○前			○	○	○	○		
	北陸	早	○1.5	○	○2	○2	○2	○2			●	○前	○前			○	○	○	○		
	関東 東山 東海	早	○1.5	○	○始	○始	○始				○	○前	○再生			○	○	○	○		
		普	○1.5	○	○始	○始	○始				○	○前	○前			○	○	○	○		
	近畿 中国	早																			
		普																			
	四国	早																			
		普																			
	九州	早																			
		普																			

処理法	地域名	作期	ノヒ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	オサハ・イ	クリカワ	ミズ サ・イ フリ	ヘラサ タ・イ	クロサ タ・イ	オモサ タ・イ	ヒルシ ロ	藻類 剥離	切	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-3-(1) 2.AC-014A 粒	北海道	早												+0~ノヒ・エ1.5L	300 g/a						(34) (41) 田植同時 散布可能 (近畿~九州 福岡以北)
	東北	早																			
	北陸	早																			
	関東 東山 東海	早																			
		普																			
	近畿 中国	早	●1.5	●	●始	●始	●始				○	○前	○再生			○	○	○	○	1	
		普	○1.5	○	○始	○始	○始				○	○前	○前			○	○	○	○	2	
	四国	早	●1.5	●	●始	●始	●始				○	○前	○再生			○	○	○	○	1	
		普	○1.5	○	○始	○始	○始				○	○前	○前			○	○	○	○	2	
	九州	早	●1.5	●	●2	●2	●2				○	○前	○再生			○	○	○	○	1.5	
		普	○1.5	○	○2	○2	○2				○	○前	○前			○	○	○	○	2	

VII-3-(1) 3.AC-014A 70777#

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マハイ	ミズ カヤ ワリ	ヘラ タカ	クロ ワ	モサ カ	ヒル シ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-3-(1) 4.AC-014A -1kg 粒	北海道	●1.5	●	●2	●2	●2		●発生	●前	+0~1/1.5L	100 g/a	●	●	●	●	1.5	田植同時 散布可能 (北海道・中 国・四国)
	東北	●1	●	●2	●2	●2		●発生		+0~1/1.5L			●	●	●		
	北陸	●1.5	●	●2	●2	●2				+0~1/1.5L		●	●	●	●	2	
	関東 東山 東海	早 普	●1.5	●	●始	●始	●始	●発生	●前					●	●		
	近畿 中国	早 普	●1.5	●	●2	●2	●2						●	●	●	1.5	
	四国	早 普	●1.5	●	●2	●2	●2						●	●	●		
	九州	早 普															

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マハイ	ミズ カヤ ワリ	ヘラ タカ	クロ ワ	モサ カ	ヒル シ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-3-(1) 5.AC-014C -1kg 粒	北海道	○2	○	○2	○2	○2		○発生	○前	+5~1/1.5L	100 g/a	○	○	○	○	2	{34} {41}
	東北	○2	○	○2	○2	○2		○発生	○前			○	○	○	○		
	北陸	○2	○	○2	○2	○2			○前			○	○	○	○		
	関東 東山 東海	早 普	●2	●	●2	●2	●2	●発生	○前			●	●	●	●		
	近畿 中国	早 普	●2	●	●2	●2	●2	●発生	○前			●	●	●	●	1	
	四国	早 普	●2	●	●2	●2	●2	●発生	○前			●	●	●	●	1.5	
	九州	早 普	○2	○	○2	○2	○2	○発生	○前			○	○	○	○	2	
												○	○	○	○		
												○	○	○	○		
												○	○	○	○		

VII-3-(1) 6.AC-014M マハイ 「継」

VII-3-(2) 一年生持続型除草剤

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マハイ	ミズ カヤ ワリ	ヘラ タカ	クロ ワ	モサ カ	ヒル シ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-3-(2) 1.CH-902 -1kg 粒	北海道	○1.5	○	○2						+5~1/1.5L	100 g/a	○	○	○	○	2	{18} {33}
	東北	○1.5	○	○2						+3~1/1.5L		○	○	○	○		
	北陸	○1.5	○	○2								○	○	○	○		
	関東 東山 東海	早 普	○1.5	○	○2							○	○	○	○	1	
	近畿 中国	早 普	○1.5	○	○2							○	○	○	○	2	
	四国	早 普															
	九州	早 普															

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マハイ	ミズ カヤ ワリ	ヘラ タカ	クロ ワ	モサ カ	ヒル シ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-3-(2) 2.CH-948 -1kg 粒	北海道	○1.5	○	○始		○2				+5~1/1.5L	100 g/a	●	○	○	○	2	{28} {34}
	東北	○1.5	○	○始		○2						●	○	○	○		
	北陸	○1.5	○	○始		○2						○	○	○	○		
	関東 東山 東海	早 普	○1.5	○	○始							●	○	○	○	1	
	近畿 中国	早 普	○1.5	○	○始							●	○	○	○	2	
	四国	早 普	○1.5	○	○始							○	○	○	○	1.5	
	九州	早 普	○1.5	○	○始							○	○	○	○	1	
												○	○	○	○		
												○	○	○	○		
												○	○	○	○		

VII-3-(2) 3.SP-533 マハイ 「継」

Ⅵ-1 少量散布法

処理法	地域名	作期	ノビエ	一年広葉マツハエ	ホタルイ	クリガク	ミズギヤフリ	ヘラオモダナ	クロガシ	オモダナ	ヒルシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴壌土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
Ⅵ-1 1. NC-311SO -1kg 粒	北海道													100 g/a					2	(28) (34) (40)
	東北		○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○**	+5~ノビエ2.5L			○	○	○		
	北陸	早	●2.5	●	●2	●2	●2	●2			●発生期	●前				●	●	●		
	関東山	早											再生前							
	東海	普	●2.5	●	●2	●2	●2	●2					始~黙3cm			●	●	●		
	近畿中	早																		
	国	普																		
	九州	早	●2.5	●	●2	●2	●2	●2			●発生期	●再生前			●	●	●	●	1.5	

処理法	地域名	作期	ノビエ	一年広葉マツハエ	ホタルイ	クリガク	ミズギヤフリ	ヘラオモダナ	クロガシ	オモダナ	ヒルシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴壌土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
Ⅵ-1 2. NSK-855 70777777	北海道			***								発生期	再生前	50 ml/a	●	●	●	●	2	(28) (34) (38) (40) (42)
	東北		●2	●	●2	●2	●2	●2	●始	●始	●発生期	●前	10~ノビエ2L							
	北陸	早											始							
	関東山	早																		
	東海	普																		
	近畿中	早																		
	国	普																		
	九州	早																		

処理法	地域名	作期	ノビエ	一年広葉マツハエ	ホタルイ	クリガク	ミズギヤフリ	ヘラオモダナ	クロガシ	オモダナ	ヒルシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴壌土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
Ⅵ-1 3. NSK-855 70777777	北海道											発生期	再生前	50 ml/a						(34) (38) (41) (42)
	東北											発生期	再生前							
	北陸	早	●2	●	●2	●2	●2			●始	●発生期	●前	10~ノビエ2L		●	●	●	●	2	
	関東山	早									発生期	再生前	10~ノビエ2L			●	●	●		
	東海	普	●2	●	●2	●2	●2			●始	●発生期	●前	10~ノビエ2L		●	●	●	●		
	近畿中	早	●2	●	●2	●2	●2			●始	●発生期	●前	10~ノビエ2L		●	●	●	●	2	
	国	普	●2	●	●2	●2	●2			●始	●発生期	●前	10~ノビエ2L		●	●	●	●		
	九州	早	●2	●	●2	●2	●2			●始	●発生期	●前	10~ノビエ2L		●	●	●	●	1.5	

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する（関東〜九州）

処理法	地域名	作期	ノビエ	一年広葉マツハエ	ホタルイ	クリガク	ミズギヤフリ	ヘラオモダナ	クロガシ	オモダナ	ヒルシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴壌土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
Ⅵ-1 4. SKH-86020 粒	北海道													300 g/a					2	(3) (26) (34) (36) (38) (40) (41) (42)
	東北		●2	●	●2	●2	●2	●2	●始	●始	●発生期		10~ノビエ2L			●	●	●		
	北陸	早											始							
	関東山	早																		
	東海	普																		
	近畿中	早																		
	国	普																		
	九州	早																		

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。
ホタルイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。

ジャンボ育リ

II-3 移植後土壌処理

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年広葉マツハイ	ササノ	クリガリ	ミズナギ	ヘラオモダナ	クロガシ	オモダナ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
II-3 I.CG-113 土壌処理	北海道													50gx23/a						(45)
	東北		○1	○	○始								+3~+5 (/t・1L)		●	○	○	○	2	
	北陸		○1	○	○始	○									●	●	○	○		
	関東 東山 東海	早普	●1	●	●始								+3~+7 (/t・1L)		●	●	●	●	1	
	近畿 中国	早普	●1	●	●始											●	●	●	1.5	
	四国	早普	●1	●	●始											●	●	●		
	九州	早普																		

II-5 適用時期拡大

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年広葉マツハイ	ササノ	クリガリ	ミズナギ	ヘラオモダナ	クロガシ	オモダナ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
II-5 I.DEN-112 茎葉処理	北海道		○4										+15~+35 (/t・12.5L~4L)	50gx23/a (8L・50gx23/a 以下)	●	●	○	○	2	(45) (47)
	東北		○4												○	○	○	○		
	北陸		○4												○	○	○	○		
	関東 東山 東海	早普	○4										+20~+35 (/t・12.5L~4L)		○	○	○	○	1	
	近畿 中国	早普	○4												○	○	○	○	2	
	四国	早普	○4												○	○	○	○		
	九州	早普	○4												○	○	○	○		

VII 一発処理剤

VII 1. CH-908 「継」

VII 2. HSA-952 「継」

VII 3. MK-243D 「継」

VII 4. MK-243DS 「継」

VII 5. NSK-850D 「継」

VII 6. NSK-850D 「継」

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年広葉マツハイ	ササノ	クリガリ	ミズナギ	ヘラオモダナ	クロガシ	オモダナ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
VII 7.SW-951 土壌処理	北海道		○1.5	○	○始	○始		○始			○発生期	○前	+0~+1.5L	50gx12/a			○	○	2	(45) (47)
	東北		○1.5	○	○始	○始	○始	○始			○発生期	○前	+3~+1.5L		●	●	○	○		
	北陸																			
	関東 東山 東海	早普																		
	近畿 中国	早普																		
	四国	早普																		
	九州	早普																		

処理法	地域名	作期	1/2	一年 広葉 マツハ	ササ	クリ	ミズ ガヤ	ヘラ タナ	クロ ノ	オモ ナ	ヒル シ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII 8.SW-951①	北海道													50g ^x 17/a						(28) (34) (47)
	東北											再生 前								
	北陸		○1.5	○	○始	○始	○始					○前	±0~1/2 ^x 1.5L		●	●	○	○	2	
	関東 東山 東海	早 普	●1.5 ○1.5	● ○	●始 ○始	●始 ○始	●始 ○始				●発生 期	●再生 前 始							1 2	
	近畿 中国	早 普	○1.5 ○1.5	○ ○	○始 ○始	○始 ○始	○始				○発生 期	○再生 前 始	+3~1/2 ^x 1.5L		○	○	○	○		
	四国	早 普	○1.5 ○1.5	○ ○	○始 ○始	○始 ○始	○始				○発生 期	○再生 前 始								
	九州	早 普	●1.5 ○1.5	● ○	●始 ○始	●始 ○始	●始 ○始				●前 期		±0~1/2 ^x 1.5L		○	○	○	○	1.5	

VII 11. HSA-963 「継」

VII-3-(1) 長期持続型一発処理剤

処理法	地域名	作期	1/2	一年 広葉 マツハ	ササ	クリ	ミズ ガヤ	ヘラ タナ	クロ ノ	オモ ナ	ヒル シ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII-3-(1) 1.AC-014C	北海道		○2	○	○2	○2		○2			●発生 期	○前	±5~1/2 ^x 2L	50g ^x 27/a	●	●	○	○	2	(28) (34) (47)
	東北		○2	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期					●	○	○		
	北陸		○2	○	○2	○2	○2				○前					○	○	○		
	関東 東山 東海	早 普	○2 ○2	○ ○	○始 ○始	○始 ○始	○始									●	○	○	1.5	
	近畿 中国	早 普	○2 ○2	○ ○	○2 ○2	○2 ○2	○2				○前					○	○	○	1	
	四国	早 普	○2 ○2	○ ○	○2 ○2	○2 ○2	○2				○前					○	○	○		
	九州	早 普	●2 ○2	● ○	●2 ○2	●2 ○2	●2 ○2									○	○	○		
																●	●	○	1.5	

低コスト 1.SW-965 「継」

	処理法	地域名	作期	1/2エ	一年 広葉 マツハイ	ササ	クリ	ミズ ガヤ	ヘラ タナ	クロ ノ	オモ ナ	ヒル シ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 cm/d	使用上の 注意
低コスト 2.SW-952	土壌処理	北海道		● 2	●	● 2	● 2					● 発生 期	● 再生 前 始	13~1/2L	30g x1/a			●	●	1	(4 5) (4 7)
		東北		● 2	●	● 2	● 2	● 始										●	●		
		北陸																			
		関東 東山 東海	早 普																		
		近畿 中国	早 普																		
		四国	早 普																		
		九州	早 普																		

	処理法	地域名	作期	1/2 ¹	一年 広葉 マツハ ¹	ササ ¹	クリ ¹	ミズ ガヤ ¹	ヘラ タナ ¹	クロ ¹	オモ ナ ¹	ヒル シ ¹	藻類 剥離 ¹		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 cm/d	使用上の 注意				
低コスト 3.SW-952②	土壌処理	北海道																				(28) (34) (45) (47)				
		東北																								
		北陸		●2	●	●2	●2	●始								+3~1/2x2L	30g 1/a			●	●	1				
		関東 東山 東海	早 普	●1.5	●	●始	●始	●始								+3~1/2x1.5L				●	●					
		近畿 中国	早 普	●2	●	●始	●始	●始								+3~1/2x2L					●	●				
		四国	早 普	●2	●	●始	●始	●始													●	●	●			
		九州	早 普	●2	●	●2	●2	●2													●	●	●			

低コスト 4.NC-377 「継」

低コスト 5.WT-LCP 「継」

水稻関係除草剤使用基準一覧表の表示について

1. 過年度、既に実用化の認められている適用草種・土壌条件に○を印した。(本年度の試験の結果、特に拡大のない場合も含む)
 草種欄の数字、字句で草種ごとの葉齢を示した。[例: ○前(発生前)、○2(2葉期まで)]
 IV及びVの項目の地域名の○は、前年度までに実用化の認められている地域を示し、●は本年度新たに実用化の認められた地域を示した。
 使用上の注意は別途一覧表の番号で記し、一覧表にない注意事項の場合は*を付し、欄外に字句を記載した。
2. 本年度、新たに使用基準が作成された場合は、実用化可能となった適用草種・土壌に●を印し、処理時期および使用量を記載した。
3. 過年度の基準に適用条件拡大が可能となった場合
 作期の拡大: 拡大可能となった作期の適用草種・土壌に●を印した。
 草種の拡大: 拡大可能となった草種に●を印した。
 葉齢の拡大: 拡大可能となった葉齢に、アンダーラインを付した。(例: ○2.5)
 処理時期、使用量の拡大: 拡大部分にアンダーラインを付した。(例: 13~16 mL, 50~75 ml/a)
 土壌条件の拡大: 拡大可能となった土壌に●を印した。
4. 「継」、「継?」、「中止」の場合は判定のみ記載した。

使用上の注意一覧表

- (1) 低気温及び低水温は薬害の危険性があるので使用はさける。
- (2) 処理後2日以内に低温や降雨が予想される場合は使用をさける。
- (3) ごく浅植えの場合、薬害のおそれがあるので注意する。
- (4) 移植後の深水はさける。
- (5) 深水での処理はさける。
- (6) 散布は水稻になるべくかからないようにする。
- (7) 著しい高温条件下の時は、砂壌土ではクロロシスの発生が著しいので注意する。
- (8) トリアジン系除草剤の使用上の注意を守る。
- (9) MCP混合剤の注意事項を守る。
- (10) 処理後の灌水は48~72時間経過後に行う。
- (11) 処理後2日以内に降雨が予想される場合は使用をさしひかえる。
- (12) 落水もしくは浅水で使用する。
- (13) ミズガヤツリの多い水田では早めに散布する。
- (14) ミズガヤツリに対し遅い処理では、400g/aを処理する。
- (15) ホタルイ、ミズガヤツリ優先圃場では、400g/aで処理する。
- (16) ホタルイ多発田では早めに使用する。
- (17) 泥炭質土壌では、ウリカワに対する効果が低下することがある。
- (18) コナギ多発田では早めに処理する。
- (19) 一年生広葉雑草多発田では400g/aとし、特にヒメミソハギが多発する水田での使用はさける。
- (20) クログワイ防除はクログワイに有効な前処理剤との組み合わせで使用する。
- (21) 前処理剤との組み合わせで使用する。
- (22) 希釈水量は出来るだけ少なく茎葉に付着するように散布する。
- (23) ノリ面散布は避ける。
- (24) 流入、飛散等による水稻への薬害に注意する。
- (25) 周辺の作物に飛散しないように注意する。
- (26) 植付精度不良で根が露出する水田では使用しない。
- (27) ホタルイ多発田では、ホタルイに有効な中・後期剤との組み合わせで使用する。
- (28) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合があるので使用はさしひかえる。
- (29) コウキヤガラに有効な中・後期剤との組み合わせで使用する。
- (30) 水稻が水面に抽出してから使用する。
- (31) 短小苗、深水条件での使用はさける。
- (32) クログワイ防除はクログワイに有効な後期剤との組み合わせで使用する。
- (33) 広葉多発田での使用はさける。
- (34) 田植前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用する。
- (35) マツバイ多発田での使用はさける。
- (36) コウキヤガラ防除は、コウキヤガラに有効な剤との組み合わせで使用する。
- (37) クログワイ防除の場合、同一成分含有薬剤を初期剤として使用しないこと。
- (38) オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで使用する。
- (39) ミズガヤツリ防除は、ミズガヤツリに有効な前処理剤との組み合わせで使用する。
- (40) シズイ防除は、シズイに有効な剤との組み合わせで使用する。
- (41) 散布後24時間以内から1日50mm以上の降雨が連続することが予想される場合は使用を差し控える。
- (42) クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで使用する。
- (43) エゾノサヤマカグサ防除は、エゾノサヤマカグサに有効な剤との組み合わせで使用する。
- (44) クサネムが残草または後発生した場合は有効な後期剤を散布する。
- (45) 水深5~6cmの灌水条件で投入する。
- (46) 移植前処理は田面水が澄んでから投入する。
- (47) 薬類または表層剥離の発生しやすい水田では有効な剤との体系で使用する。



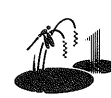
こりゃい〜や、軽くて楽だ!

省カタイプ・10アール当り

1キロ散布

初・中期一発処理除草剤

フジワラス® 1キロ粒剤



少量化で省力化。

フジワラス普及会
デュボン株式会社
ゼネカ株式会社
事務局
日本農薬株式会社
東京都中央区日本橋1丁目2番5号

水田雑草の生態と防除 — 水稻作の雑草と除草剤解説 —

宮原益次／著
A5判 定価3,090円(税込)

水田雑草の発生特性、雑草害について著者40年の知見を網羅。
さらに水田における合理的で省力的・低コストの雑草防除について解説。

全国農村教育協会

〒110 東京都台東区台東1-26-6(植調会館)
Tel.03-3833-1821 Fax.03-3833-1665

財団法人 日本植物調節剤研究協会
東京都台東区台東1丁目26番6号
電話 東京(03)3832-4188(代)

編集人 日本植物調節剤研究協会 会長 千坂 英雄
発行人 植調編集印刷事務所 広田 伸七

平成9年3月発行 定価412円(送料270円)
植調第30巻第12号 (本体400円, 消費税12円)

東京都台東区台東1-26-6 全国農村教育協会
発行所 植調編集印刷事務所
電話 東京(03)3833-1821番(代)
印刷所 新 成 印 刷 機

作物にやさしく、
スギナも枯らす。



●作物にやさしいバスタ

バスタは作物体の他の部分に移行して影響が出たり、後にまで影響することはほとんどありません。

※バスタは非選択性ですので、作物の茎葉に飛散するとかかった場所に薬害を生じますので注意してください。

スギナも

●なんでも枯らすバスタ

バスタはほとんどすべての雑草に効果できめん。スギナ、ツユクサなどの問題雑草にも優れた効果を発揮します。

●速く効く、長く効くバスタ

バスタは速く効いて、しかも長く効く。<速く><長く>という両方で満足できます。

●使いやすいバスタ

バスタは普通物、魚毒性はA類相当(原体)です。また、土壌微生物によりすばやく分解されるので、土や環境に影響の少ない除草剤です。

®:ドイツヘキスト社の登録商標

バスタ普及会 日本農薬株式会社/日産化学工業株式会社(事務局) ヘキスト・シェーリング・アグレボ株式会社 〒107 東京都港区赤坂4-10-33

水田用除草剤

初期一発除草剤

シーゼットフロアブル
アワードフロアブル
カルシオットフロアブル

初期除草剤

レトリフロアブル

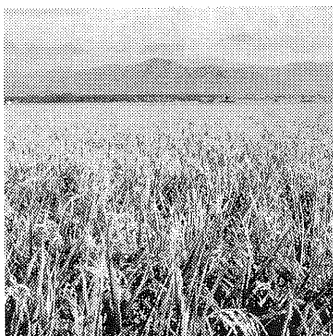
移植前除草剤

シンク乳剤

は、ピリブチカルブ®が使用されています。

ICI

大日本インキ化学工業株式会社
東京都中央区日本橋3-7-20 ディックビル



ホクコーの水稲用除草剤

バトル1キロ 粒剤

クサメッツ フロアブル

レトリアー フロアブル

レインジャー 1キロ 粒剤

ブローザックス 乳剤

ユニハーブ フロアブル

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

JAグループ

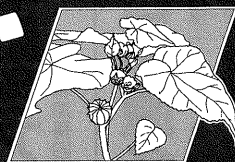
農 協 経 済 連 全 農



北興化学工業株式会社

〒103 東京都中央区日本橋本石町4-4-20

とうもろこし畑の イチビ 防除に!!



しつこいイチビに、とどめの効きめ!

- しつこいイチビ、やっかいなオナモミ、さらにタデ類、ハコベ、シロザ、タネツケバナなど広範囲の広葉雑草に優れた効き目を発揮します。
- 雑草の発生前期から3葉期前後まで、広い散布適期幅をもつ除草剤です。
- 難防除雑草の発生を確認してから散布ができるので、確実性が高く、より経済的です。

畑作の広葉雑草防除剤

バサザラン 液剤 (ナトリウム塩)

ⒺはBASF社の登録商標です。

取扱会社：クミアイ化学工業㈱／三共㈱／サンケイ化学㈱／日本農薬㈱／北興化学工業㈱／八洲化学工業㈱
普及会事務局：住友化学工業㈱ 〒104 東京都中央区新川12-27-1

評判の使いやすさ・全農教の図鑑

●ミニ雑草図鑑 — 雑草の見分けかた —

廣田伸七／著

A5判 192頁 定価(本体2,200円+税)

除草剤で雑草を上手に防除するコツは、芝地にはえる雑草の種類を知り、それに適した除草剤を使うことです。本書は身近な雑草480種を収録し、主要種については幼植物、生育中期、成植物等雑草の生育段階を写真で示した雑草防除に最適なハンドブック。

芝生の造成と管理

— 芝生管理者のために —

眞木芳助／編集

B5判 292頁 定価(本体19,418円+税)

芝生づくりの技術は気候や土壌など自然条件に基づかなければならない。本書は芝生づくりの理論に通じ、かつその道20～30年の実務経験者が各地域を担当し、芝草の特徴、作り方、日常の手入れまでを分かりやすく解説した、ゴルフ場必備書。

原色図鑑 新版 芝生の病虫害と雑草

細辻豊二・吉田正義／著

B6判 330頁 定価(本体3,500円+税)

芝生に発生する病虫害、雑草の見分け方から、防除法まで豊富なカラー写真とともに解説した、便利なハンドブック。

原色図鑑 芽ばえとたね

— 植物3態／芽ばえ・種子・成植物 —

浅野貞夫／著 A4判 280頁 定価(本体9,800円+税)

発芽の様子を克明に表した図版と種子・成植物の鮮明な写真の3点を組み合わせ、植物の一生を紹介した、他に例のない特異な植物図鑑。

新版 日本原色雑草図鑑

沼田 眞・吉沢長人／編集

B5判 414頁 定価(本体9,800円+税)

日本山野草・樹木生態図鑑

— シダ類・裸子植物・被子植物(離弁花) 編 —

沼田 眞／監修 浅野貞夫・桑原義晴／編集

B5判 664頁 定価(本体24,272円+税)

全国農村教育協会

〒110 東京都台東区台東1-26-6

電話03-3833-1821 FAX 03-3833-1665

(内容見本
進呈)

近刊
日本原色虫えい図鑑
湯川淳一・樹田長／編著 A5判 定価一四、四二〇円
国内で見られる虫えい六〇〇余種を写真とともに解説した、本格的な虫えいの図鑑。従来使われてきた和名を整理し、また和名から虫えい形成者が分かるように工夫するなど、虫えいの調査・研究にかかせない一冊。

日本原色カメムシ図鑑
友国雅章／監修 A5判 定価九、三〇〇円
日本原色カイガラムシ図鑑
河合省三／著 A5判 定価五、一五〇円
日本原色アブラムシ図鑑
森津孫四郎／著 A5判 定価七、〇〇四円

高知学術文化賞受賞！
日本原色カメムシ図鑑
— 陸生カメムシ類 —

日本原色植物ダニ図鑑
江原昭三／編 A5判 定価一三、〇〇〇円

新刊
植物ダニ学
江原昭三・真梶徳純／編 A5判 定価六、五〇〇円
ハダニ・シダニ等の植物寄生種、カブリダニ等の捕食種、その他植物上で見られるダニを取り上げ、その分類・生態等を解説したダニ学テキスト。
原色 土壌害虫
氣質澤和男／編 B6判 定価四、二二〇円
農業上重要な土壌害虫六〇種を多くの写真を使いながら解説。

●内容見本をお送りします。

定価は税込み価格です。

全国農村教育協会

〒110 東京都台東区台東1-26-6 (植調会館)

TEL.03-3833-1821 FAX.03-3833-1665

一発除草剤は「新時代へ」



アワード®フロアブル

バトル®1キロ粒剤

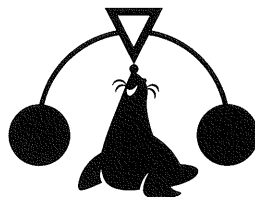
ゴーサイン®粒剤

シェリフ®1キロ粒剤

ハヤテ®粒剤

クラッシュ®1キロ粒剤

キックバイ®1キロ粒剤



▲ 武田薬品工業株式会社
アグロカンパニー

〒103 東京都中央区日本橋二丁目12番10号

自信の選択。



水田除草、新時代。

水田除草に新しい時代をひらいたDPX-84剤

ウルフエース ザーク® フジクラス®
プッシュ® ゴルボ® レインジャー®
カルショット® クサメッツ®

※DPX-84の一般名はベンスルフロメチル



デュポン株式会社 農業用製品事業部

〒153 東京都目黒区下目黒1-8-1 アルコ・タワー TEL.(03)5434-6116

新しい流れ、 時代は1キロ、軽量化!!



10アール当り
1kgの散布

1キロ粒剤
の特長

- ①10アール(1反)当たり1kgの散布で安定した除草効果
- ②軽量なので作業が楽
- ③散布効率が向上
- ④軽量、小型なので持ち運びが楽
- ⑤最新技術で工夫した製剤
- ⑥省資源を目指した製剤



水稲用一発処理除草剤

ウルブエース 1キロ粒剤 51.75



JAグループ

農協

全農

経済連

◎は登録商標です



自然に学び 自然を守る

クミアイ化学工業株式会社

本社：東京都台東区池之端1-4-26 ☎110-91

効きめ、あざやか。

3.5葉期までのノビエを防除

残効性が長く、経済的な――

水田中期除草剤

マムットSM 1キロ粒剤

クログワイなどの難防除雑草に

体系防除の中期剤としても使える――

初中期一発除草剤

ベールーフ 粒剤



- ①使用前にはラベルをよく読んでください。
- ②ラベルの記載以外には使用しないでください。
- ③本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

JAグループ

農協

全農

経済連

全農

は登録商標 第1902445号

〔モリネート普及会〕

ゼネカ株式会社

株式会社トーマン

事務局：

八洲化学工業株式会社

〒213 神奈川県川崎市高津区二子757-1